



# 沖縄県薬剤師会報

No.271. 2014(平成26年) 7・8月号



沖縄県薬剤師会

# 薬 剤 師 倫 理 規 定

平成9年10月 日本薬剤師会改訂

## 前 文

薬剤師は、国民の信託により、日本国憲法及び法令に基づき、医療の担い手の一員として、人権の中でもっとも基本的な個人の生命・健康の保持促進に寄与する責務を担っている。

この責務の根底には生命への畏敬に発する倫理が存在するが、さらに、調剤をはじめ、医薬品の創製から供給、適正な使用に至るまで、確固たる薬の倫理が求められる。

薬剤師が人々の信頼に応え、医療の向上及び公共の福祉の増進に貢献し、薬剤師職能を全うするため、ここに薬剤師倫理規定を制定する。

## 第1条（任務）

薬剤師は、個人の尊厳の保持と生命の尊重を旨とし、調剤をはじめ、医薬品の供給、その他の薬事衛生をつかさどることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって人々の健康な生活の確保に努める。

## 第2条（良心と自律）

薬剤師は、常に自らを律し、良心と愛情をもって職能の発揮に努める。

## 第3条（法令等の遵守）

薬剤師は、薬剤師法、薬事法、医療法、健康保険法、その他関連法規に精通し、これら法令等を遵守する。

## 第4条（生涯研鑽）

薬剤師は、生涯にわたり高い知識と技能の水準を維持するよう積極的に研鑽するとともに、先人の業績を顕彰し、後進の育成に努める。

## 第5条（最善尽力義務）

薬剤師は、医療の担い手として、常に同僚及び他の医療関係者等と協力し、医療及び保健、福祉の向上に努め、患者の利益のため職能の最善を尽くす。

## 第6条（医薬品の安全性等の確保）

薬剤師は、常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努める。また、医薬品が適正に使用されるよう、調剤及び医薬品の供給に当たり患者等に十分な説明を行う。

## 第7条（地域医療への貢献）

薬剤師は、地域医療向上のための施策について、常に率先してその推進に努める。

## 第8条（職能間の協調）

薬剤師は、広範にわたる薬剤師職能間の相互協調に努めるとともに、他の関係職能をもつ人々と協力して社会に貢献する。

## 第9条（秘密の保持）

薬剤師は、職務上知り得た患者等の秘密を、正当な理由なく漏らさない。

## 第10条（品位・信用等の維持）

薬剤師は、その職務遂行にあたって、品位と信用を損なう行為、信義にもとる行為及び医薬品の誤用を招き濫用を助長する行為をしない。



# 目次

薬剤師倫理規定		
トピックス	神殿（神棚設置台）完成	大城 喜仁…(2)
総会	第70回通常総会会長演述	神村 武之…(3)
	第70回通常総会開催	宮城 敦子…(4)
	第70回通常総会懇親会	大城 喜仁…(7)
総会資料	平成25年度会員・薬局等の業態現況報告	(8)
	平成25年度事業経過報告および平成25年度決算	(9)
	第70回通常総会におけるその他の議案事項	(23)
	第70回通常総会議案審議および質疑応答の概要	(25)
会務ハイライト	平成26年度新任・新人薬剤師研修会報告	外間 惟夫…(36)
実務実習	平成26年度Ⅰ期薬学生実務実習報告	我喜屋美香…(38)
	平成26年度薬学生実務実習Ⅰ期生からの体験記・感想	(39)
	高宮城拓、糸数玲、宮城絵梨歩、渡慶次和也、池村有佳子、石川和也、座間味明音、比嘉成美 宮城崇滉、津波古梨花、大城梢、野原開、喜名あかね、山入端拓斗、中村貴乃、上地和人	
啓蒙・普及活動	「しごとミュージアム」における薬剤師職能の啓蒙活動について	大城 喜仁…(43)
部会だより	しごとミュージアム参加報告	玉村 澄恵…(44)
	女性薬剤師部会通常総会報告	草壁 瑞恵…(48)
	第10回保険薬局部会総会報告	川上 善久…(50)
	第9回青年部会通常総会報告	石川 恵市…(51)
	平成26年度学校薬剤師部会新人研修会報告	高里 麻子…(52)
	平成26年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会報告	森下 彰久…(53)
	第43回沖縄県病院薬剤師会通常総会報告	外間 惟夫…(54)
月例相談会	第115回健康とおくすり相談会報告（那覇地区薬剤師会）	山道 峻也…(59)
地区だより	一般社団法人那覇地区薬剤師会第1回通常総会	那覇地区薬剤師会事務局…(60)
	那覇地区学校保健会表彰（受賞者：村田美智子先生）	(61)
	第12回北部地区薬剤師会定時総会報告	北部地区薬剤師会事務局…(62)
	南部地区薬剤師会総会報告	新垣 秀幸…(63)
	平成25年度中部地区薬剤師会総会報告	福地 健治…(64)
	平成26年度宮古地区薬剤師会総会報告	下地 睦夫…(66)
その他会務報告	沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊	大城 喜仁…(68)
	慰霊の日、晴天なり	宮城 敦子…(69)
薬業連合会	平成26年第59回沖縄県薬業連合会理事会・総会及び懇親会報告	稲福 文隆…(70)
D I	薬事情報おきなわNo.228	薬事情報センター…(73)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報	(89)
薬学の歴史	第31回 薬局方の成熟	(90)
	第32回 医薬品の規格化	(91)
薬草学	身近な薬草を知ろう 第15回 ぼたんぼうふう（長命草・サクナ）	狩俣 イソ…(92)
医療・施設訪問	医療法人 卯の会 新垣病院	砂川 智子…(94)
薬局訪問	沖縄県薬剤師会 会営薬局医療センター前	伊敷松太郎…(96)
リレー随筆	地ビール（クラフトビール）を飲んでみませんか？	田崎 仁…(98)
卒煙物語	その47 旧盆の後に	えん こ…(100)
日薬通達	医薬品の販売業等に関するQ&Aについて（その3）	(101)
	発がん性等を有する化学物質を含有する抗がん剤等に対するばく露防止対策について	(102)
	処方箋への記名の取扱いについて	(102)
	平成26年度診療報酬改定 疑義解釈（その8）	(104)
協会けんぽ	協会けんぽの申請書等の様式が新しくなりました	(105)
転載記事	「お薬手帳」で薬の相性確認	(105)
薬連だより	平成26年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告	山城 英人…(106)
	POWER（日薬連盟機関紙）に関するアンケートページ設置について	(106)
	国会レポート ～骨太の方針2014と薬剤師～	藤井もとゆき…(107)
会務報告	平成26年6月～7月末日分（沖縄県薬剤師連盟会務報告）	(108)
計報	屋嘉勇先生・山田貞子先生・新垣栄三先生・具志堅秀子先生 謹んでご冥福をお祈り申し上げます	(112)
一包一話	公園の一日	橋 の 下…(114)
会員作品	誌上ギャラリー（裏表紙）について	(116)
編集後記		(116)
おしらせ	会報原稿募集のご案内	(65)
	地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！	(67)
	第76回九州山口薬学大会案内	(67)
	第28回沖縄県薬剤師会学術大会参加案内	薬剤師学術研修委員会…(71)
	第47回日本薬剤師会学術大会案内	(104)
	県薬が会員に販売している印刷物等	(112)
	平成26年くすりと健康フェア（県民公開講演会）案内	(113)

・表紙

とよ ひら ほう うん  
題字：豊平峰雲

「バオバブの街道を行く」 photo by 平安山 春江 撮影地：マダガスカル

## トピックス

## 神殿（神棚設置台）完成

当会独自で企画し、製作を進めてきた神殿（神棚設置台）が完成し、去る7月30日、当会館閲覧室に設置されました。閲覧室は主に講師控室として利用されてきておりましたが、予てより、教材、資材を設置する場所として考慮してきており、神殿を設置したことを機に、今後は「薬の資料室」として、薬や薬学に関する資材、歴史資料などを保管、展示していく予定です。

神殿の140cmの棚段に目線より高くなるよう神棚を配置し、その神棚の手前には赤漆調の鳥居が構え、金箔様壁紙で覆われた板壁が豪華絢爛ではあるがシックな装いで、沖縄風の佇まいとなっております。これらの設置台、鳥居、板壁は一体型のシンプルな構造で、重厚感を醸し出しています。

神棚には、神農像と御三札（天照皇大神宮、少彦名神社御祈禱之牘、波上宮神璽）が祀られており、「少彦名神社御祈禱之牘」札は、神村会長が自ら大阪市道修町の少彦名神社に参拝して頂いてこられたものです。

さらに神殿には、鳥居用注連縄と板壁上部に紫地三ツ巴紋様の門帳が装飾されています。

完成までの過程には、薬祖祭が毎年行われる波上宮を視察し、本宮内の幣殿を参考としました。また、同神社からは当該製作の構想や設置に関するアドバイスと資料も頂いてきました。

神殿は、美術や信仰として製作したのではなく、参拝や拝観を目的としております。少彦名神社より御分霊を勧請し、波上宮に依頼して奉祀された故仲松弥元氏（第六・八・十一代会長）は、「医薬の道を天職とする薬業人にとって年一回の薬祖祭には、この1年の無事を感謝し、薬の取扱いの過ちの無いように祈願したいものである。」との言葉を残されており、この言葉をはじめ「諸先輩方の思いを引き継ぎ、後生へ残したい（温故知新）」という神村会長の意思がこの神殿には込められていると感じました。

神殿の完成を前に既に御芳志されました会員の先生方や団体、設置された旨を知り逸早く初穂料を納められた会員の先生方に厚くお礼申し上げます。

本会館への御来館の際には、教材、資材の閲覧とともに、ぜひ御参拝、御拝観戴ければ幸いです。（文：事務局 大城喜仁）



逸早く初穂料を納められた金城保景氏（第十四代会長）



波上宮の大山晋吾氏（禰宜・左）と末安大孝氏（名誉宮司）から直接、製作に関するアドバイスを頂いた

<ご惠贈下さり誠にありがとうございます>（順不同）

- 故宮城光吉氏 ○宮城初枝氏 ○故山城幸久氏 ○山城恵子氏
- 山城晶氏 ○神山朝喜氏 ○実践薬学セミナー事務局

皆様のご寄付・ご寄贈  
心よりお待ちしております！



## 第70回通常総会 会長演述



会長  
神村 武之

総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

社団法人から一般社団法人へ移行して2回目の総会に当たります。新しい定款では、全会員対象の総会制度から代議員による代議員総会制度に代わりました。各地区の選挙で選出された代議員により、各支部・地区会員の意を集結し、会活動、会運営への要望、評価等について質疑、応答することで会運営の透明性、正当性が確保され、会活動の活性化に繋がる事を期待して、今年度も開催する運びとなりました。

さて、昨今の世界の情勢は混沌としております。日本国に於いても近隣諸国との防衛感、歴史観の相違、乖離があり、多くの問題、課題を抱えております。私達、沖縄県に於いては他県では問題とはならない米軍基地の問題で苦渋の選択を迫られております。

私達、薬剤師の職能、環境においても様々な難題、課題があります。新たな医薬品販売制度について薬事法が改正され、一般用医薬品のインターネット販売が先日の6月12日より解禁と成りました。薬を取り扱う専門家として薬剤師は「対面による販売」を遵守し、医薬品の適正な選択、使用、情報提供、副作用、そして受診勧奨等の迅速な対応に務め、安全で安心な医薬品の提供に努めなければなりません。

社会保障制度改革の議論の中で、調剤医療費の増加に伴い、財政上の観点から調剤薬局の在り方に対する様々な議論の中で、医薬分業の在り方に厳しい意見、バッシング等があ

るのも事実であります。私達は正すべきところは正し、プロフェッショナルとしての責務を果たし、その評価に見合う権利と対価を当然主張すべきと考えます。薬剤師養成教育6年が制度化されたのは、私達薬剤師の切望であり、社会からの要請でもあります。

薬剤師職能の多様化が求められております。薬剤師はあらゆる医療分野に於いて、医療の担い手としての高い倫理観と専門性、そして誇りを持ち、県民、患者をはじめ他医療関係者からの期待と信頼、同時に社会からの要請に応え、薬剤師職能の確立、拡大に努める重要な時期と考えます。

国の日本再興戦略の中で、地域の健康づくりの為にセルフメディケーションの推進拠点として、薬局、薬剤師の活用促進が明記され、平成26年度の国の予算案に薬局、薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業費として各都道府県に500万円が計上されました。沖縄県薬剤師会も県に要請を致しております。

これからの10年間は、薬剤師職能が評価され確立される大事な時期となります。21世紀の薬剤師は変わってきます。変わらなければなりません。大局を見据え、将来の薬剤師ビジョンを描き、「将来の為に今やらなければならぬ事」を会員一丸となって着実に実行していかなければなりません。会員の皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

本日の総会は多くの議案があります。慎重なご審議の上、円滑な進行をお願い申し上げます。

## 第70回通常総会

# 第70回通常総会報告

日時：平成26年6月15日(日) 13:30～  
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

### <第70回通常総会次第>

1. 開会の辞

(議長・副議長選出)

2. 議長・副議長登壇あいさつ(点呼、宣告)

3. 日程説明

4. 会長あいさつ

5. 議題

報告 第1号 平成25年度会務並びに事業経過報告

第2号 平成25年度会務並びに会計監査報告

議案 第1号 平成25年度決算承認の件

第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会定款、  
会員・会費規程改正案承認の件

6. 閉会の辞

司会 理事 石川 恵市  
副会長 松山 朝雄

専務理事 田場 英治  
会長 神村 武之

副会長 吉田 洋史  
監事 大城 桂子  
常務理事 山里 勇

専務理事 田場 英治  
常務理事 亀谷 浩昌

石川恵市理事の進行で総会開催の案内がされ代議員全員が着席する。前年度の物故会員4名(具志堅興永、藤本勝喜、宮城光吉、山城幸久)の先生方のご冥福を祈り黙祷した。

松山朝雄副会長が第70回通常総会の開会を告げた。議長に吉田将司(那覇東支部)副議長に玉城武範(沖縄支部)が選出されたあと、出席人数の確認がされた。代議員総数48名に対し、出席者41名で定款第17条の総会成立要件を満たしていることにより総会の成立を報告した。

田場英治専務理事により日程説明があり、続いて神村武之会長が挨拶された。

議題に入り、報告第1号～第2号、議案第1号から第2号の報告、説明が滞りなく行われた。休憩のあと質疑応答となる。前半は地区薬剤師会代表質問、後半に一般質問という構成で行われた。地区代表質問の順番は5月の定例理事会にてくじ引きで決定されている。

広報担当理事  
宮城 敦子



1地区のあたりの代表質問は質疑応答を含め持ち時間は7分である。代表質問の順番は次の通り。①那覇地区(具志堅興信代議員)②中部地区(福地健治代議員)③宮古地区(古謝真己代議員)④北部地区(成川賢一代議員)⑤南部地区(高良武和代議員、荒井千春代議員)⑥八重山地区(山城専代議員)。順次、質問演説が行われ、各担当理事が答弁を行った。続いての一般質問も活発な質疑応答が行われた。

議案第1号と第2号は賛成多数により承認され、議事が終了した。議長と副議長が降壇したあと、亀谷浩昌常務理事より、活発な意見と進行への協力に対する感謝の意が述べられ、第70回通常総会を閉会した。



[第70回通常総会出席者]

敬称略

<理事・監事>

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| ○神 村 武 之 (会 長)    | ○新 垣 秀 幸 (南部地区代表)   |
| ○松 山 朝 雄 (副 会 長)  | ○下 地 仁 (宮古地区代表)     |
| ○吉 田 洋 史 (副 会 長)  | ○幸 地 良 信 (八重山地区代表)  |
| ○田 場 英 治 (専務理事)   | ○川 上 善 久 (保険薬局部会代表) |
| ○亀 谷 浩 昌 (常務理事)   | ○村 田 美智子 (女性薬部会代表)  |
| ○江 夏 京 子 (常務理事)   | ○石 川 恵 市 (青年部会代表)   |
| ○山 里 勇 (常務理事)     | ○我喜屋 美 香 (実務実習担当)   |
| ○宮 城 敦 子 (常務理事)   | ○笠 原 大 吾 (保健福祉担当)   |
| ○前 濱 朋 子 (常務理事)   | ○大 城 桂 子 (監事)       |
| ○玉 城 純 (北部地区代表)   | ○伊 敷 幸太郎 (監事)       |
| ○姫 野 耕 一 (那覇地区代表) |                     |

<代 議 員 >

- |                |                 |                |
|----------------|-----------------|----------------|
| ○成川 賢一 (名護支部)  | ○伊藤 昌徳 (浦添支部)   | ○比嘉 真三 (那覇東支部) |
| ○屋嘉比康作 (名護支部)  | ○吉富 弓江 (浦添支部)   | ○前田 峰伸 (那覇東支部) |
| ○江夏 恭範 (うるま支部) | ○金城 清二 (首里支部)   | ○入月 健 (那覇東支部)  |
| ○川平 浩子 (うるま支部) | ○又吉智賀子 (首里支部)   | ○新垣 晶市 (小禄支部)  |
| ○福地 健治 (うるま支部) | ○安次富長洋 (那覇北支部)  | ○具志堅興信 (小禄支部)  |
| ○山内 広美 (嘉手納支部) | ○伊是名秀平 (那覇北支部)  | ○川上雄一朗 (南風原支部) |
| ○久場加代子 (沖縄支部)  | ○平良仔己子 (那覇北支部)  | ○城間 盛伸 (南風原支部) |
| ◎玉城 武範 (沖縄支部)  | ○川満 直紀 (那覇中央支部) | ○照屋 秀子 (南風原支部) |
| ○仲井間 清 (沖縄支部)  | ○鈴木 一徳 (那覇中央支部) | ○高良 武和 (糸満支部)  |
| ○平田 明子 (沖縄支部)  | ○渡慶次全康 (那覇中央支部) | ○松本 圭吾 (糸満支部)  |
| ○普久原 隆 (沖縄支部)  | ○吉本恵美子 (那覇中央支部) | ○荒井 千春 (糸満支部)  |
| ○新川 祥平 (宜野湾支部) | ○西川 裕 (那覇中央支部)  | ○山城 専 (石垣支部)   |
| ○仲座 方利 (宜野湾支部) | ○上原 幸代 (那覇東支部)  | ○古謝 真己 (平良支部)  |
| ○武富 弘記 (浦添支部)  | ○仲村喜久子 (那覇東支部)  |                |
| ○大城 朝徳 (浦添支部)  | ☆吉田 将司 (那覇東支部)  | ☆：議長、◎副議長      |



物故会員へ黙祷

## 第70回通常総会



開会の辞  
松山 朝雄 副会長



議長：吉田 将司 代議員  
副議長：玉城 武範 代議員



会長あいさつ  
神村 武之 会長



報告第1号  
吉田 洋史 副会長



報告第2号  
大城 桂子 監事



議案第1号  
山里 勇 常任理事



議案第2号  
田場 英治 専務理事



閉会の辞  
亀谷 浩昌 常務理事



司会  
石川 恵市 理事

### <地区薬剤師会代表質問演説>



具志堅 興信  
小祿支部代議員  
(那覇地区代表)



福地 健治  
うるま支部代議員  
(中部地区代表)



古謝 真己  
平良支部代議員  
(宮古地区代表)



成川 賢一  
名護支部代議員  
(北部地区代表)



山城 専  
石垣支部代議員  
(八重山地区代表)

### <地区薬剤師会代表質問回答演説>



高良 武和  
糸満支部代議員  
(南部地区代表)



荒井 千春  
糸満支部代議員  
(南部地区代表)



我喜屋 美香 理事  
(会務薬局・実務実習関連)  
質問回答演説



笠原 大吾 理事  
(保健・在宅関連)  
質問回答演説



## 第70回通常総会

### <懇親会>

日時：平成26年5月26日(日)

16:30~19:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

通常総会を無事に終え、会場を研修室に移し、懇親会が催された。司会の宮城敦子常務理事により会が進められた。

松山朝雄副会長の開会の辞、神村武之会長の挨拶、沖縄県保健医療部の仲本朝久部長による来賓挨拶と続き、大城桂子監事の乾杯の音頭で歓談に入った。

歓談が落ち着いた頃、日本薬剤師会有功賞伝達授与と当会職員への永年勤続表彰が執り行われた。日本薬剤師会有功賞は長年に亘る薬剤師会における貢献を称えるもので、太田節子、嘉陽マツエ、津波高德の3氏が受賞され、懇親会に出席された太田節子氏より喜び



と感謝の言葉が述べられた。また、永年勤続表彰は、10年勤続表彰として下地和子氏(琉球大学病院FAXコーナー)、20年勤続表彰に仲真良重氏、大城久美子氏、與世平千夏氏、喜納孝子氏(4氏共に会営薬局うえはら薬剤師)、高嶺利枝子(会営薬局うえはら一般事務)、吉田典子氏(薬事情報センター)、山城英人氏、金城みどり氏(両氏ともに事務局)の9氏が受賞された。

大いに盛り上がった懇親会は、午後7時頃、吉田洋史副会長の挨拶で閉会となった。

(報告：事務局 大城喜仁)



開会の辞  
松山 朝雄 副会長



会長挨拶  
神村 武之 会長



来賓挨拶  
仲本 朝久 沖縄県保健医療部長



乾杯の音頭  
大城 桂子 監事



司会  
宮城 敦子 広報担当理事



日本薬剤師会有功賞受賞の喜びを語る  
太田 節子 氏



太田節子氏を囲んで



来賓・招待者と記念撮影



職員永年勤続表彰  
左より、與世平千夏氏、仲真良重氏、大城久美子氏、山城英人氏、金城みどり氏

## 第70回通常総会資料

<報告第1号 平成25年度会務並びに事業経過報告>

### 1. 平成25年度 会員・薬局等の業態現況報告

#### (1) 会員数

平成26年3月末現在

① 正 会 員	1,122 人	(A会員584人、B会員533人、C会員5人)
(内 訳)	総会員数6人増、A会員2人減、B会員5人増、C会員3人増	
名 誉 会 員	4 人	久場トヨ、中村昌義、屋嘉勇、金城保景
薬 局 開 設 者	239 人	
一 般 販 売 業	13 人	
卸売一般販売業	24 人	
勤 務 薬 剤 師	711 人	薬局(632)、病院(76)、製輸(2)、登録販売業(1)
そ の 他	131 人	行政(5)、教研(2)、他職勤務者(10)、無職(114)
② 賛 助 会 員	86 人	
合 計	1,208 人	①(1,122人) + ②(86人)

#### (2) 薬局開設者等 (前年度との比較)

平成26年3月末現在

	平成24年度	平成25年度	増	減
薬 局 開 設 者	249 人	239 人		10 人
一 般 販 売 業	15 人	13 人		2 人
卸売一般販売業	25 人	24 人		1 人
勤 務 薬 剤 師	687 人	711 人	24 人	
保 険 薬 剤 師	957 人	955 人		2 人
そ の 他	137 人	131 人		6 人

#### (3) 保険薬局等 (前年度との比較)

平成26年3月末現在

	平成24年度	平成25年度	増	減
保 険 薬 局	522 件	529 件	7 件	
処方箋応需薬局	499 件	515 件	16 件	



## 第70回通常総会資料

# 平成25年度 事業経過報告

### 1. 一般社団法人に移行して

一般社団法人に移行した初年度でもあるため、定款変更部分に関しては、以前の社団法人時代との移行期と捉え、柔軟な対応をした。会計実務では、各事業単位で従事割合を算出し細かい仕分けが必要とされ、顧問税理士の指導のもと取り組んだ。公益法人移行検討委員会は事業内容や予算執行状況のどの部分に公益性があるのか検証していくため公益事業推進委員会へと名称を変更した。

### 2. 災害支援対応について

昨年度発足した災害対策委員会にて沖縄県薬剤師会災害対策マニュアルと沖縄県薬剤師会事業継続計画（BCP）を日本薬剤師会をはじめ他県の整備状況をみながら作成検討してきた。また、薬務疾病対策課、防災危機管理課と災害協定等の調整を始めた。1月には国民保護法共同実働訓練に参加し、医師会と連携し県薬ブースを設営して避難者への対応訓練をした。また災害時医療従事者用ベストを揃えた。

### 3. 医薬分業対策

医薬分業は、定着したが、最近の医薬分業のあり方に厳しい意見があるのも事実である。薬剤師は医療の担い手として、薬局は医療提供施設としてもう一度、医薬分業の原点に戻り、国民、県民の期待に応えていかなければならない事を念頭に置き、平成25年度は事業を実施した。

8月には医薬分業対策会議を開催し、県内広域病院薬局長と各地区薬剤師会の分業担当者が参加、昨年度に引き続きお薬手帳の活用をテーマに、アンケートに基づき現状分析をし、薬業連携のツールとして質の高い情報を共有できるように、また在宅医療参画への患者情報の一元化のツールとして活用していくことを再確認した。

12月には、各地区から推薦された若手薬剤師を含む参加者で「薬剤師、医薬分業のあるべき姿の実現に向けて」というテーマでSGD（スモールグループディスカッション）を開催した。医薬分業バッシングに対する今後の医薬分業のあり方について意義ある討議をすることができた。

休日夜間調剤に取り組む「会営薬局医療センター前」は、多くの輪番薬剤師に支えられ、開局して5年が経過し、地域医療参画への実績を着実に積んできている。

不働在庫・備蓄ネットワークシステムの運用は、4年目になり、現在105薬局が参加している。

薬剤師職能の更なる拡大と資質向上を図る為、上記の件に加え以下の項目の事業・研修会を実施してきたので報告する。

#### （1）医療安全対策（医薬品事故・過誤対策）

（財）日本医療機能評価機構の事業である「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」について、積極的に参加するよう登録の呼びかけを継続している。

平成25年度医療安全講習会を平成26年2月9日（日）に本会館ホールで開催し、「実例に学ぶ薬剤師賠償責任保険事故」、「薬剤師のための医療安全にかかる法的知識の基礎」についての講習を行い、当日の出席者は過去最多となる125名であった。講習会へ事前参加登録を

行った会員には受講認定証を発行した。受講した会員が自らの薬局職員へ伝達講習をする際に利用できるように、講習会で使用したスライドファイルを県薬ホームページにアップロードした。

医療事故発生時の指示、指導等に関する案件が2件あった。

## (2) 共同指導、個別指導の実施状況

前年度の個別指導は新規個別指導22薬局、既存個別指導19薬局の41薬局が実施された。大きく返還に及ぶような事例はなかったものの、薬歴簿の指導要点記載が不十分なため特別指導加算の返還が散見された。また、個別指導・共同指導の対策のための研修会と適正な調剤報酬請求業務の研修会を8月に浦添てだこ大ホールにて開催したが参加者が1,000名を超えたため、2回に分けての開催となった。この研修会は開設者、保険薬剤師、医療事務を対象にしており個別指導に対する関心の高さが伺えた。

それと、平成26年度は診療報酬改定も行われるため、3月23日に、九州厚生局の集団指導と同時開催で調剤報酬等改定等説明会も浦添てだこホールで実施した。この説明会も例年1,000名を超える参加者が見込まれるため、2部構成の開催とした。午後1時から中北部、南部地区を対象に、4時から那覇地区を対象に開催したが参加者は約1,600名となった。

## (3) 自殺予防・対策事業

平成23年度から本会も沖縄県自殺対策連絡協議会に加わり、3年目を迎えた。この予防対策事業は平成29年まで予定されている。

県内における自殺者は、平成10年以降300人を超える状態が続いてきたが、平成24年度には267人と15年ぶりに300人を大幅に下回った。また、同じく24年には全国的にも15年ぶりに3万人を下回り、これらは対策事業の効果ではないかとの評価もあった。しかし、平成25年8月に開催された沖縄県自殺対策連絡協議会においては、このまま推移すると平成25年度は平成24年度を下回る数値の達成が難しいという報告があった。ただし、当初数値の10%減の目標は達成できたので、今後は20%減に向けて取り組んでいくことの提案が出され、委員全員で確認とした。

本会の自殺対策検討委員会の事業として、平成25年度も中長期を見据えた薬剤師のゲートキーパーとしてのスキルアップを目的とする研修会を企画した。関係団体と連携を図りながらの事業ということもあり、沖縄県の出前講座も活用した。研修会は平成26年3月2日(日)、沖縄県福祉保健部障害保健福祉課精神保健福祉班の喜納みどり氏と長田クリニック院長の長田清医師を講師に迎え、約2時間にわたり執り行われた。研修会当日は35人の会員が参加した。喜納みどり氏より、沖縄県の自殺者の現状と県の取り組みについて報告をいただいた。長田医師からは、「自殺予防の第一歩～つらさからの回復」というテーマでご講演をいただき、問題解決型手法ではなく、精神的回復力を呼び覚ます解決志向型手法を学んだ。その実践として、「各人が、過去に輝いていた時を思い起こし、その時の幸福感を力に変えること」の具体的手法等の指導を仰ぐことができた。会員からは「楽しみにして参りました。来てよかった。」等の感想が聞かれ、有意義な研修会になった。

## (4) 禁煙事業について

平成19年に発足した禁煙支援薬局・薬剤師の認定制度(3年毎更新)は、昨年度2回目の更新を行ったところで、認定薬剤師は、47名から64名となった(禁煙サポート薬局の更新

は、本年度行われた)。引き続き、禁煙支援に携わる薬剤師のモチベーションを高く維持するための工夫が必要であることが確認された。また、平成25年度も、禁煙サポート薬局支援継続事業として「第154回全国禁煙アドバイザー育成講習会」と共同開催で講習会を実施した。

第75回九州山口薬学大会(佐賀)の禁煙協議会において、前々年から継続して、①禁煙支援指導者の認定制度に係る単位の他県との相互互換の可能性ならびに妥当性について、②各県独自の禁煙支援や防煙教育の資料は各県で共有化できるような方向で検討することなど、他県との連携を引き続き確認した。

全国での連携としては、日本禁煙科学会学術総会に、一昨年の沖縄大会を含め継続して参加しており、全国の禁煙に関わる多職種と情報交換している。

県内における他職種との連携としては、健康おきなわ21(2)の分野別検討委員会(タバコ)への参加があり、同事業の推進に貢献した(平成24年度に続き2年目)。また、各市町村との連携も継続し、本年度は再び豊見城市の禁煙事業に加わり協働で禁煙相談を行った。さらに県内の禁煙事業を多職種で集まって報告を行う“沖縄県禁煙協議会総会”に継続して参加して県薬剤師会の取り組みを報告した。

一方、学校薬剤師を中心とした教育現場における防煙(はじめの1本をすわせない)活動については継続して行われた。これらの活動が小学校~高等学校の児童・生徒に対して継続して展開していることは、喫煙防止に大いに貢献するものである。未成年の禁煙支援に対しては、県に対してその補助事業を申請しているところである。

#### (5) 在宅事業について

平成25年度は、日薬より示された在宅医療推進アクションプラン(地域薬局の訪問薬剤管理指導業務応需体制等に関する調査ならびに地域連携の促進として薬局機能・業務の他職種への理解促進)への取り組みについては、地域包括支援センターを中心とした“地域包括ケア”の概要ならびにそこへの参画を促進する内容の講習会を県内約20カ所で開催し、普及推進に努めた。その結果、地区・支部によっては地域包括ケアセンターを含む地域他職種との連携が進むことになった。加えて、在宅支援薬局の県薬剤師会ホームページへの登録は、掲載事項を変更し、きちんと在宅訪問を行っている薬局のみで43件となった。

その中で、浦添市医師会、中部地区医師会が中心となって、県ならびに県医師会が中心となって在宅医療の事業が動き出す運びとなり、県医師会の準備委員会の発足のための会に県薬剤師会も招かれ、多職種で意見交換した。

一方、薬剤師の在宅における業務を紹介する普及のツールとして、本年度は沖縄県保健福祉医療財団の補助金を活用した在宅医療にかかる薬剤師の訪問服薬指導のポスターとチラシを作成し、他職種へのアピールを開始した。もう一つの普及ツールとして、沖縄県病院薬剤師会が行っている“薬剤師のフィジカルアセスメント”事業に昨年度より加わり(昨年度は5名が参加)、本年度はさらに5名が新たに参加し、昨年度の2名はインストラクターとしてこれにかかわり無事に終了を迎えた。

また、県薬としては、平成25年11月に沖縄県地域医療再生計画(二次)事業『在宅医療を推進するための薬局体制整備事業』により会営薬局うえはら内に無菌調剤施設を設置した。この施設は県内初の共同利用施設であり、利用を希望している薬局へのサポートをすすめているところである。さらに平成26年3月9日に県薬剤師会館で“第4回在宅医療に関する講習会”を企画実施し、その会の中で各地区の若手薬剤師が、地域で積極的に在宅医療に取り組ん



でいることについてのパネルディスカッションを行った。

平成26年4月の診療報酬改定とも相まって、今後地区薬レベルでアクションプランに基づいた在宅医療の展開を引き続き企画している。

(6) 健康とおくすり相談会 (月例)

回	開催日	担 当	開催場所	相談員数	参加者数
第108回	2013/6/23	那覇地区	イオン那覇店	6	35
第109回	2013/8/25	那覇地区	サンエーメインプレイス	4	18
第110回	2013/11/17	南部地区	パレット市民劇場	8	70
第111回	2013/11/16	中部地区	健康福祉センター うるみん (第6回うるみん健康福祉まつり)	14	67
第112回	2014/12/1	宮古地区	大和自動車練習場跡地 (宮古)	10	103
第113回	2014/2/16	那覇地区	那覇市保健所	5	45
第114回	2014/3/8	中部地区	具志川ドーム	9	74

(7) 国公立病院院外処方箋発行率 (平成25年度平均 救急、巡回診療、透析を除く)

琉球大学病院	89.2%	県立宮古病院	92.4%
国立沖縄病院	99.1%	県立八重山病院	98.0%
国立琉球病院	98.7%	那覇市立病院	86.9%
県立北部病院	93.6%	沖縄赤十字病院	95.2%
県立中部病院	94.9%	県立南部医療センター・こども医療センター	94.3%
(平成24年度院外処方箋受取率) 沖縄県全体 73.2% 全国平均 66.1%			

4. 生涯学習

第27回沖縄県薬剤師会学術大会は「～ほっぷ すてっぷ 薬剤師新時代～」を大会テーマに、平成25年11月24日(日)に沖縄県薬剤師会館と、さらに新しい試みとしてテレビ会議中継システムを用いてシモジ薬局2階(宮古地区)・大浜信泉記念館(八重山地区)で開催された。大会参加者は過去最高の303名(県薬会館282名、宮古地区7名、八重山地区14名の参加)で、今回は非会員も参加(参加費5,000円)ができることとした。大会は実行委員長の挨拶で始まり、サプライズ演出で神村会長が八重山地区会場から挨拶され大変効果的であった。会員発表は病薬11演題、保険薬局関連5演題、その他3演題の計19演題で、若手薬剤師の参加や発表が多くまた座長も若手を起用した。奨励賞は病薬部門がハートライフの伊藤昌徳氏、保険薬局・その他部門ではすこやか薬局グループの比嘉朋子氏が受賞した。ランチョンセミナーは、田辺三菱製薬との共催により豊見城中央病院の比嘉盛丈先生、特別講演はどんぐり工場の菅野彊先生よりご講演頂いた。特に菅野氏は2年越しのオファーであり、特別講演の参加者が240余名と例年よりかなり多いことから先生の人気の高さが伺われた。

新任・新人薬剤師研修会は、平成25年7月21日(日)に沖縄県薬剤師会館ホールで開催された。参加者内訳は薬局38人、病薬33人、その他1人、薬学生8人で、過去最多の参加数であった。施設見学は例年通り沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局で行い、ランチョンセミナーは『選択的DPP4阻害剤オングリザの有用性に関して』の演題で協和発酵キリン株式会社の山口友弥氏に講演していただいた。研修演題は、①「医薬品情報について」那覇市

立病院薬局 野口直美先生、②「薬歴の書き方について」医療保険担当理事の吉田洋史先生、③「フィジカルアセスメントについて」琉球大学医学部附属病院薬剤部の佐久川卓先生、そして④学校薬剤師について（学校薬剤師部会副部会長の笠原大吾先生）、⑤青年薬剤師部会紹介について（青年部会部会長の石川恵市先生）であった。

日本薬剤師研修センターの生涯研修受講単位状況は、660名（会員数の58.5%）で、前年度と比較して50名の減。取得目標単位（10単位）取得者は、177名（会員数の16%）で、前年と比較して4名の増であった。また、沖縄県の日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師は認定者が219名で取得率10.8%であり、全国平均の14.8%を下回っている。本制度は平成6年スタートであり、新規認定者は全国で平成20年の7,569名をピークに平成23年が4,763名、平成24年が4,572名と著しく減少しているが、これは薬学部6年制移行の影響であり、今後増加する見通しである。さらに、日本薬剤師会生涯学習支援システム（JPALS）も平成24年4月からスタートし、今年で3年目に入る。

我々薬剤師は、薬の専門家として国民の健康の保持・増進に寄与しなければならない。さらに、最近の薬剤師に関する厳しい非難も薬剤師に対する期待の表れと捉えて、薬剤師が「国民の目に見える形」で薬剤師の薬物医療への貢献を示す必要があり、それにはどの認定制度であれ生涯にわたり研修・研鑽に取り組む事が重要であり、今後も実りある生涯学習活動を継続していきたい。

#### （1）薬学生実務実習受入について

平成25年度の薬学生長期実務実習は、1期11名、2期11名、3期1名の合計23名を沖縄県で受け入れた。昨年の受け入れは16名であり、確実にふるさと実習の方向に向かう傾向にある。九州内の大学の他に他地区の大学も増えてきている。大学の内訳は以下の通りである。九州保健福祉大学5名、第一薬科大学5名、長崎国際大学1名、福岡大学5名、崇城大学2名、徳島文理大学（香川）3名京都薬科大学1名、城西国際大学1名であった。どの実習生も意欲的に取り組み、実習は大きなトラブルもなく無事終了。実習受け入れ薬局のスキルもアップした。実習受け入れ薬局は全部で18薬局。そのうちはじめ実習を受け入れた薬局は5薬局であった。外部実習に関しても協力体制が整い、多くの施設や薬剤師会の委員会がかかわった。

認定実務実習指導薬剤師の養成のためのワークショップへの参加枠も昨年の3名から8名（追加ワークショップ開催あり）に増え、座学も予定通り2回行うことができた。

### 5. 関連事業

毎年度、継続して行った事業は次のとおりである。

- |                                    |                                  |
|------------------------------------|----------------------------------|
| (1) 「薬と健康の週間」事業<br>(10月17日～10月23日) | (5) 日薬年金及び賠償責任保険への加入促進           |
| (2) 各種関連協議会への参加協力                  | (6) 県薬会報の発行                      |
| (3) 関連機関団体との協議及び懇談                 | (7) 求人求職斡旋事業                     |
| (4) 関係行政当局との定期的連絡協議会               | (8) 麻薬覚せい剤及び<br>薬物乱用防止対策行事への参加協力 |

## 薬事情報センター 平成25年度事業報告

(質問集計については 2013. 1. 1～2013. 12. 31)

### 1. 情報提供業務

- (1) 質疑応答業務 (集計内容の詳細は別紙参照)
  - ・調査件数：596件/年 (会員442、一般154) 50件/月 ・質問者数：488人/年 41人/月
- (2) WEBサイト (ホームページ) による情報提供
  - ・ホームページ利用状況 アクセス件数：408,920/年 (月平均34,076件、1日平均1,120件)
- 本年度追加・更新した主な項目
  - (一般向け) ・研修会カレンダー ・薬局マップ ・沖縄県薬剤師会会報 ・在宅支援薬局一覧
  - (会員向け) ・ドーピング禁止薬リスト2013 ・医療事故情報収集当事業報告書
  - ・イエローレター、ブルーレター頁 ・新聞報道事例集
- 閲覧回数が多かったページ：上位3項目
  - 1位：臨床検査の基準値 2位：沖縄県薬剤師会報 3位：子供の誤飲・中毒
- (3) 会報「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (隔月刊・年6回) No.220～No.225を発行

### 2. 情報収集業務

- (1) 新規図書総数49冊 (購入：15冊)
- (2) 購読雑誌：21誌 (『産科と婦人科』定期購読開始)
- (3) 各都道府県薬剤師会機関誌：42誌
- (4) 業界新聞：5紙 全国紙：1紙 (朝日) 地方紙：2紙 (琉球新報・沖縄タイムス)
- (5) メーカー・卸機関誌：10誌
- (6) 厚生労働省および日薬からの各種情報・通知
- (7) 製薬企業からの情報

### 3. 情報管理業務

- (1) 当センターで独自に入力・管理を行なっているデータベース
  - ①適応外使用情報集
  - ②沖縄県薬事情報センター質疑応答事例
  - ③医薬文献・各種Q&Aデータベース
  - ④ドーピング禁止薬リスト
- (2) 日薬と共同作成を行なっているデータベース (文献検索システムBunsaku)
  - ・入力データ：407,885件 (作年度より13,137件増加：平成25年12月31日現在)
  - 沖縄県薬担当雑誌 (「新薬と臨床」「JIM」「臨床薬理」「おきなわ県薬会報」)
- (3) 全都道府県薬の薬事情報センター協同事業：情報バンクへの資料提供

### 4. 学会及び研修会等への参加

- (1) 2014年9月15日(日) 第75回九州山口薬学大会 in 佐賀 (薬事情報センター協議会)
  - 於：ホテルニューオータニ佐賀 てんごんの間 (出席：吉田典子)
- (2) 2014年1月28日(火) 平成25年度薬物関連相談窓口担当者意見交換会
  - 於：沖縄県総合福祉センター西棟4階 第7会議室 (出席：吉田典子)
- (3) 2014年1月31日(金) 平成25年度日本薬剤師会 薬事情報センター実務担当者研修会
  - 於：東京・日本薬剤師会 (出席：吉田典子・大城恭子)
- (4) 2014年2月1日(土) 日本臨床スポーツ医学会2014公開シンポジウム
  - 於：東京ステーションカンファレンス サピアタワー5階 (出席：大城恭子)

### 5. その他

- (1) 琉球新報社発行・新報生活マガジン「うない」の掲載原稿審査 (化粧品、健康食品等の広告表現の審査：薬事法、健康増進法等) 平成25年1月～平成25年12月(56件)
- (2) 薬学実習生受け入れ (吉田・大城恭子)
  - I期：平成25年6月27日(6名(内1名薬剤師)/3時間) 平成25年7月4日(6名/3時間)
  - II期：平成25年10月25日(6名/3時間) 平成25年10月31日(6名(内1名薬剤師)/3時間)
- (3) DI業務支援
  - ・平成25年4月～平成26年3月(週1)(大城恭子)
  - ・平成25年4月～平成26年3月(週5)(事務：金城みどり)
  - ・平成25年4月～平成26年3月(週2時間)(HPメンテ、制作：赤嶺朝健)
- (4) 会営薬局とよみへ出向 (9月～現在) ・吉田典子 (週1程度) ・大城恭子 (週1程度)

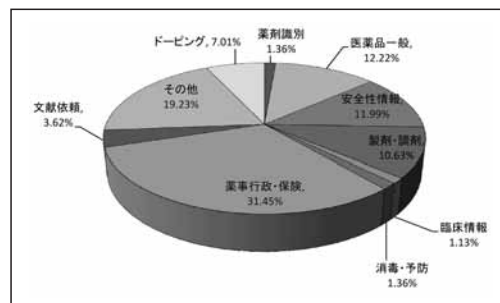


## 2013年（平成25年）：調査件数集計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	(%)
薬剤識別	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	6	1.36%
医薬品一般	2	3	7	4	5	4	0	2	13	10	1	3	54	12.22%
安全性情報	5	3	6	15	3	0	7	0	8	1	4	1	53	11.99%
製剤・調剤	3	1	4	1	3	7	4	1	2	3	10	8	47	10.63%
臨床情報	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	5	1.13%
漢方薬・民間療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
消毒・予防	0	0	1	2	0	1	0	0	0	1	1	0	6	1.36%
食品・栄養学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
薬事行政・保険	19	9	9	10	19	8	9	11	15	8	6	16	139	31.45%
文献依頼	5	3	0	0	2	1	1	3	0	1	0	0	16	3.62%
その他	11	11	4	8	5	14	4	12	2	6	6	2	85	19.23%
PL相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
ドーピング	9	0	13	3	0	1	0	1	4	0	0	0	31	7.01%
合計	55	32	45	43	40	37	25	32	44	30	29	30	442	100.0%

一般(件数)	18	22	6	4	13	15	20	9	18	11	4	14	154
--------	----	----	---	---	----	----	----	---	----	----	---	----	-----

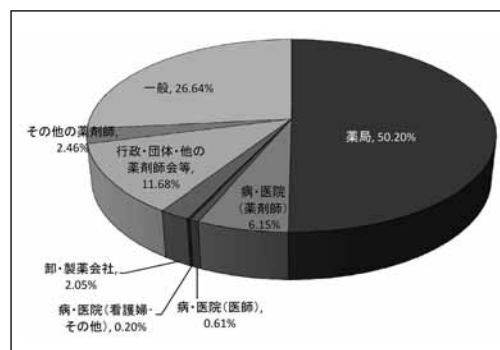
2013年：年間総質問件数 596件  
2013年：月平均質問件数 50件



## 2013年（平成25年）：質問者数集計（質問者別）

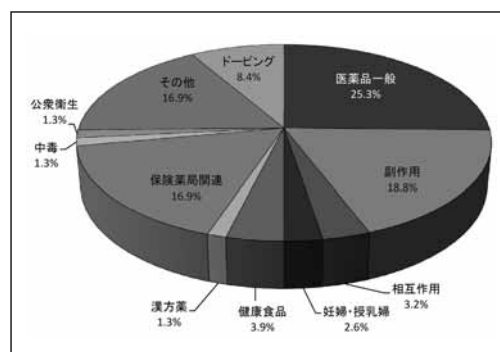
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	(%)
薬局	29	17	18	19	22	23	14	19	25	21	21	17	245	50.20%
病・医院(薬剤師)	3	2	1	1	5	2	3	4	5	1	2	1	30	6.15%
病・医院(医師)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	0.61%
病・医院(看護婦・その他)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.20%
卸・製薬会社	1	0	1	2	1	0	0	2	3	0	0	0	10	2.05%
行政・団体・他の薬剤師会等	6	3	5	7	7	7	5	5	2	4	2	4	57	11.68%
その他の薬剤師	0	5	0	1	0	2	0	0	1	2	1	0	12	2.46%
一般	9	17	5	4	12	13	19	11	16	11	4	9	130	26.64%
合計	48	44	30	35	47	47	41	41	53	40	30	32	488	100.0%

2013年：年間総質問者数 488人  
2013年：月平均質問者数 41人



## 一般からの質問の内訳（1月～12月）

	合計	(%)
医薬品一般	39	25.3%
副作用	29	18.8%
相互作用	5	3.2%
妊婦・授乳婦	4	2.6%
健康食品	6	3.9%
漢方薬	2	1.3%
保険薬局関連	26	16.9%
中毒	2	1.3%
公衆衛生	2	1.3%
その他	26	16.9%
ドーピング	13	8.4%
合計	154	100.0%



## 平成25年度 試験検査センター事業報告

### I. 医薬品検査について

#### 1) 計画的試験

\*平成25年度の計画的試験の検査については、平成25年12月18日に試験検査センター運営委員会で討議され、1)プレドニゾロン錠の溶出試験、2)ロキソプロフェンナトリウムの定量試験及び3)漢方薬の細菌試験が選定された。1)～3)以外の品目1検体を含めて、検体の提出は209検体であった。1)～3)以外の品目は、薬局製造販売医薬品(薬局製剤)1検体であった。また、漢方薬の細菌試験については第16改正日本薬局方「参考情報」を結果判定の参考とする。

検査対象	検査項目	検体数
プレドニゾロン錠	溶出試験	71
ロキソプロフェンナトリウム	定量試験	112
漢方薬	細菌試験	25
その他	定量試験	1
		209

#### 2) 統一試験(日薬);平成25年度医薬品全国統一試験

\*日薬より試験実施要領及び検体かが配布され、下記の試験を行った。

\*プレドニン錠(プレドニゾロン)の溶出試験

(分析法)パドル法 平成26年4月9日提出

#### 3) 外部精度管理(厚生労働省);平成25年度登録試験検査機関技能試験

\*国立医薬品食品研究所より検体及び試験法が配布され、下記の試験を行った。

\*トスフロキサシントシル酸塩錠の定量試験

(分析法)液体クロマトグラフ法 平成26年4月22日提出

#### 4) 依頼医薬品・化粧品検査

\*依頼検査の実績は以下のとおりである。

化粧品の細菌検査及び医薬品の規格試験等の依頼を受けた。

	検査数	検査料金
依頼	28	641,670

### II. 水質検査について

#### 1) 学校関係水質検査

\*学校関係の水質検査は以下のとおりである。

県立学校及び33市町村の水質検査、また、琉球大学附属小学校・中学校等の水質検査を行った。

	検査数		検査料金
	飲料水	プール水	
県立学校	76	71	2,181,270
市町村	352	234	6,869,100
その他 琉大附属小学校等	11	2	144,050
計	439	307	9,194,420

#### 2) 依頼水質検査

\*依頼検査は以下のとおりである。八重瀬町営プール等の水質検査等を行った。

	検査数	検査料金
一般依頼	65	631,050

### III. 空気環境検査について

1) ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の検査

\* 県立高等学校及び那覇市等より空気環境検査の委託を受け、検体を取りまとめ、財団法人東京顕微鏡院へ分析を依頼した。また、今年度、新たに与那原町と豊見城市から委託を受けた。

ただし、東京顕微鏡院への外注費は、1,683,400円。

2) ダニ又はダニアレルゲン検査

\* 県立学校、那覇市及び国立沖縄工業高等専門学校の検査を行った。

3) 依頼ダニ検査

\* 依頼検査は以下のとおりである。

	検査数	検査料金
県立学校	76	941,640
那覇市立小・中学校	72	893,000
与那原町立小・中	3	49,140
豊見城市立幼・小・中	17	64,680
浦添市立幼・小・中	7	349,860
その他 国立高専 等	5	98,700
計	180	2,397,020

	検査数	検査料金
県立学校	228	606,480
那覇市立幼・小・中	204	482,160
与那原町立小・中	9	22,428
豊見城市立幼・小・中	37	95,550
その他 国立高専 等	11	28,350
計	489	1,234,968

	検査数	検査料金
一般依頼	7	17,875

### IV. 随時の調査等依頼への対応

○学校環境衛生や医薬品等の検査に関する問い合わせについて、下記の事項等について資料提供を行った。

1) プールの除藻について など 5件

### V. 研修

1) 日薬技術講習会

講習日 平成25年12月5日 ～研修内容～  
 講習会場 日本薬剤師会 会議室 1 薬局製剤の歴史と活用法  
 出席者 小泉 宝之 2 無菌製剤(注射剤)の調整/企業における実例のご紹介  
 3 無菌試験に必要な施設と留意点  
 4 研究発表  
 「データロガーを利用した薬局での保冷庫の温度管理」  
 5 医薬品試験委員会報告

講習日 平成25年12月6日 ～研修内容～  
 講習会場 日本薬剤師会 会議室 1 下水中の直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)の濃度測定  
 出席者 小泉 宝之 2 リアルタイムPCR法を用いた食品・環境検査  
 -腸管出血性大腸菌、ノロウイルス、レジオネラ菌を中心に-  
 3 皮膚の働きと美白化粧品

### VI. 試験検査センター運営委員会

平成25年12月18日(水)19時より本館会議室において試験検査センター運営委員会を開催した。会議内容は次のとおりである。

- 1 報告事項
  - 1) 平成24年度実績報告(医薬品検査・水質検査等)
  - 2) 平成25年度中間報告(医薬品検査・水質検査等)
- 2 議題
  - 1) 平成25年度計画的試験について
  - 2) 平成26年度事業計画(案)について
- 3 その他(学校薬剤師部会と試験検査センターの意見交換について報告)



第70回通常総会資料

平成25年度 貸借対照表

平成26年3月31日現在

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預 金	249,580,557	237,175,851	12,404,706
未 収 入 金	241,669,965	241,931,520	-261,555
商 品	77,520,031	70,090,779	7,429,252
立 替 金	136,129	14,000	122,129
前 払 費 用	1,036,121	289,484	746,637
貸 倒 引 当 金	-2,670,000	-2,655,000	-15,000
流動資産合計	567,272,803	546,846,634	20,426,169
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	0	418,000	-418,000
基本財産合計	0	418,000	-418,000
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	77,856,978	75,566,486	2,290,492
九 山 積 立 預 金	10,110,601	8,609,174	1,501,427
法 務 対 策 積 立 預 金	5,000,796	5,000,000	796
会 館 修 繕 積 立 預 金	26,738,067	23,734,179	3,003,888
災 害 対 策 積 立	3,000,598	3,000,000	598
特定資産合計	122,707,040	115,909,839	6,797,201
(3) その他固定資産			
建 物	163,338,915	168,477,375	-5,138,460
造 作 物	3,972,441	744,932	3,227,509
建 物 付 属 設 備	25,095,977	24,957,005	138,972
構 築 物	10,308,928	12,016,753	-1,707,825
車 両 運 搬 具	1,268,103	2,536,201	-1,268,098
什 器 備 品	15,768,224	10,085,045	5,683,179
土 地	157,097,850	157,097,850	0
電 話 加 入 権	2,765,413	2,765,413	0
ソ フ ト ウ ェ ア	8,501,496	10,609,619	-2,108,123
敷 金	1,250,000	1,250,000	0
差 入 保 証 金	5,081,850	5,081,850	0
その他固定資産合計	394,449,197	395,622,043	-1,172,846
固定資産合計	517,156,237	511,949,882	5,206,355
資産合計	1,084,429,040	1,058,796,516	25,632,524

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	181,035,065	179,297,190	1,737,875
未払金	26,986,159	30,936,282	-3,950,123
前受金	380,000	400,000	-20,000
前受会費	33,400	0	33,400
預り金	1,172,012	4,656,291	-3,484,279
仮受金	15,040	0	15,040
賞与引当金	4,266,955	5,743,555	-1,476,600
未払法人税等	13,635,200	11,958,900	1,676,300
流動負債合計	227,523,831	232,992,218	-5,468,387
2. 固定負債			
長期借入金	149,187,000	159,183,000	-9,996,000
退職給付引当金	66,364,155	71,365,210	-5,001,055
固定負債合計	215,551,155	230,548,210	-14,997,055
負債合計	443,074,986	463,540,428	-20,465,442
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	30,478,981	26,090,960	4,388,021
寄付金	8,433,944	8,699,151	-265,207
指定正味財産合計	38,912,925	34,790,111	4,122,814
2. 一般正味財産	602,441,129	560,465,977	41,975,152
(うち基本財産への充当額)	418,000	418,000	0
(うち特定資産への充当額)	44,850,062	40,343,353	4,506,709
正味財産合計	641,354,054	595,256,088	46,097,966
負債及び正味財産合計	1,084,429,040	1,058,796,516	25,632,524

次ページへ続く →

第70回通常総会資料

平成25年度  
正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特 定 資 産 運 用 益	18,806	183,057	-164,251
特 定 資 産 受 取 利 息	18,806	183,057	-164,251
受 取 入 会 金	870,000	770,000	100,000
受 取 入 会 金	870,000	770,000	100,000
受 取 会 費	105,732,738	101,545,407	4,187,331
正 会 員 受 取 会 費	51,689,352	47,950,000	3,739,352
賛 助 会 員 受 取 会 費	54,043,386	53,595,407	447,979
事 業 収 益	1,648,989,334	1,544,319,423	104,669,911
出 版 物 事 業 収 益	6,329,684	9,963,113	-3,633,429
広 告 料 事 業 収 益	720,000	964,100	-244,100
そ の 他 事 業 収 益	4,488,447	2,945,440	1,543,007
調 剤 報 酬 収 入	1,399,740,638	1,296,148,511	103,592,127
一 部 負 担 金 収 入	188,350,068	185,316,259	3,033,809
小 分 治 療 剤 収 入	17,415,279	15,172,348	2,242,931
保 険 外	9,563,897	10,450,065	-886,168
受 取 手 数 料	4,306,501	4,178,214	128,287
保 険 等 調 整 増 減	725,512	662,528	62,984
新 規 契 約 賦 課 金	150,000	110,000	40,000
利 用 契 約 金	2,920,000	3,030,000	-110,000
医 薬 品 検 査 手 数 料	641,670	127,850	513,820
水 質 検 査 手 数 料	9,987,800	11,486,012	-1,498,212
空 気 検 査 手 数 料	3,649,838	3,764,983	-115,145
受 取 補 助 金 等	3,324,979	3,022,414	302,565
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	299,000	-299,000
受 取 民 間 助 成 金	213,000	0	213,000
受 取 補 助 金 等 振 替 額	3,111,979	2,723,414	388,565
受 取 寄 付 金	861,413	325,207	536,206
寄 付 金 収 入	596,206	60,000	536,206
寄 付 金 等 振 替 額	265,207	265,207	0
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	135,000	11,000	124,000
雑 収 益	3,172,526	3,365,674	-193,148
受 取 利 息	48,058	47,937	121
雑 収 入	304,797	408,917	-104,120
事 務 受 託 金 収 益	2,819,671	2,908,820	-89,149
経常収益計	1,763,104,796	1,653,542,182	109,562,614



科 目				当年度	前年度	増 減	
(2) 経常費用							
事	業	費		1,672,556,343	1,562,048,408	110,507,935	
期	首	棚	卸	高	70,090,779	63,807,225	6,283,554
仕		入		高	1,328,635,058	1,228,177,813	100,457,245
期	末	棚	卸	高	-78,397,197	-71,140,096	-7,257,101
役	員		報	酬	3,083,950	2,220,000	863,950
給	料		手	当	111,485,525	112,419,230	-933,705
雑				給	51,155,004	46,531,703	4,623,301
賞				与	18,290,045	19,251,475	-961,430
退	職	給	付	用	8,083,122	7,594,850	488,272
法	定	福	利	費	24,576,564	25,008,625	-432,061
福	利	厚	生	費	859,224	1,188,673	-329,449
会		議		費	4,182,392	4,483,932	-301,540
旅	費	交	通	費	16,808,876	14,499,562	2,309,314
通	信	運	搬	費	5,477,783	4,926,895	550,888
減	価	償	却	費	19,147,068	19,121,237	25,831
消	耗		品	費	14,154,076	10,423,791	3,730,285
修		繕		費	413,977	174,460	239,517
研		修		費	70,800	45,280	25,520
出	版	物	印	刷	10,648,653	10,583,234	65,419
地	代		家	賃	21,736,622	21,868,168	-131,546
光	熱	水	料	費	6,358,201	5,969,476	388,725
賃		借		料	2,537,016	3,091,345	-554,329
広		報		費	3,354,556	1,617,250	1,737,306
保		險		料	967,407	736,223	231,184
諸		謝		金	318,000	512,907	-194,907
租	税		公	課	3,284,783	3,363,612	-78,829
支	払	負	担	金	1,629,272	1,220,100	409,172
支	払	補	助	金	6,000,000	6,000,000	0
支	払	寄	附	金	55,000	78,000	-23,000
委		託		費	0	363,000	-363,000
外		注		費	1,767,570	1,730,610	36,960
支	払	手	数	料	5,509,983	5,572,589	-62,606
交		際		費	94,555	30,648	63,907
管	理	維	持	費	6,189,513	6,637,487	-447,974
新	聞	図	書	費	281,826	244,026	37,800
貸	倒	引	当	金	150,000	80,000	70,000
雑				入	0	71,735	-71,735
支	払		利	息	2,310,076	2,446,316	-136,240
商	品	廃	棄	損	877,166	1,049,317	-172,151
雑		損		失	369,098	47,710	321,388
管	理			費	34,931,580	31,802,005	3,129,575
役	員		報	酬	1,246,050	1,460,000	-213,950
給	料		手	当	6,812,672	6,150,618	662,054
退	職	給	付	費	577,020	357,566	219,454
法	定	福	利	費	1,054,856	898,187	156,669

科 目	当年度	前年度	増 減
福 利 厚 生 費	18,609	49,661	-31,052
会 議 費	1,098,098	650,568	447,530
旅 費 交 通 費	3,402,004	3,318,860	83,144
通 信 運 搬 費	758,868	720,456	38,412
減 価 償 却 費	1,680,525	1,973,270	-292,745
消 耗 品 費	976,841	356,913	619,928
修 繕 費	237,518	0	237,518
出 版 物 印 刷 費	0	151,200	-151,200
光 熱 水 料 費	267,926	346,186	-78,260
賃 借 料	114,507	255,721	-141,214
保 険 料	76,780	74,074	2,706
諸 謝 金	730,000	1,207,500	-477,500
租 税 公 課	459,467	458,598	869
支 払 負 担 金	13,213,000	11,233,500	1,979,500
支 払 手 数 料	451,874	419,511	32,363
交 際 費	776,757	668,090	108,667
管 理 維 持 費	645,177	566,479	78,698
雑 費	0	132,376	-132,376
支 払 利 息	333,031	352,671	-19,640
<b>経常費用計</b>	<b>1,707,487,923</b>	<b>1,593,850,413</b>	<b>113,637,510</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	55,616,873	59,691,769	-4,074,896
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>55,616,873</b>	<b>59,691,769</b>	<b>-4,074,896</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	6,521	311,122	-304,601
建 物 除 却 損	0	292,339	-292,339
什 器 備 品 除 却 損	6,521	18,783	-12,262
経常外費用計	6,521	311,122	-304,601
当期経常外増減額	-6,521	-311,122	304,601
税引前当期一般正味財産増減額	55,610,352	59,380,647	-3,770,295
法人 税 等	13,635,200	11,958,900	1,676,300
当期一般正味財産増減額	41,975,152	47,421,747	-5,446,595
一般正味財産期首残高	560,465,977	513,044,230	47,421,747
一般正味財産期末残高	602,441,129	560,465,977	41,975,152
II 指定正味財産増減の部			
受 取 補 助 金 等	7,500,000	4,500,000	3,000,000
受取地方公共団体補助金	7,500,000	4,500,000	3,000,000
一般正味財産への振替額	-3,377,186	-2,988,621	-388,565
一般正味財産への振替額	-3,377,186	-2,988,621	-388,565
当期指定正味財産増減額	4,122,814	1,511,379	2,611,435
指定正味財産期首残高	34,790,111	33,278,732	1,511,379
指定正味財産期末残高	38,912,925	34,790,111	4,122,814
III 正味財産期末残高	<b>641,354,054</b>	<b>595,256,088</b>	<b>46,097,966</b>

## 第70回通常総会資料

### ＜議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会定款、会員・会費規程改正案承認の件＞

趣旨：弁護士より、定款第6条第2項により、会員規程第8条の（3）について成立しないとの指摘があり、改正案を提出する。

参考：定款第6条第2項（正会員は、この法人が承認した地域薬剤師会の会員であって、かつ、日本薬剤師会の正会員である者とする。）

#### （1）沖縄県薬剤師会定款

現 行	改 正（案）
<p>（法人の構成員） 第5条</p> <p>（1）正会員 薬剤師であって、この法人の目的及び事業に賛同して入会した者</p> <p>（2）賛助会員 この法人の目的及び事業に賛同して入会した個人又は団体</p> <p>（3）特別会員 薬剤師ではないが、薬学を専攻する学生、その他薬学及びそれに関連する知識・薬務経験を有する者でこの法人の目的及び事業に賛同して入会した個人</p> <p>（4）名誉会員 この法人及びこの法人の目的の達成に功労のあった者で理事会において名誉会員とすることを決議した者</p>	<p>定款第5条の（3）の定めにより以下の二重線の内容を追加する。</p> <p>（3）特別会員 <u>年齢が満80才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者。</u></p> <p>薬剤師ではないが、薬学を専攻する学生、その他薬学及びそれに関連する知識・薬務経験を有する者でこの法人の目的及び事業に賛同して入会した個人。</p>

#### （2）沖縄県薬剤師会会員規程

現 行	改 正（案）
<p>（正会員） 第8条 定款第5条に定める正会員の種別は、次のとおりとする。</p> <p>（1）正会員A 薬局等の開設者および管理薬剤師又は正会員Aであることを希望する者</p> <p>（2）正会員B 正会員A以外の者</p> <p>（3）正会員C 年齢が満80才以上の正会員で薬剤師業務に携わっていない者（正会員Cは沖縄県薬剤師会の会員資格のみを有するものとする）</p>	<p>第8条で定款第5条に定める正会員の種別の内（3）を、次のとおり改正する。</p> <p>（3）削 除</p>



(3) 沖縄県薬剤師会会員規程

別表 資格基準 (第3条第2項)

現 行

改 正 (案)

会員名称	資格基準
正 会 員	① 薬剤師の免許を取得していること。 (薬剤師法第2条) ② 薬剤師関係法規に違反した者で、処分を終了した者 ③ この法人が承認した地域の薬剤師会の会員であること。
賛助会員	① この法人の目的及び事業に賛同し、事業に賛助するため入会を希望する薬剤師でない個人及び企業・団体。 ② 薬局。
特別会員	・正会員、賛助会員以外の個人で、薬学を専攻する学生その他薬学及びそれに関連する知識・業務経験を有し、この法人の目的、事業に賛同するため入会を希望する者。
名誉会員	・薬学又は薬業の進歩発展に特に顕著な功労があった者のうちから、理事会で名誉会員とすることを決議した者。

会員規程の別表の資格基準の特別会員を以下のとおり改正する。

会員名称	資格基準
特別会員A	・年齢が満80才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者 (特別会員Aは沖縄県薬剤師会の会員資格のみを有するものとする)
特別会員B	・正会員、賛助会員以外の個人で、薬学を専攻する学生その他薬学及びそれに関連する知識・業務経験を有し、この法人の目的、事業に賛同するため入会を希望する者。

(4) 沖縄県薬剤師会会費規程

「別表2」年会費

現 行

改 正 (案)

種 別	金 額	備 考	摘 要
正会員	A会員	54,000円	内 日薬会費 18,000円
	B会員	39,400円	内 日薬会費 7,000円
	C会員	10,000円	
賛助会員A	15,000円		県薬会員資格のみ有する
特別会員	1,000円	(会報発送なし)	研修会等の案内

会費規程「別表2」年会費のC会員と特別会員の項目を次のとおり改正する。

1. C会員の項目を全部削除する。
2. 特別会員の項目を以下のとおりとする。

種 別	金 額	備 考	摘 要
特別会員	特別会員A	10,000円	県薬会員資格のみ有する
	特別会員B	1,000円	(会報発送なし)

**第70回通常総会****議案審議及び質疑応答の概要****＜議案の審議＞****報告第1号 平成25年度会務並びに事業経過報告について**

吉田副会長が、資料に沿って平成25年度の会務並びに平成25年度事業経過報告を報告した。

**報告第2号 平成25年度会務並びに会計監査報告**

大城桂子監事より、伊敷幸太郎監事と共に平成25年度における会計及び業務の監査を行ったこと、監査方法の概要と監査意見が述べられ、総評で、部会活動、委員会活動、公益事業活動も活発に行われ、それに伴う会計処理も正確に行われていると述べられた。また、理事会の様子について、県薬の発展のために活発な意見が交わされており、正当に運営されているとの報告もあった。

**議案 第1号 平成25年度決算承認の件**

山里常務理事より、一般会計・収益事業部（会営薬局うえはら、会営薬局とよみ、その他事業、琉大病院FAXコーナー、試験検査センター、会営薬局医療センター前）の法人全体の合算決算書資料に沿って説明がなされた。貸借対照内訳表より、資産合計は1,084,429,040円、負債合計は443,074,986円、正味財産合計は641,354,054円、負債及び正味財産合計は1,084,429,040円となったと述べられた。

続いて、正味財産増減計算書より、実施事業会計は公益事業、その他会計は両会営薬局等の事業収益、法人会計は一般会計にあたる。受取会費（正会員受取会費、賛助会員の受取会費）は105,732,738円、事業収益は1,648,989,334円、内訳で実施事業等会計は77,736,801円、その他会計は1,571,252,533円となっている。経常収益計1,763,104,796円、経常費用の事業費は1,672,556,343円、管理費は34,931,580円、経常費用計は1,707,487,923円、経常収益から差し引いた当期経常増減額は55,616,873円となる。実施事業等会計だけでみると-76,334,564円となる。

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書より、九山積立預金は10,110,601円、会館修繕積立預金は26,738,067円、災害対策積立預金3,000,598円であることが説明された。

各事業会計の資料については、沖縄県薬剤師会事務局で閲覧できることが申し添えられた。

**第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会定款、会員・会費規程改正案承認の件**

田場専務理事より、去る3月の臨時総会で指摘された定款第6条第2項「正会員は、この法人が承認した地域薬剤師会の会員であって、且つ、日本薬剤師会の正会員である者とする」に対して、会員規程第8条の（3）正会員Cは沖縄県薬剤師会の会員資格のみを有するものとするとは正会員資格に矛盾するとのことで、指導弁護士に相談したところ、指摘があったとおり成立しないとの回答があった。そのため、次のとおり改正案を提出することとした。これまでの「年齢が満80才以上の正会員で薬剤師業務に携わっていない者：特別会員Aは沖縄県薬剤師会の会員

資格のみを有する者」は、正会員Cとして扱っていたが、改正案として特別会員Aとして扱うこととし、これまでどおりの条件とする。それに係る定款、会員規程、会費規程を資料のとおり改正することが提案された。

## ＜地区薬剤師会代表質問＞

### 那覇地区薬剤師会（具志堅興信代議員演説）

1. 以下について教えて頂きたい

- (1) 沖縄県薬剤師会に入会している、病院薬剤師の会員数
- (2) 沖縄県薬剤師会における、病院薬剤師の会費
- (3) 各九州山口県薬剤師会における、病院薬剤師の会費一覧
- (4) 今年度の病院薬剤師会への助成金額
- (5) 都道府県において県薬剤師会と病院薬剤師会が統合された件数
- (6) (5) の初めて統合・統一された年度

2. 今後、沖縄県では病院薬剤師会と県薬剤師会との一本化の考えは、あるのかないのか伺いたい。

3. 会営薬局とよみが、危機的状況に陥っている現状について質問します。

- (1) 薬剤師不足というこの時期に、なぜ会営薬局とよみでは多くの薬剤師が辞めたのか？その経緯について詳細にご説明頂きたい。
- (2) 長年にわたり、会営薬局とよみの薬局長を任命しなかった理由を教えて頂きたい。
- (3) 今回の危機的状況は、会への多大な損害を与えるものと痛感していますが、会長をはじめ理事の方が、この事態をどのようにお考えか伺いたい。また、社会通念上からすると損害は、定款5条第12項の規定により理事全員の責任問題へ発展すると思われるが、その点についてご意見を伺いたい。

### 松山副会長答弁

1. の (1) の質問について、県病薬会員数約380名中県薬会員は72名で約19%である。

1. の (2) の質問について、年額39,400円である。

1. の (3) の質問について、別紙で説明された。

1. の (4) に質問について、部会費として30万円である。

1. の (5) に質問について、京都府薬剤師会のみである。

1. の (6) の質問について、2010年4月である。(京都府薬剤師会)

### 神村会長答弁

2の質問について、薬剤師職能として一本化すべきであるが、日薬と日病薬が一本化することが早道だと思う。日薬と日学薬が昨年統一され、日薬の部会として活動しているがまだまだ数々の問題を解決しなくてはならない。日薬が一致団結して行動をすることを望んでいる。今後、日薬の動向をみて検討していきたい。

### 吉田副会長答弁

3の(1)の質問について、「会営薬局とよみの薬剤師不足の問題は、随時、理事会での報告、議題に取り上げ取り組んできましたが、大きな問題として全会員に事情が届いておらず、ご心配をお掛けしていることについて深くお詫び申し上げます。また、会営薬局の存在意義を理解し、連日の超過勤務で頑張っている職員、また輪番で入って頂いている協力薬剤師の方々にも心から感謝申し上げます。」と述べられた。昨年の秋頃から、定年退職者、家庭の諸事情、体調不良等によりやむなく退職者が続いている。また年中無休の365日開局していることで薬剤師定数が

7～8名必要とされているが、全国的に薬剤師不足が何年も続いている中、定員に達していない状況があった。あらゆる方法で薬剤師確保に取り組んでいるおり、賃金面でも、全国的な薬剤師不足で賃金が上昇している現状がある。県薬は、退職金制度等の福利厚生は充実していると思われるが、基本給の整備が必要とされるため、2号給アップ等にして対応している。

3の(2)の質問については、南部地区薬剤師会からの代表質問の中で回答した。

3の(3)の質問について、危機的状況はいろいろな事情等が重なってしまったこともあるが、薬剤師確保も含め、あらゆる方法により業務継続をしようとしているのが現状。また事前質問にはなかったが、どのような部分で損害を与えたことなのかももう一度具体的に教えていただきたい。

#### 伊是名秀平代議員質問

今回の那覇地区からの代表質問は、会員に公募をかけた。これまで会営薬局とよみは、土日祝日も開局していたが、近隣の薬局に協力してもらい土曜日の午後と日祝日閉めているとのことだが、その分収益が下がるのではないか。また、FAX一斉同報等で求人募集をされているが、会員は実情がわからないため、噂的なものばかり横行していないか気になる。その状況等をお聞かせ願いたい。

#### 吉田副会長答弁

理事の責任ということもあるが、経営というものには波があると考えている。危機的状況は執行部が変わったからといって避けられるものでもないと思う。今、理事の責任を追求するという発想自体をおいていただき、会営薬局とよみの状況をどうしたらよいのか発案していただければと思う。

#### 我喜屋理事答弁

5月から会営薬局とよみの担当になった我喜屋です。補足して見解を述べます。このような状況は長年の責任者不在が生み出したもの。薬剤師会の責任は大きい。お詫び申し上げます。会営薬局とよみの職員の声を役員にまで伝える者がいなかった。職員が我慢に我慢を重ねて「もう、いいさ」となっていたのは事実である。そういう状態で休み無しに365日良く働いたと思う。執行部にもそこまで苦しんでいるとは思わせない最強のチームワークだったからこそ出来ていたことであって、それにエールを送りたい。決して人間関係の悪化でそのようになったのではないことをここでお伝えする。今回、辞めた理由は確かに個人個人の理由はあったかも知れないが、職員はいつ辞めてもおかしくないという状況下にあり、自分が辞めると他の人に迷惑をかけるのがわかっているため、絶対に辞めないできたわけである。それが今回、風の糸が切れたようにガタガタきた。限界だったと思われる。現在、常勤職は2名残ってくれている。来月には1人採用予定。協力薬剤師は10名余りいて深く感謝している。近隣薬局の協力もあり、土曜日の午後、日曜祝祭日は職員の休みを確保するため閉局させて頂いている。今後は、早急に責任者をおいて、魅力的な薬局作り、地域の核となる薬局作りに尽力していくことが必要である。

#### 中部地区薬剤師会（福地健治代議員演説）

##### 1. 会営薬局の薬剤師求人について

県薬ホームページの求人案内をもう少し内容を充実させた方が良い。例として入社してからのメリット（県内研修会への積極的な参加、県外・国外学会等への参加、余暇活動等）をアピールすべきである。また、公益社団法人に向けて会営薬局の今後のビジョン・将来像はどのように考えているのか。

##### 2. 会営薬局に応援薬剤師として参加するにも、現状では管理薬剤師の兼務は認められないとの



壁がある。我々中部地区の県立中部病院門前薬局においても年末・年始・連休の処方せん応需に無理が生じかねない状況である。会営薬局同様 管理薬剤師の兼務を陳情していただきたい。

### 3. 実務実習指導薬剤師について

- (1) ワークショップの県内開催の可能性について？ 現指導薬剤師の負担軽減になると思われる。
- (2) 受け入れ薬局の負担が大きいため（不安も含め）、実務実習に係るサポート薬局の体制の割り振りを県薬にてあらかじめ公表し負担軽減につなげてほしい。

### 4. これからの在宅医療の推進に向けて「専門職連携教育（ケアマネ・訪問看護師・訪問医師・・・）

I P E（Inter Professional Education）」等を県薬剤師会主催で開催出来ないか？若しくは、看護協会・医師会共催でも？現状では地区医師会等主催の勉強会へ参加してる状況。又はヘルパー主体の勉強会も必要かと思われる（介護中心の在宅訪問の際、今後ヘルパーとの接点も多くなると考えられるため）。

### 5. 臨床検査技師法の改正により薬局での自己採血検査が可能になりました

期間限定で健康フェア等での採血も可能ですが、今後可能性はありますか？（医師・看護師も参加する健康フェアで）検査結果等の説明等、薬剤師会としての立ち位置の明確化が必要と思われる（医師法に抵触しないよう）。

### 6. 薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点の推進として、県薬として具体的にどのように進めて行くのか？予算の使い方？薬局の選定方法？どの様な薬局を想定しているのか？

## 吉田副会長答弁

1. の質問について、県薬ホームページへの求人案内に、例として新卒者が10年間勤務してどの程度の年収になるか等のわかりやすい情報を掲載してみたい。また入社してからのメリット等をアピールすることについては、実際、会営薬局の職員が学会等に参加する際は補助をしているため、そのようなことをもっとアピールしていきたい。余暇活動については、青年部の活動と連携してアピールしていきたい。公益社団法人に向けての会営薬局の今後のビジョンは、医薬分業開始時は会営薬局は複雑な処方への対応、また研修施設として、そして医薬品の小分けと医薬分業推進薬局として運営されてきた。全国的に医薬分業率も上がり、日薬では会営薬局は一定の役割を終えたとの見解があったが、ここ数年、厚労省が在宅医療提供拠点薬局を整備していく上で日薬が会営薬局を活用するように方針転換した。それを受け会営薬局うえはらには共同利用のための無菌調剤施設が設置された。今後、会営薬局とよみにも設置できるよう進めていきたい。その流れを考えると今後も会営薬局の存在は重要である。

## 福地代議員

ぜひ、会営薬局の薬剤師の方々が多少余裕のある働きやすい環境なるようにしていただきたい。

## 田場専務理事答弁

2. の質問について、会営薬局とよみの救急対応時に、他の薬局からの応援薬剤師として管理薬剤師が兼務することについて、始めに県薬務疾病対策課に出向いて要請した。回答は管轄が保健所ということで、その後南部保健所に会営薬局とよみの公益性を説明し要請したところ、特例で会営薬局医療センター前の管理薬剤師兼務を認めているため、特例をもう一つ作る訳にはいかないとの回答で、どうも釈然としなかった。制度の現状として、薬事法第7条第3項の規定により、薬局の管理者はその薬局以外の場所で業として薬局の管理、その他薬事に関する業務に従事するものであってはならない。但し、都道府県知事の許可を受けた時は、この限りではないとあるため、最寄りの豊見城中央病院は、地域指定支援病院であり、その院外処方箋を応需している会営薬局の公益性は十分あるため、その面を表にだして、保健所、県と交渉を続けていきたいと思っていると回答した。

**我喜屋理事答弁**

3.(1)の質問について、1回のワークショップの開催は、通常54名。沖縄県で開催しても県内からは6名程しか参加出来ない。多大な予算と労力が必要とされており、結果、諦めている状況である。

3.(2)の質問について、「6年制薬局実習の受入薬局に対する日本薬剤師会の基本的な考え方」では、実習は1つの薬局で完結するように明記されている。しかし、現状は難しいため4年前の実習開始から委員会として薬局の実習サポートを行っている。開始時期の受入実習生は一期二期合わせて10名余だったのが、現在合わせて35名となっている。今年度から地区で体制を整備する時期と考え、委員会として地区体制の強化を行っている。

**笠原理事答弁**

4.の質問について、IPE等を薬剤師会でできないかという事で、前向きに開催を検討していきたい。

5.の質問について、臨床検査技師法の改正により、薬局での自己採血検査が可能になった。健康フェア等での採血も可能。そういった健康フェア等での使用も見据えてガイドラインを作らなければならない。問題となる医療行為への抵触の有無についても検査結果を返す場合に医学的判断を交えた指導(診断にあたる)は慎まなければならない。あとは機器の管理のことで機器はそれぞれ精度管理が出るようになっている。外部精度管理調査をしなくてはならない。県内ではそれができる業者はわからないが、詳細は調査中である。

6.の質問について、健康情報拠点事業は現在進行中である。500万円の補正予算が通れば、10月以降の実施となる。実施事業として「薬の飲み方や使い方など医薬品の適正使用に関する相談」と「血圧計などの健康機器を用いた健康チェックと食生活(食品・健康食品)運動習慣などに関する健康サポートならびに特定健診・がん検診の受賞勧奨」の2つを行う。参加薬局は手上げ方式で呼び掛ける。保健福祉委員会ならびに開局委員会で進めて行く予定である。

**宮古地区薬剤師会(古謝真己代議員演説)**

県薬剤師会より支給される年活動資金の運用について、県薬剤師会が一般社団法人に移行したことにより、地区薬剤師会へ支給される活動資金の使い道が公益かそうでないかに振り分け(仕分け)を行わなければならなくなっている。宮古地区のような会員が少ない地区は、会費収入は少なく、県薬剤師会からの活動資金が大きな財源となっている。このまま活動資金の運用に制限があり続ければ、地区会活動に支障が出る恐れがある。活動資金を地区薬剤師会の判断で自由に使える方法はないか。

**山里常務理事答弁**

現在、支払い補助金(地区活動助成金)として公益目的事業に使われる費用と位置付けされているため内訳の提出をお願いしている。今後、地区会長会議や理事会等で協議し、公益目的事業支出から除外すれば、その限りではないので検討していきたい。

**北部地区薬剤師会(成川賢一代議員演説)****1. 地区代表質問時間について(要望)**

臨時総会の開催が不定期になると思われる中で、会員からの質問を受ける機会も自ずと減少する一方、地区代表質問の5分間というのはあまりにも短く、十分な質疑が行われにくいことを考慮し、地区代表質問の時間制限の見直しを要望する。

## 2. 予算案の決議事項から報告事項への変更について

一般社団法人法にて予算が理事会承認事項でも行えることは理解しているが、上部団体の日本薬剤師会が予算を決議事項にしている事と、また現在まで臨時総会にて会員と意見を交わす事で沖縄県薬剤師会の活動に理解を得てきた流れから予算案を決議事項のまま、臨時総会を定期開催するのが良いのではないか。先の理事会にて、執行部としてはどちらでも良いとの事だったので、改めて執行部と会場にいる代議員の皆さんに意見を伺いたい。

## 3. 公益社団法人から一般社団法人移行の税制優遇分資産の処理について

一般社団法人に移行し、7年で5億償却すると前回の通常総会で説明を受けたが、臨時総会の際に償却の方法について説明されなかった。また、沖縄県薬剤師会として公益社団法人を目指すとの事だった。以上の点から、

- (1) 5億円償却の方法と計画の説明
- (2) 公益社団法人を目指すにあたって、現在、公益事業として行われている事業の費用と収支、また全事業費に対する公益事業費用の割合と金額をお伺いしたい。
- (3) 応能会費より賛助会員B会費に移行したが、応能会費時代と賛助会員B会費時代で予算の使用範囲が変更されたと伺っているので、応能会費時代の使用範囲と使用事業が賛助会員B会費に変わり、どのように変わったのかを説明して欲しい。また一般会費と賛助会員B会費がどのような内訳でどの事業に使用されているのか、大まかで良いので説明して欲しい。

1の質問については、今後の要望としてだけ述べられた。

### 吉田副会長答弁

2の質問について、参考資料より九州山口地区の各県薬剤師会の事業計画・予算案決議の取り扱いの比較表が説明され、沖縄県薬として弁護士、全国公益法人協会からのアドバイスにより、法人法上では総会での決議事項でない。理事の責任を重要視し理事会で決議されることが望ましいとのことであった。

### 成川代議員

予算等がこれまでの総会決議事項から報告事項に変わったが、総会は、貴重な意見が述べられる重要な場所である。当初、代議員の皆様がこの件について意見を求めたかったが、ぜひ各地区に持ち帰り話し合って、県薬に意見を上げていただきたい。そして県薬は、その意見を十分に理解し検討していただきたい。

### 神村会長答弁

しっかり検討する。全会員総会制度から代議員総会制度に変更したが、この制度をしばらく続けて、改めて全会員総会制度を必要とするならば、議論して決議のもと変更すべきである。しかしこれまでの全会員総会制度では、むしろ参加者が少なく、特別講演をして参加者を増やしていた状況であった。現在の代議員総会制度での代表質問制では、地区及び支部で十分に協議されていることと思われる。それが地区・支部のさらなる活性化に繋がっていくことを期待している。

### 山里常務理事答弁

3.(1)について、資料77頁の昨年3月末の正味財産期末残高595,256,088円と、そして土地評価差額-30,816,132円を相殺した額、564,439,956円が平成25年3月末の公益目的財産額。89頁の当期経常増減額-76,334,564円、受取補助金等振替額-2,386,658円の合計を公益目的財産額(平成25年3月末)564,439,956円から差し引いた値が公的公益目的財産額(平成26.3月末)485,718,734円となる。

**成川代議員質問**

5億円を償却し終わったら、公益事業の規模は減るのか、またその後は会費収入だけで事業運営していくことになるのか。

**吉田副会長答弁**

公益事業で償却していくが、減価償却のイメージで実際にお金があるわけではない。これまでの財産を公益事業で支出していき、その間、県の監督下にあり収支報告をしなければならない。当会は、8年の償却予定だが、極端ではあるが100年かけてもかまわないが100年間、県の監督を受けることになる。

**成川代議員質問**

予算への影響はどのようになっているのか。

**吉田副会長答弁**

実際にあるお金でないため、これによって予算が削られるということはない。今までどおりの事業となる。

**山里常務理事答弁**

3.(2)の質問について、全事業費に対する公益事業費用の割合と金額は、全事業費1,707,487,923円、公益事業費161,664,710円で公益事業費の割合は9.5%になる。

**吉田副会長答弁**

公益社団法人化には、公益事業費の割合が50%以上でなくてはならない。現在は会営薬局の事業費が多くを占めているため、この現況では公益社団法人化は不可能である。当面は、公益目的の事業を着実に増やしていくことを考えていきたい。鹿児島県薬剤師会では、会営薬局を支部薬剤師会に譲って公益社団法人に移行したが、当会においては、現時点ではその方法は考えていない。

3.(3)の質問について、賛助会員B会費はこれまでの応能会費とは異なり賛助会員の会費として徴収していることから、特定の事業に充てることにはせず、県薬全事業に充てることになっており、過去の総会で承認されている。

**成川代議員質問**

応能会費の時には、医薬分業への使用目的の枠があり、賛助会員B会費は、使用目的の枠がなくなった。そこで、賛助会員B会費がどう使われるのか明確にする上で、どう変わりどう使われるのか伺いたい。

**吉田副会長答弁**

これまでの応能会費においてもすべてがどう使われていたか明確にするのは難しかったと認識している。そのため応能会費から賛助会員B会費へどう変わったかとの回答は難しい。

**成川代議員質問**

使用目的の枠を取り払った理由を教えてください。

**吉田副会長答弁**

総会、代議員会等で応能会費の使用内訳等に関して度々質問があり、その都度回答してきたが、なかなか理解していただけなかったため。

**成川代議員質問**

今後、ぜひ賛助会員B会費がどのように使われているか報告願いたい。

**吉田副会長答弁**

賛助会員B会費は、正会員会費と同様に県薬全事業に充てていくため、どの事業に使ったかは定められない。



## 成川代議員質問

賛助会員B会費を払わない会員は除名しなくてはならないとの規程があったと思われるが、その薬局への説明が必要ではないか。

## 吉田副会長答弁

そう解釈する規定は存在する。しかし即実行ではなく、薬局に対して賛助会員B会費への理解を求めて行きたい。

## 神村会長答弁

補足として、正会員が積極的に県薬に貢献していても、その薬局のオーナーが賛助会員Bに入会しないことで、その正会員が退会および除名になることは避けなくてはならない。薬剤師会は営利団体ではなく職能団体であり、賛助会員B会費は職能向上のための経費であることを理解してもらいたい。

## 南部地区薬剤師会（高良武和代議員、荒井千春代議員演説）

### 1. 「会営薬局とよみ」について

今年の5月から薬剤師不足により調剤業務に支障をきたしており、現在臨時応援の先生方の協力に対応している状況の中、執行部のご苦労も大変だと察する。しかしながら、一般会員にはここまで至った経緯を知らされてなく、執行部による会営薬局の業務体制を疑問視する会員も少なくない。一度に4人の薬剤師が退職するということは誰も予測できなかったことであり、今後の対策が重要。

- (1) 「会営薬局とよみ」が今回の状況に至るまでの経緯の説明と薬剤師の同時退職の理由。
- (2) 今後このような事態を招かない具体的対策と方針。
- (3) 琉大附属病院、豊見城中央病院の移転に伴う会営薬局の移転計画もあるのか。
- (4) 面分業調剤を推奨する薬剤師会だが、参考までに3会営薬局の最多応需医療機関の件数比率をお聞かせ願いたい。

### 2. 在宅サービス活動について

薬局・薬剤師による在宅医療サービスの質的向上を目的として、在宅訪問業務の応需状況の把握と情報公開をお願いしたい。方法としてはレセプトデータから集計、あるいはアンケート調査を行う。

#### 【医療保健】

##### ①在宅患者訪問薬剤管理指導

- 1) 同一建物居住者以外の場合
- 2) 同一建物居住者以外の場合＋麻薬管理指導加算
- 3) 同一建物居住者の場合
- 4) 同一建物居住者の場合＋麻薬管理指導加算

##### ②在宅患者緊急訪問薬剤管理指導

##### ③在宅患者緊急訪問薬剤管理指導＋麻薬管理指導加算

##### ④在宅患者緊急時等共同指導

##### ⑤在宅患者緊急時等共同指導＋麻薬管理指導加算

##### ⑥退院時共同指導

##### ⑦無菌製剤処理加算

- 1) 中心静脈栄養療法用輸液
- 2) 抗悪性腫瘍剤
- 3) 医療用麻薬

## 【介護保険】

- ①薬剤師居宅療養Ⅱ 1
- ②薬剤師居宅療養Ⅱ 1・特薬
- ③薬剤師居宅療養Ⅱ 2
- ④薬剤師居宅療養Ⅱ 2・特薬
- ⑤薬剤師居宅療養Ⅱ 3
- ⑥薬剤師居宅療養Ⅱ 3・特薬
- ⑦薬剤師居宅療養Ⅱ 4
- ⑧薬剤師居宅療養Ⅱ 4・特薬

## 【無菌室の利用状況と今後の拡充】

- ①会営うえはら薬局の利用状況
- ②北部薬剤師会薬局の利用状況
- ③今後の拡充→会営とよみ薬局への設置予定

## 【小規模薬局間の連携による在宅業務の実施状況】

- ①今回の改正による基準調剤加算にかかる24時間開業について、会員のバックアップに何か考えがあるか。
- ②麻薬等の取り扱い薬局を増やすために会として何か考えがあるか。
- ③薬局間の連携状況による在宅業務の実施状況を教えてほしい。

## 高良代議員質問

これまでの各地区からの代表質問より、会営薬局とよみの件に関しては重複するところもあるが、一気に4人の薬剤師が辞めたことで、今後の課題と対策について伺いたい。③、④についても伺いたい。

## 吉田副会長答弁

会営薬局とよみの件について心配を掛けていることにお詫びの言葉を再度述べられた。今後このような事態をまねかない具体的対策として、これまでの取り組みとして、全国紙の朝日新聞関東版、沖縄タイムス、琉球新報、日経D I、県薬ホームページ、薬剤師予備校への求人広告などを行っている。薬剤師の職員間の応援体制についても、専務理事、D I 薬剤師、会営薬局うえはらからも行っている。また輪番で10名余りの薬剤師に協力していただいております、薬剤師本人および派遣していただいている薬局のオーナー、スタッフには心より感謝している。さらに協力薬剤師を増やすべく、以前勤務していた職員への呼び掛け、県内の大手チェーン薬局への呼びかけ、会営薬局医療センター前の輪番薬剤師への呼びかけも行っている。また近隣薬局および最寄りの豊見城中央病院の協力により、土曜日の午後から日曜祝祭日は薬局を休ませていただいている。派遣業者、紹介業者への登録、FAX一斉同報による呼びかけも行っている。また、管理薬剤師の兼務について県薬務疾病対策課と相談中である。この状況に至った原因の1つとして長年に亘り、会営薬局とよみをまとめる薬局長がいなかったのが大きいのではないかと。これまで数名と交渉はしてきたが採用までは至らなかった。最重要課題として管理者を設置する。今後も会営薬局を地域情報拠点薬局として担っていく。

③の質問について、琉大附属病院、豊見城中央病院の移転に関しては、会営薬局も地域情報拠点薬局として一緒に移転したいと思う。まだ具体的ではないが、今後積極的に情報を収集していく。

④の質問について、会営薬局とよみの集中率は豊見城中央病院から89%、会営薬局うえはらの集中率は琉球大学附属病院から95%。会営薬局医療センター前の集中率は県立南部医療セン

ター・こども医療センターから97%となっている。

#### 荒井代議員質問

沖縄県で在宅医療を推進していく上で詳細なアンケート調査の必要性について提案させていただきたい。県内での無菌室は、北部地区薬剤師会会営薬局に設置され、会営薬局うえはらにも設置された。将来、在宅医療を進める上で会営薬局とよみへの設置について伺いたい。

#### 笠原理事答弁

県内は多くの薬局が在宅に取り組んでいないという状況である。在宅を開始していただくために、優先してマニュアル作成に取り組んでいる。先生のご提案を委員会で取り上げていきたい。会営薬局うえはらの利用状況は、使用実績はないが、依頼があったことで、急遽現場での実習を終了後、利用する予定となっている。研修マニュアルも作成中。北部地区薬剤師会会営薬局の利用状況も使用実績はない。今後の拡充として、北部は北部地区薬剤師会、中部は会営薬局うえはら、南部は会営薬局とよみと設置構想している。宮古、八重山地区についても今後の課題と考えている。

#### 八重山地区薬剤師会（山城専代議員演説）

##### 1. 医薬品卸会社設置に関して

引き続き協力賜りたい。どの様な取り組みが今後必要かアドバイスを頂きたい。

##### 2. 災害対策に関して

マニュアル作成の進捗、県防災計画への参画（指定公共機関を目指しているということだった）はどの様な状況か。

##### 3. 求人求職斡旋事業に関して

多方面から取り組まれているが、更なる強化策を検討されているか。

##### 4. 賛助会員B会費未納薬局の件

B会費の使途が明快にできないか。真面目に支払っている薬局が不平等感を持たないように未納薬局への更なる働きかけが必要かと思われる。

#### 神村会長答弁

1.の質問について、石垣市長と医薬品卸業者訪問、石垣市議会での決議、石垣市議団の医薬品卸業者の訪問等を踏んでいる。また私より、県議、国会議員にも相談している。医薬品卸業者側も真摯に応じていただいているが、経営上の問題等で苦慮しているとのことである。石垣市長の話し合いの中でも飛行場跡に県立八重山病院が移転することで、隣接して県有地、市有地に医薬品卸業者を誘致してはどうか等の意見交換をしている。これからも努力していく。

#### 吉田副会長答弁

2.の質問について、昨年度、災害対策委員会は3回開催した。災害対策マニュアルは、現在、9割以上は出来ている。6月に日薬全国災害対策担当者会議が開催され、その意見を組みながら災害対策マニュアルを完成させて配布する。県防災計画への参画（指定公共機関）については、昨年9月薬務疾病対策課、12月に防災危機管理課を訪問した。その後、調整しながら薬務疾病課からの指示待ちとなっている。また、医師会からの呼び掛けで国民保護法共同実働訓練に参加した。

#### 田場専務理事答弁

3.の質問について、求人求職斡旋事業として、薬学生実務実習期間中に「Uターン・Iターン啓発」をすることが効率的であると考え、実務実習中の薬学生が多く参加する予定の「新任・

新人薬剤師研修会」において、青年部会より積極的に呼び掛けをすることになっている。更に今年度は、国（厚生労働省）からの「医療提供体制改革のための新たな財政支援制度（基金）」に「医療従事者等の確保・養成のための事業」があり、本会はこの事業を利用し、薬学部へ出向き強く呼び掛けていきたい。

### 山里常務理事答弁

4.の質問について、今までの応能会費とは違い、賛助会員B会費は薬剤師職能の向上に係る事業の経費として使われる貴重な財源である。県薬全事業の運営に充てていくため用途は定められない。未納薬局へは引き続きご理解ご協力を頂けるよう納付を働きかける。

### <採 決>

議長より、第1号の平成25年度決算承認の件について承認が求められ、賛成多数につき可決された。

次に、第2号の一般社団法人沖縄県薬剤師会定款、会員・会費規程改正案承認の件について承認が求められ、賛成多数につき可決された。

以上を持って議事が終了した。



監事・理事席側



代議員席側



## 会務ハイライト

### 平成26年度 新任・新人薬剤師研修会報告

会 期：平成26年7月6日(日)  
会 場：(施設見学) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局  
(研 修 会) 沖縄県薬剤師会館 ホール  
共 催：沖縄県薬剤師会・沖縄県病院薬剤師会 協 賛：日本血液製剤機構



薬剤師学術研修委員会  
委員長 外間 惟夫

平成26年度新任・新人薬剤師研修会は、去る7月6日に沖縄県薬剤師会館ホールで開催された。参加者は、薬局27名、病薬20名、薬学生22名、卸1名、その他2名の計72名と多くの参加があった。

講義の前には自由参加で沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局の施設見学が行なわれ、同病院薬局の長田茂薬局長と照喜名重裕副薬局長に対応していただいた。

研修会は、ランチョンセミナーに日本血液製剤機構の柚木幹弘氏が「日本血液製剤機構のウイルス・プリオンに対する安全対策研究」について講演、引き続き松山朝雄学術担当理事から、新任・新人薬剤師に対する期待と自己研鑽を続けて欲しいとの開催挨拶があった。

最初の「実務に生かせる情報検索」は琉球大学病院薬剤部の鈴木毅氏が担当し、情報検索の基本から始まり、検索に有用なサイト紹介や問い合わせ事例Q&A、さらには海外の薬剤や健康食品の情報検索など有益な講義であった。

「薬歴の書き方について」は、すこやか薬局グループの金城奈々美氏が担当され、薬歴の目的、記録システムPOSの紹介に続き、薬歴の書き方実例ではSOAPなどの具体例を示しながらの講義であった。

さらに、中頭病院の山本紗織氏による「フィジカルアセスメントについて」は、なぜフィジカルが必要なのか、また病院だけでなく薬局勤務薬剤師にも必要なこと、そしてフィジカルと服薬指導など参加者に質問しながら、実際にお互い脈拍測定するなど、とても具体的な講義であった。

その後、学校薬剤師部会副会長の笠原大吾氏が「学校薬剤師部会」について、青年部会紹介では、青年部会副会長の川満直紀氏から部会紹介の他に、県下の薬剤師不足についても話があり、薬学生に向けて沖縄県も多くの良い就職先があるなどのUターン啓発をされていた。

最後に、薬剤師学術研修委員会副委員長の渡具知一枝氏の挨拶で閉会となった。

今年の研修会も若い薬剤師や薬学生の参加が多く、また3名の若手講師に関しても、講演内容、配布資料、発表において大変素晴らしかったとの声が多く、実りのある研修会となった。

今回参加いただいた新人・新任薬剤師と薬学生の今後の活躍の一助となれば幸いである。

プログラム	司会：薬剤師学術研修委員会 委員長 外間 惟夫	
<施設見学>	県立南部医療センター・こども医療センター薬局 (自由参加)	11:00～11:45
<製品説明>	「日本血液製剤機構のウイルス・プリオンに対する安全対策研究」 日本血液製剤機構 研究開発本部 研究開発推進部 柚木 幹弘	12:05～12:50
<研修会>	司会：薬剤師学術研修委員会 委員長 外間 惟夫	
1. あいさつ	学術担当理事 松山 朝雄	13:00～
2. 実務に生かせる情報検索	琉球大学医学部附属病院薬剤部 鈴木 毅	13:05～14:05
3. 薬歴の書き方について	(株)薬正堂 すこやか薬局グループ 金城奈々美	14:05～15:05
	----- 休憩 15:05～15:20 (15分) -----	
4. フィジカルアセスメントについて		15:20～16:20
	社会医療法人 敬愛会 中頭病院 山本 紗織	
5. 学校薬剤師について	学校薬剤師部会 副部会長 笠原 大吾	16:20～16:30
6. 青年薬剤師部会紹介	青年部会 副部会長 川満 直紀	16:30～16:45
7. 女性薬剤師部会紹介	女性薬剤師部会 部会長 村田美智子	16:45～16:50
8. 閉会のあいさつ	薬剤師学術研修委員会 副委員長 渡具知一枝	16:50

<講師陣>



鈴木 毅氏



金城 奈々美氏



山本 紗織氏



笠原 大吾氏



川満 直紀氏



村田 美智子氏



柚木 幹弘氏



松山 朝雄 学術担当理事



外間 惟夫 委員長



渡具知 一枝 副委員長

<施設見学>



長田 茂 薬局長



施設見学者が多いため2グループに分かれての案内となった



照喜名 重裕 副薬局長

実務実習

平成26年度 I 期薬学生実務実習報告



薬学生実務委員会  
委員長 我喜屋 美香

以前にもお伝えしましたように、今年度の薬学生実務実習は35名です。そのI期16名が7月26日に終了致しました。毎回そうですが、実習生の若さあふれるパワーを得て各薬局はリフレッシュしています。

平成26年I期(5/12~7/26)の実習生は、県内の14の保険薬局にて実習を行いました。重大なトラブルも無く、大きな成果を残し、終了できたことを報告致します。沖縄県専修学校各種学校協会が主催する「しごとミュージアム」(高校生を対象に薬剤師はどんな職業なのか、薬科大学はどんなところなのかを薬剤師ブースにて紹介しました)

では、昨年同様に実習薬学生が大活躍してくれました。TVのニュースにも流れました。

昨年の全国で行われたアンケートでは、約25%の薬剤師(新卒)が実習により進路を変更しています。それだけ実習の影響力が大きいということです。9月から始まるII期は19名を予定しています。また、お力をお貸しください。

実習受け入れ薬局の先生、他スタッフの皆様、協力して下さった皆様。本当にありがとうございました。

以下に、16名の感想文を掲載します。

実習薬局(14薬局)

(以下、順不同・敬称略)

- クララ薬局ウェルビー
- とくりん薬局南風原店
- ひまわり薬局天久店
- レモン薬局糸満店
- こくら虹薬局
- 豊見城薬局
- 美里虹薬局
- レモン薬局美里店
- すこやか薬局新都心店
- びいふる薬局経塚店
- 保険薬局プラネット
- すこやか薬局知花店
- ひまわり薬局大道店
- ゆい薬局嘉手納店

協力施設・委員会・団体

- 会営薬局医療センター前
- すこやか薬局薬歴委員会
- すこやか薬局野嵩店
- ミドリ薬局美里店
- 那覇地区薬剤師会
- がじまる薬局
- ひるぎ薬局
- ぼたん薬局
- (株)ダイコー沖縄
- 学校薬剤師部会
- こくら虹薬局
- 福寿薬局
- (株)薬正堂
- すこやか薬局新川店
- すこやか薬局具志川店
- ドラッグイレブン新都心店
- (株)アトル沖縄営業部
- 学校薬剤師の先生方



学校薬剤師について学ぶ



"しごとミュージアム"でも大活躍



## 実務実習薬学生 平成26年度I期生からの体験記・感想

第一薬科大学5年 高宮城 拓

(レモン薬局 美里店 実習)  
指導薬剤師 谷澤 大輔)

今回実習を通して強く実感したことがあります。それは服薬指導をしていくうえで薬学的知識はもちろんのこと、コミュニケーション能力の大切さ、お薬の説明以外でのセルフメディケーションの提供、または対応力がとても大事だと思いました。

実習期間中では外部実習にも多く参加しました。問屋さん、在宅、漢方、学校薬剤師、OTCとそれぞれの場での薬剤師の活躍を実際に見学、体験させてもらい勉強になりました。特にたくさんの薬剤師さんの考え、今までの経歴、理想の薬剤師像など決して学校では学ぶことのできない実際の現場の薬剤師さんの生の声を聴けたことが何よりも自分にとってためになりました。

この二か月半で学んだことを後期の実習、今後の進路に生かしていきたいと思います。

神戸学院大学5年 糸数 玲

(とくりん薬局 南風原店 実習)  
指導薬剤師 兼城 崇)

2か月半という長い期間でしたが、あっという間に終わってしまいました。私はとくりん薬局さんに受け入れていただきました。初日から優しく教えていただいととてもうれしかったです。心療内科や耳鼻科など多くのクリニックの処方箋が集まる薬局なので、様々な種類の薬にふれました。この2か月半で調剤の基本的なことから服薬指導の応用まで薬について多くを教えていただき、実習が始まる前よりも薬剤師としての意識を高く持てるようになりました。また学校薬剤師や在宅の業務を体験したり被災地へ派遣された方のお話を伺う機会もあり、とても貴重な体験ができたと思います。沖縄県の薬剤師の方々はとてもアットホームでいつでも快く受け入れていただいたので、楽しく実習を終えることができました。ありがとうございました。

第一薬科大学5年 宮城 絵梨歩 (美里虹薬局 実習 指導薬剤師 野村 久子)

11週間と長い期間でしたが、振り返ると短く感じるような1日1日が濃く、とても充実した実務実習でした。薬局実習では、調剤、監査、服薬指導など、様々な事を経験させていただきました。調剤では、患者さん1人1人のニーズに合わせ、1包化調剤や粉碎調剤などを行い、とても忙しかったですが、合間に薬剤についての作用や薬効、飲み方の説明の仕方など、色々なことを教えていただきました。服薬指導では、いかにコミュニケーション能力が大切かが分かりました。患者さんとの会話から服薬状況など様々な情報を導き出せるかが、薬の副作用や併用薬との相互作用を防ぎ、コンプライアンスの向上を目指す上

で、とても重要だと思いました。そのためには、患者さんから信頼され、相談しやすい薬剤師にならなければいけないと思いました。また、学校薬剤師の仕事や在宅医療、夜間診療、勉強会、卸会社見学などに調剤業務以外の勉強もたくさんでき、貴重な経験をさせていただき、地域の方々の健康サポートが出来る職業だと改めて感じました。様々なことを学ばせて頂き、知識面や精神面でも成長することが出来たと思います。この経験を活かし、日々精進していきたいと思います。知識不足や至らない面もいっぱいあり、ご迷惑をおかけしましたが、優しく、丁寧にご指導くださり、ありがとうございました。



第一薬科大学5年 渡慶次 和也

(ひまわり薬局 天久店 実習)  
(指導薬剤師 玉村 澄恵)

薬局実習を通じて、11週間は長いようで短く感じました。初日は、緊張して不安なところもありましたが充実した実習を送ることが出来ました。実習では調剤業務だけではなく、学校薬剤師の業務や在宅訪問などを見学して、薬剤師としての仕事が薬局内だけではなく幅広いなっておもいました。この実習で学んだことを、次の病院実習で活かせるように頑張っていきたいです。

神戸学院大学5年 池村 有佳子

(すこやか薬局 新都心店 実習)  
(指導薬剤師 金城 奈々美)

実習では、店舗での実習以外にも在宅医療で実際に患者さんの自宅の訪問や薬剤師の活動に参加したりなど大学生活ではなかなか見ることの出来ない現場まで見ることが出来とても楽しかったです。さらに、1年目薬剤師や2年目薬剤師の方達と一緒に研修にも参加させて頂き現場で働く先輩たちの話を聞くことでとても勉強になり刺激を受けることが出来ました。この実習を通して学んだことを、今後へ活かしていけるよう頑張りたいです。

長崎国際大学5年 石川 和也

(レモン薬局 糸満店 実習)  
(指導薬剤師 平田 崇)

実習の始めの頃は、薬局の業務は新鮮でした。今までは、患者として薬局に訪れていましたので。あたりまえのように受け取っていた医薬品が、裏側では、「薬剤師をはじめとした様々な職種の人達によって提供されていること」そのことがナマの現場でみれ、仕事に微力ながら関わりました。これが、私の実務実習で得られたもののなかで一番大きなものです。また学校薬剤師の仕事とお話も聞くことができました。カゲでつとめる大人たちの姿がみれて、いい経験ができました。レモン薬局糸満店様をはじめ、実習に関わってくださった皆様に感謝いたします。

崇城大学5年 座間味 明音

(ぴいぶる薬局 経塚店 実習)  
(指導薬剤師 中尾 滋久)

11週間、お世話になりました。実習先のスタッフを始め多くの方々の協力で、充実して実習を過ごすことができました。実際に業務を体験してみて、改めて薬剤師はやりがいのある職業だと感じています。また、実習中に私自身の至らない部分を多く見つけることができ、薬剤師になるためには何をすべきかを見つめなおす事ができました。実習を通して感じた悔しさや上達していった喜びを忘れずに、立派な薬剤師になっていきたいと思えます。

崇城大学5年 比嘉 成美 (こくら虹薬局 実習 指導薬剤師 宮城 幸枝)

11週間の薬局実習で、調剤などの薬局業務や在宅医療、学校薬剤師の業務など学校ではできない貴重な経験をすることができました。実際に調剤や服薬指導を行うことで、処方せんを読むことの大切さ、患者さんとコミュニケーションをとることの大切さを実感しました。また、薬局外に出て在宅医療や学校薬剤師の業務を行い、他職種の方々と連携をと

ることで、地域のサポートを行っていることがわかりました。毎日新しい発見や驚きがあり、とても充実した実習期間を過ごすことができました。今回学んだことをしっかり今後活かして、患者さんに信頼される薬剤師になれるよう頑張りたいと思えます。お忙しい中ご指導いただき、本当にありがとうございました。

京都薬科大学5年 宮城 崇晃

(クララ薬局 ウェルビー 実習)  
(指導薬剤師 平良 博文)

長いようであつという間な11週間でした。はじめに二店舗で実習を行うと聞いた時は驚きましたが、大変勉強になりました。早期より患者様と問診や服薬指導を体験させて頂き多くのことを学びました。覚醒剤原料の廃棄は最も印象に残る体験でした。局内実習だけでなく外部実習にも多数行かせて頂き様々な貴重な経験を積みました。実習の間、様々なことを教えてくださった薬剤師の先生、事務の皆さん、本当にありがとうございました。

九州保健福祉大学5年 津波古 梨花

(ゆい薬局 実習 指導薬剤師 植木 智子)

実習を通して、薬剤師は調剤と服薬指導のどちらにおいても視野を広く持つことが求められる仕事であると感じた。また、薬剤師の先生方と医療事務の方々が業務の効率化やリスクマネジメントのための話し合いを何度も行っている姿がとても印象的だった。薬や病態、OTC、公衆衛生についての知識など今後身につけなければならない課題を見出すことができ、より一層努力していかなければならないと思った。

京都薬科大学5年 野原 開

(ひまわり薬局 大道店 実習)  
(指導薬剤師 牧瀬 絵里)

当初、薬局薬剤師のイメージは調剤をして投薬するだけというものでしたが、外部実習や勉強会等を通して、在宅医療、薬局製剤、OTC等、仕事内容の幅広さを感じることができ、また服薬指導1つにしても薬を飲んでくれない患者さんから飲まない理由などを聞きだし、それを元にコンプライアンスを改善していくという難しさ、面白さを学ぶことができました。非常に実のある実習になることができました。

崇城大学薬学部5年 大城 梢

(保険薬局プラネット 実習)  
(指導薬剤師 平田 逸子)

薬局での実習が終わってみて、私は多くの事を学び成長できたと感じています。実習開始3週目から服薬指導をやらせてもらい、多くの患者さんと触れ合うことが出来ました。その中で、服薬指導をする前に前もって薬歴を確認し患者さんに何を説明し何を聞かなければいけないのか頭の中で整理することの大切さを感じました。場数を踏むことであまり緊張することなく服薬指導をすることが出来るようになりましたが、患者さんから質問されても知識が乏しくて答えることが出来ず、また患者さんがたくさんお話して下さったにも関わらず相槌の仕方がわからなく戸惑ったことが多くありました。そんな時に、指導薬剤師の先生にフォローしていただき患者さんとの関わり方を学ぶことが出来ました。二カ月半の実習は長いようであつという間に終わってしまいました。大学では学ぶことが出来ない実践的な部分を学ばせていただき薬局での薬剤師の役割を理解することが出来たと感じています。薬局が忙しい中で実務実習を受け入れて下さった薬剤師の先生方には貴重な体験をさせていただき感謝しています。ありがとうございました。

日本薬科大学5年 喜名 あかね

(豊見城薬局 実習)  
(指導薬剤師 玉城 賢也)

最初は慣れないことばかりで戸惑いましたが、実際の現場でしか体験できないことがたくさんあり、とても勉強になりました。今回の実習で薬剤師の役割や薬剤師に求められることなどをより深く理解することができました。実習では多くの皆様に大変お世話になりました。この経験を活かし、今後も精いっぱい頑張っていこうとおもいます。

徳島文理大学5年 山入端 拓斗 (保険薬局プラネット 実習 指導薬剤師 平田 逸子)

薬局実習を始めてからの2か月半はあっという間でした。保険薬局プラネットでは、薬剤師に必要な知識や技術を教えてもらいました。また、在宅などを通して薬剤師が活躍する場所が多いため他職種とのコミュニケーション力も大事だと感じました。実際に働いている薬剤師を間近にみて、自分が将来どんな薬剤師になりたいか考える良い機会でした。薬

局実習を通して薬剤師は自分の努力次第で活躍できる場を広げることが出来るため、将来薬剤師になっても日々勉強し、そして患者に寄り添えるような薬剤師になれるよう努力していきたいと思います。実務実習を受け入れてくれた保険薬局プラネットの皆様、外部実習で受け入れをしてくれた皆様、本当にありがとうございました。

京都薬科大学5年 中村 貴乃

(とくりん薬局 南風原店 実習)  
指導薬剤師 兼城 崇

あっという間に初めての実務実習期間が終了しました。本当に、素晴らしい1年となりました。初めは、経験もなく知識も乏しい私が実習なんてやっていけるのだろうか、気持ちが悪くなるほど不安でいっぱいでした。そんな私でも、優しく経験豊かな先生方のご指導のおかげでたくさん学ばせて頂き、薬局に行くのが楽しみになっていくくらいでした。実習を通して、薬剤師への印象も180度変わりました。本当にかっこいい、その一言です。患者さんに寄り添う姿が印象的でした。このような素晴らしい機会を与えて頂き、感謝しています。

第一薬科大学5年 上地 和人

(すこやか薬局 知花店 実習)  
指導薬剤師 比嘉 浩一

実習する前、薬局の薬剤師のイメージは調剤業務をこなして薬剤の情報を患者さんに提供することが出来れば、ほとんど問題ないと思っていました。しかし、実際に服薬指導をして患者さんとの会話によるコミュニケーションがとても大切だということが分かりました。患者さんとの会話から生活面や服薬上の問題点など様々な情報を得て正しく安全に薬を使ってもらうために指導に活かされていると思いました。その為にも患者さんから信頼され何でも話やすく相談しやすい薬剤師になればいけないと思いました。



平成26年度 I 期実務実習薬学生記念撮影

後列左より 宮城絵梨歩さん、上地和人さん、高宮城拓さん、池村有佳子さん、野原開さん、宮城崇澁さん、中村貴乃さん、糸数玲さん  
前列左より 渡慶次和也さん、津波古梨花さん、石川和也さん、大城梢さん、山入端拓斗さん、座間味明音さん、比嘉成美さん、喜名あかねさん

啓蒙・普及活動



## 「しごとミュージアム」における薬剤師職能の啓蒙活動について

本会薬剤師無料職業紹介所では、随時70件余りの求人者（殆どが調剤薬局）が登録されておりますが、なかなか求職者がいないのが現状です。ネットや誌面をとおして募集広告等の広報をしておりますが、状況は改善されておられません。そこで、前述の活動も続けながら、広報委員会ならびに青年部会と協働して、『薬剤師職能の啓蒙活動』を展開しています。

去る7月14日に開催された主に高校生を対象に仕事紹介をする全国専修学校各種学校総連合会主催の「しごとミュージアム」での薬剤師ブース出展も同啓蒙活動の一環としており、今回で3回目の参加となりました。

開催期日が薬学生実務実習期間中ということもあり、実務実習担当理事の我喜屋美香理事の協力を得て、前回から薬学生も同ブースにて啓蒙活動をしていただいております。大いに活躍してもらっています。また、同事業に興味を持った薬学生実務実習指導薬剤師の参加もあり、参加報告のご執筆もいただき後頁に

掲載しておりますので、ご覧ください。

主催者側からの情報では、今年は高校生だけでも約3,000人の参加があったとのこと。薬剤師ブースには150余名が訪れ、119名から「薬剤師のイメージについてのアンケート」を得ることができました。アンケートの報告を後頁に掲載しておりますので、こちらのほうもご閲覧ください。

“他団体等主催の事業へ参加しての薬剤師職能の啓蒙活動”が、有意義なものとして展開できているのは、広報委員会と青年部会、そして我喜屋実務実習担当理事の徹底した企画・運営によるものです。ご指導、ご協力ありがとうございました。

今後の“薬剤師職能の啓蒙活動”に会員の先生方からの良きアドバイスが頂けると幸いです。

また、このような活動を地道にされている会員の先生がおられましたら、是非ご紹介下さい。  
(事務局：大城 喜仁)

### ＜しごとミュージアム＞

県内の高校生および若年者を対象に、コンピュータ・情報、美容・理容・ファッション、語学・旅行、ホテル・ブライダル、公務員・法律、保育・幼児教育、建築・土木・インテリア、自動車・航空・機械整備、調理・栄養、医療・福祉・介護など200以上の様々なジャンルの仕事を紹介するイベント。

全国専修学校各種学校総連合会は7月11

日を“職業教育の日”と制定しており、沖縄県専修学校各種学校協会は、仕事に就くために必要な専門的技術や技能・知識を教授する職業教育機関として同フェスタを主催。沖縄県が全国ワーストの失業率や新規高卒者の無業者数（率）が全国平均の約3倍で就職内定率も全国ワーストとなっていることから、若年者の就業意識の啓発と各分野の職業を体験学習する機会として開催している。

### ◆しごとミュージアム“薬剤師ブース”啓蒙活動員

- 宮 城 敦 子      ○前 濱 朋 子      ○砂 川 智 子      ○伊差川 サヤカ
- 玉 村 澄 恵      ○桑 江 常 康      ○平成26年度I期実務実習薬学生

※RBC（琉球放送）「ザ・ニュース」で、しごとミュージアムがオン・エアされ、薬剤師ブースも紹介されました。



## しごとミュージアム参加報告

日時：平成26年7月14日(月) 14:30～19:00  
会場：沖縄コンベンションセンター 展示棟



ひまわり薬局 天久店  
玉村 澄恵

強い夏の日射しをひしひしと肌で感じる平成26年7月14日、沖縄コンベンションセンター展示棟で「しごとミュージアム2014」が開催されました。

今回、私が参加するに至ったのは、開催日に薬学部実務実習生を受け入れており、その学生への参加案内がきっかけでした。「しごとミュージアム」って何？という好奇心が是非どんなものか見てみたいと思い、薬剤師会へ参加したいという旨のメールを気がついたら送っていました。

薬剤師会ブース出展3回目となる「しごとミュージアム」は、高校生を対象に、薬剤師の他、色々な職種の人達が、どんな仕事か、またどのようにその仕事に就くか、仕事に就いたらどのようなことをするのかといったことをPRする場でした。

薬剤師ブースでは、薬剤師免許取得までの流れや進学先、大学の授業内容の説明に加えて、実習風景などの写真を掲示していました。実際にブースを訪れた高校生は1年生が多く、こんなに早くから職業意識を持って進学先を決めたりしていることに少々驚きを感じたり、これも長引く不況のため安定した職業に就くように、大人が早くから意識付けしているという印象を受けたりもしました。(当方、バブル時代に高校生だったため、仕事なんていつでも見つかるよ～という世代で、あまり就職を意識した高校生は周りにいなかったように思います)

また、ブースにたくさんの人を呼び込むために、緑茶と鉄剤を混ぜると液体が黒く変色し沈殿するといった実験を行い、多くの高校生の興味を引いていました。

高校生からの質問に対しては、主に、実務実習薬学生達が対応し上手に答えていました。高校生により近い世代の人達なので、色々と質問しやすい雰囲気を作っていたように思います。実習生の周りに多くの高校生が群がった状態の時間も多くありました。訪れた高校生の中には、薬学部に興味があり進学したいが学費が高いことが気になる子や、県内進学ができないことが気になっている子もいました。沖縄県の高校生の中にはまだまだ薬学部進学ハードルは高いという印象を持っている子も多くいたように感じました。既に学校で職業の適性検査を受けていて医療関係の仕事が向いているからとブースに来た高校生もいました。

私の反省点は、キラキラと輝いた目で「薬剤師のやりがい」を教えて欲しいと聞かれた時に、同じようなキラキラとした目ですぐさま「こんなところが薬剤師の仕事のやりがいです!!」と答えられなかった事でした。しばらく時間をかけ、ゆっくりとやりがいって何かなあと考えながら、高校生に答えていたように思います。でも少しずつ話していくうちに、「大変なこともあるけれど、本当に面白くて良い仕事なので、いつも楽しく仕事していますよ。」と、心からそう言っていたように思います。

このような機会によって、県内に薬剤師になりたいという若い人が多く増えていったらいいなと感じた一日でした。



「沖縄県産業・雇用拡大県民運動」  
推進キャラクターの「ジョブたん」と記念撮影

## “薬剤師”のイメージについてのアンケート

この度は、“薬剤師”ブースにお立ち寄りいただきありがとうございました。  
よろしければ下記のアンケートにご協力ください。

1. 現在なりたい職業は何ですか？ ( )

2. あなたにとって、“薬剤師”といえば、まず思い浮かぶ印象はどんなものですか？  
次の中からひとつ選んで○を付けてください。

- ① くすりの専門家                      ② 医療人                      ③ くすりを調剤する職人  
④ くすりを扱う商人                      ⑤ その他 ( )

3. あなたにとって、職業としての薬剤師について下記の項目についてお聞きします。  
5段階評価の該当すると思われる番号に○を付けてください。

(1) 薬剤師のお給料

高そう ← 1      2      3      4      5      → 低そう

(2) 薬剤師という仕事のやりがい

ありそう ← 1      2      3      4      5      → なさそう

(3) 薬剤師という仕事の大変さ

大変そう ← 1      2      3      4      5      → 楽そう

(4) 薬剤師の社会へのステータス(地位)

高そう ← 1      2      3      4      5      → 低そう

(5) 薬剤師の仕事の安定性

ありそう ← 1      2      3      4      5      → なさそう

4. 将来、あなたは薬剤師になってみたいですか？ また、その理由もお聞かせください。

- ① なってみたい                      ② なってみたいとは思わない。  
なってみたい、またはそう思わない理由をご記入ください。

( )

5. 薬剤師ブースを見ての感想をお聞かせください。

- ① 良かった                      ② まあまあ                      ③ あまり役に立たなかった  
④ 全然役に立たなかった

感想 ( )

6. よろしければ、学校名、お名前をご記入ください。

学校名 ( )      お名前 ( )

ご協力ありがとうございました！ 他にお聞きしたいことがありましたら、ご遠慮なく  
沖縄県薬剤師会（電話098-963-8930）までお気軽にお問い合わせください。

## “薬剤師”のイメージについてのアンケート回答結果

### 1. 現在なりたい職業

- ①薬剤師 30人    ②医師 12人    ③医療関係（医療事務など）12人  
④看護師 7人    ⑤公務員 6人  
その他（栄養士、歯科医師、獣医師、調理師、スポーツトレーナー、介護福祉士など）

### 2. “薬剤師”といえば、まず思い浮かぶ印象はどんなものですか？

- ①くすりの専門家 56人    ②医療人 9人    ③くすりを調剤する職人 54人  
④くすりを扱う商人 7人

### 3. 職業としての薬剤師について

#### (1) 薬剤師のお給料

高そう ← 1      2      3      4      5 → 低そう  
< 1 : 51人    2 : 57人    3 : 10人    4 : 1人    5 : 0人 >

#### (2) 薬剤師という仕事のやりがい

ありそう ← 1      2      3      4      5 → なさそう  
< 1 : 63人    2 : 45人    3 : 7人      4 : 4人    5 : 0人 >

#### (3) 薬剤師という仕事の大変さ

大変そう ← 1      2      3      4      5 → 楽そう  
< 1 : 65人    2 : 39人    3 : 13人    4 : 2人    5 : 0人 >

#### (4) 薬剤師の社会へのステータス（地位）

高そう ← 1      2      3      4      5 → 低そう  
< 1 : 49人    2 : 53人    3 : 15人    4 : 1人    5 : 0人 >

#### (5) 薬剤師の仕事の安定性

ありそう ← 1      2      3      4      5 → なさそう  
< 1 : 78人    2 : 36人    3 : 3人      4 : 2人    5 : 0人 >

### 4. 将来、あなたは薬剤師になってみたいですか？

- ①なつてみたい 83人    ②なつてみたいとは思わない 23人

<なつてみたい、またはそう思わない理由>

- 薬について詳しくなりたいと思った。
- 話を聞いて興味が湧いた。
- ブースを見学して、おもしろそうだった。
- 人のためになる。人のために役立ちたい。
- 色々な事（勉強とか）が大変そう。
- 難しそう。責任重大。
- 薬剤師になって薬の開発とかしてみたい。
- 新薬開発が楽しそう。
- 給料が高いから。安定性があるから。



「薬剤師になるまで」の説明

5. 薬剤師ブースを見ての感想

- ①良かった 110人
- ②まあまあ 6人
- ③あまり役に立たなかった 0人
- ④全然役に立たなかった 0人



<感想>

- 白衣着て、楽しかったです。
- 詳しく聞けて、薬剤師への理解が深まった。
- 薬剤師のイメージが変わってとても役に立った。
- 分からなかったことを色々聞けて良かった！
- とても説明が分かりやすく、前より薬剤師に興味がわいた。
- 実際に大学生の話も聞けて良かった。
- 白衣着て、楽しかったです。
- とっても分かりやすく丁寧で楽しくフレンドリーでした♪
- これからの高校生活で何を頑張ればいいのか分かった。
- 直接、話も聞けて、資料ももらえて為になりました。
- 大学でどんなことするか聞くことができ、とても為になった。

多くの高校生が訪れ  
常に薬剤師ブースは混んでいた

6. 学校名

- 沖縄尚学高校 ○陽明高校 ○那覇商業高校 ○美里高校 ○具志川高校 ○嘉手納高校
- 宜野湾高校 ○興南高校 ○コザ高校 ○南部商業 ○南風原高校 ○普天間高校
- 辺土名高校 ○北部農林高校 ○真和志高校 ○琉大附属中学校 など (順不同)



人気の調剤体験コーナー



白衣試着体験は女子高校生に特に好評だった



平成26年度1期薬学生の活躍で終始大人気だった薬剤師ブース





## 部会だより

# 女性薬剤師部会通常総会報告

日時：平成26年7月13日(日) 13:00～13:50  
会場：沖縄県薬剤師会館



女性薬剤師部会  
会計 草壁 瑞恵

(開会の前に当日、会員の山田貞子先生の告別式に当り、黙祷を捧げました。)

司会の狩俣イソ先生により会は進行されました(参加人数は21名でした)。

村田美智子部会長より、女性薬剤師部会の今日までの成り行きと、女性はいろいろな役回りがあるので無理をせず活動させて頂いていることに感謝の気持ちを含めた挨拶があり、次いで神村武之薬剤師会会長により「昨今の医薬分業に対する批判についてはピンチからチャンスに変えていきましょう。幅広い薬剤師の活躍、地域住民の役に立てるのは薬局だ、今こそやりがいがある時期だと思う。」と力強い挨拶があり、議事に入りました。

### I 平成25年度の活動報告

- ①年に一回の総会 (H25.7月7日)
- ②漢方講座 清水医院院長 清水正彦先生  
(年2回、7月・1月)
- ③健康とおくすり相談会 なごみ会主催  
(8月25日)
- ④薬剤師継続学習コース・スクーリング  
(2月23日)
- ⑤役員会 年11回
- ⑥薬草園の手入れ 隔週土曜日午前
- ⑦勉強会「妊婦、授乳婦とくすり」
- ⑧その他 会議、学術大会への参加

### II 会計報告

与儀和子先生より詳細に報告されました。

県薬より45万円と繰越金を合わせて約49万円で活動をしました。平成26年度も県薬より45万円繰越金合わせて約49万円の予算で活動していきます。

### III 平成26年度の活動計画案

- ①漢方講座の継続 年2回(9月・1月)

- ②一般社団法人日本女性薬剤師会研修講座「平成26年度薬剤師継続学習通信教育講座(旧、診療ガイドライン・薬剤コース)」の斡旋とスクーリングの実施
- ③沖縄の薬草の知識を深める活動  
県薬会報誌連載「くらしの中の薬草」の継続ミニ薬草園の充実
- ④薬局窓口で役立つ「妊娠・授乳と薬」についての知識を深める活動 病院薬剤師会「妊娠・授乳婦と薬」分科会との連携
- ⑤「健康とおくすり相談会」への参加  
保健福祉委員会との協働、なごみ会主催活動
- ⑥その他

以上の提案がなされ、満場一致で可決されました。

### IV その他

平成26年度日本女性薬剤師会定期社員総会と日本女性薬剤師会学術講演会について、村田美智子会長より報告がありました。

昨年フロアから薬剤師は他の職種との交流を図り、存在感を世間へアピールすることが大切で、その一つの方法として“女性の翼”へ参加してはどうかとの提案がありましたが、早速今年参加する予定になっています。

当日ミニ薬草園で増えた長命草を皆様にお配りしました。いつか行政を動かし沖縄に薬草園を造りたいという目標を持って頑張っています(宮崎薬草園は女子薬剤師会がバックアップしているそうです)。

県薬の方に水やりをして貰っているようでお難うございます。今年度より与儀和子先生が薬草園に力を入れていきます。会計として私、草壁が役員に加わりました。いたらないことも多いと思いますが、少しでもお役に立てればと思っています。よろしくお願ひします。

## 「健康長寿復活の鍵」

～沖縄クライシスは低栄養化が原因です～  
と題して、徳洲会こくらクリニック院長の渡辺信幸先生に講演していただきました。

『一生太らない体を作る「噛むだけ」ダイエット』  
『日本人だからこそ「ご飯」を食べるな

肉・卵・チーズが健康長寿をつくる』  
の著者です。

「食事はバランスよく食べましょう」「1日350gの野菜をとりましょう」と指導してきましたが、先生は肉・卵・チーズを食事の中心としてたっぷり食べましょう、野菜を少量プラスしてそれでも空腹の場合だけ穀物を食べていいと衝撃的な発言をされました。毎日の必要最低量は、肉200g、卵3個、チーズ120gのMEC食。M（ミート）、E（エッグ）、C（チーズ）の頭文字です。

先生は救急医療の後、離島に数年間勤務。その間、病気になってからでは遅いので、病気になるようにするにはどうしたらよいかを考え、今の医療に至っているとのこと。

沖縄県の平均寿命が下がってしまった原因にカロリーと脂肪の摂取量の減少をあげています。沖縄の長寿は欧米と同じような家畜文化（肉食）でポーク缶、ステーキ、ラフテーを食べていたからだと言います。実際先生の食事は、朝は食べない、昼はポーク、オムレツ（チーズ入り）、野菜サラダ（少し）の愛妻弁当。夜はしっかり食べるが、ご飯は食べない。肉、卵、チーズを9割でおなかいっぱい食べる。ある一定の時間が来ないとお腹いっぱいにならないため、ゆっくりよく噛んで満腹中枢を刺激する。糖質0ビールはOK。泡盛もOK（蒸留酒は糖質0）。とんかつは、衣は小麦粉だが許容範囲。食べなければ痩せない。糖だけが脂肪になる。余分な脂質は排出される。パンダは草しか食べないから太っている（牛、ヤギも）。肉食系のライオンなどは引き締まっている。人間も野菜しか食べないと太る。港川人は狩猟民族、アフリカのマサイ族は肉食で農業をしない（野菜を食べない）、アラスカのエスキモーはアザラシの

生肉を食べている。人類ははだしで歩いて、肉を食べてきた。家畜を飼うためにその餌として農業は始まった。コメ文化の人たちが肉食を鬼扱いにし、肉は大腸がんになるなどと言ってきた。おにぎりを食べていてもステーキには勝てない。肉を食べないとうつ病も多い。東北人は世界一の高血圧、なぜかという食事、ごはん、味噌汁、焼き魚、煮物といった肉不足の粗食だから。エスキモーは世界一の低血圧。血管はタンパク質と脂肪できている。沖縄県は脳梗塞が全国で最も少ない47位。ちなみに長寿の長野県は脳梗塞が多いのが特徴（女性2位、男性14位）悪者扱いの脂肪（ラード）を沖縄県民は、1日に63gとっていました。全国平均は52gです。もちろん、その頃は男女とも平均寿命は日本一、糖尿病患者も全国で最少でした。ところが脂肪の摂取量が減り続けるとともに（ラードも敬遠された）平均寿命は下がる一方、糖尿病は上がる一方、なぜ？答えはこれまでの“健康常識”と正反対のところにあります。それは食べるべきもの（必須栄養素）をたっぷり食べ、控えるべきもの（非必須栄養素）を控えること。表現を変えれば必須栄養素であるタンパク質と脂質を十分に摂取し、必須栄養素でない炭水化物（糖質）を控えるということです。なぜなら、これがヒトのDNAに書き込まれたデータに沿った栄養摂取のあり方だからです。そしてこの食生活がみなさんを病気から遠ざけて医者いらずの体にし、ひいては長寿をもたらしますと先生は断言しています。確かに自分の食生活を見直してみると糖質のいかに多いことか。講演のあと茶話会に先生も参加してくださり質問もいろいろ出ましたが、とても丁寧に答えくださいました。医療は常に進歩しており今まで当然と思っていたことが、そうではなかったということがたくさんあります。食事についても今までの常識を常識と思わず考えていく必要があると思いました。渡辺先生のこれからのますますのご活躍を期待しています。ありがとうございました。

部会だより

## 第10回保険薬局部会総会報告

日時：平成26年7月23日(水) 19:30～21:15  
会場：沖縄県薬剤師会館 研修室



保険薬局部会  
部会長 川上 善久

上記日程にて保険薬局部会総会を開催しましたので報告致します。

始めに、平成25年度活動報告では、昨年4月にメディカルスタッフ教育研修所所長、西村より子先生をお招きし、『個別指導について』ご講演を頂きました。当日は清明祭期間中、また、あいにくの天候の中、沢山の会員の方にご参加頂き、改めて会員先生方の個別指導に対する関心の高さが伺えました。また、昨年度の通常総会後の特別講演では、メディカルグリーン代表取締役社長、大澤光司先生より『在宅医療における薬剤師の素敵な役割』と題してご講演を頂きました。この中で、在宅にはスタッフ間のコミュニケーションが重要で、大澤先生は特に飲みにケーションを大事に実践されているという言葉が印象的でした。

その他、薬の適正使用に関する勉強会を下記の内容にて実施しました。

6月20日(木)『インスリン取り扱い、DPP4阻害薬について』

8月22日(木)『なぜ今、貼り薬なのか?』

9月27日(金)

『漢方エキス顆粒の保管について』

11月29日(金)

『吸入薬の使い方と指導のポイント』

次に、平成25年度決算報告が資料に沿って説明され、活動費50万円に対し支出が30万704円でした。

平成26年度事業計画案では、

1. 薬の適正使用に関する研修会の実施。  
(年6回程度開催)
2. 外部講師による特別講演の実施。  
(年2回程度開催)
3. 学術大会等に参加する場合は研修助成費を支給する。(20万円の予算計上)

### 4. 保険薬局の抱える問題点への取り組み

- (1) 不動態庫について
- (2) 薬歴について
- (3) 個別指導について等

上記問題点については、県薬剤師会、各地区薬剤師会、各委員会、各部会と連携し対策を考えて行きたいと思っております。

次に、平成26年度活動予算案が資料に沿って説明され、今年度も保険薬局のお役にたてる活動を心がけていきます。

最後に、会員の先生より保険薬局部会の役員について各地区薬剤師会から選出されているかとの質問が出されました。回答として、今後各地区薬剤師会より推薦して頂けるよう要望してまいりますのでご協力お願い致します。

以上にて、第10回保険薬局部会総会が終了しました。

続きまして、株式会社リレーションズの湖城秀夫氏より「在宅管理システムを利用した不動態庫の処理について」の研修会を実施しました。この「不動態庫・備蓄ネットワークシステム」は、リレーションズ協力で当会で開発し運営しており、なんと会員であれば無料で使用出来ます。機能と特徴は、主に薬品検索機能(自局を中心とした近隣備蓄薬、使用期限切迫品、他店不動態庫、備蓄薬検索、薬局の地図表示、不動態庫登録、卸発注(バーコードリーダーを利用し効率的な発注、予約発注))等とても便利な機能満載です。現在の利用薬局は100店程で、導入されていない薬局からの意見として、薬局の在庫が外に分かると盗難の危険が増えるのではないかと(特に向精神薬等)や使いこなすのが大変そう等の理由が挙げられていました。これらの問題についてもリレーションズさんの方で相

談および対応頂けるとの事です。私の薬局でも導入していますが、発注もバーコードででき、不動態在庫の削減にも役立っています。会営薬局も登録されていて備蓄の確認にも利用しています。現在、保険薬局の抱える不動態

庫や備蓄の問題解決に役に立つシステムだと感じています。窓口は県薬事務局の山城さん、またはリレーションズさんにて対応頂けるとの事です。ぜひ多くの会員保険薬局にて導入をご検討頂ければと思います。

部会だより

第9回青年部会通常総会報告

日時：平成26年6月27日(金) 20:00~22:00  
 会場：厨(くりあ)：那覇市泉崎



青年部  
 部会長 石川 恵市

標記総会は、40歳以下の会員278名中、6名出席、71名の委任状により成立し(5分の1以上)、下記内容で開催しました。

事業の企画に関しましては、平成25年度同様に開催の予定ですが、特に今年度は、薬剤師確保に関する事業を行っていく予定です。薬学部、セミナー等に出向いて、U・Iター

ン啓発事業を取り組んでいくことを話し合いました。また、実務実習中の薬学生に対しても「新任・新人薬剤師研修会」や「しごとミュージアム」などを通して、同啓発を行うことになっています。

役員選任については、下記のとおりとなりましたので、ご報告致します。

<次第>

- 1. 開会の辞
- 2. 議長登壇

司会 副部会長 鈴木 一徳  
 副部会長 鈴木 一徳

(第22条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する)

- 3. 議事録署名人の選出
- 4. 議題

議事録署名人 新垣 雅大

- 報告 第1号 平成25年度会務並びに事業経過報告
- 第2号 平成25年度決算並びに会計監査報告
- 議案 第1号 平成26年度事業計画案の件
- 第2号 平成26年度予算案の件

部会長 石川 恵市  
 部会長 石川 恵市  
 部会長 石川 恵市  
 部会長 石川 恵市

- 5. 新役員の件について

(選任は以下のとおり。新役員に5氏が選任された。)  
 部会長：石川恵市  
 副部会長：仲宗根正人(新)、江夏恭範(新)、上原卓朗(新)  
 書記：小湾喜彦(新)、新川祥平(新)  
 会計：鈴木一徳  
 監事：吉田洋史、川満直紀

- 6. 閉会の辞

副部会長 鈴木 一徳



## 部会だより

### 平成26年度学校薬剤師部会新人研修会報告

日時：平成26年4月13日(日) 10:00～12:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

講師：笠原大吾（学校薬剤師部会副部長・学術担当）

小泉宝之（沖縄県薬剤師会試験検査センター主任技師）

#### < 講義内容 >

- ① 学校薬剤師の役割
- ② 学校環境衛生検査について  
(教室の空気・照度、飲料水・プール水の水質の各検査等の理論と演習)
- ③ くすりの正しい使い方と薬物乱用防止教室のすすめ方



がじまる薬局  
高里 麻子

「来年度から学校薬剤師お願いね。」と、ある日言われたことで、私の学校薬剤師活動は始まりました。大学の授業で多少学びはしたものの、具体的に何をどうしたらよいかは全く分からず、とりあえず学校環境衛生マニュアルを読んでみるも実感持てず。

そんな時、学校薬剤師の新人研修があるということで、参加させて頂きました。思ったよりも人数が少なく、学校薬剤師をする人の不足というものを実感しました。

本から学ぶことは多いですが、検体の採取や器具の設置などについてはピンとこないものです。試験検査センターの方の実演を見ることで、大体の感じをつかむことができた

と思います。他にも、1年間にどのような検査があるか詳しく教えて頂いたり、資料を頂いたり、これなら何とか学校薬剤師として仕事ができそうだと思います。

最近、プールと飲料水の検査を行ったのですが、細かいところは前任の方や学校薬剤師の先輩に教えて頂き、何とか無事に報告書も提出することができました。

これからダニや空気の検査で分からないことが出てくると思います。試験検査センターの方や他の学校薬剤師の方に手間をお掛けすると思いますが、今後ともよろしくお願ひします。



講師：笠原 大吾 氏



講師：小泉 宝之 氏

部会だより

平成26年度 日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部会報告

日時：平成26年6月13日(金) 15:00～18:00

会場：琉薬商事ビル（浦添市）



沖縄県支部事務局 森下 彰久

梅雨真っ只中の6月13日に、平成26年度日本医薬品卸勤務薬剤師会（以下、本会）沖縄県支部の理事会・総会・研修会・懇親会を開催しましたので、ご報告致します。

現在、本会沖縄県支部は、5社〔(株)アトル、沖縄東邦(株)、(株)スズケン沖縄薬品、(株)ダイコー沖縄、(株)琉薬〕13名で活動を行っております。主な活動内容としましては、年1回の理事会・総会、日本薬剤師会学術大会・九州山口薬学大会・沖縄県薬剤師会学術大会・日本薬剤師会卸薬師部会研修会・本会主催の研修会等に積極的に参加しています。

＜平成26年度役員＞

支部長	吉 富 弓 江
副支部長	山 里 勇
理 事	伊集院 良 憲
理 事	川 上 雄一朗
監 事	島 袋 さゆり
監 事	城 村 幹 彦

理事会・総会とも滞りなく終了しました。また、役員改選の結果、平成25年度から変更はありませんでした。

【研修会】

5月15日に開催されました平成26年度本会研修会（東京都）の伝達〔医療用医薬品バーコードの薬剤業務への応用、そして世界の動き ～より安全でより安心できる薬剤監査業務の達成をめざして～〕を吉富支部長が実施しました。具体的には、新バーコード表示に関する一部改訂のいきさつ、背景から新バーコード表示の役割、世界のバーコード表示・登録・追跡規制の動向等に関する内容でした。平成27年7月以降からJANバーコードの表示が禁止になり、新バーコードのみの表示になることについて再確認をすることが出来ました。

【懇親会】

卸の勤務薬剤師間で各社の様々な取り組みや創意工夫をしている内容等の情報共有をほかり、いつでも相談がしやすい状況をつくっています。

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 議事
  - (1) 報告事項
    - ① 平成25年度支部活動状況報告
    - ② 平成25年度支部収支報告
    - ③ 平成26年度理事会報告
    - ④ 支部会員の入会・退会報告
  - (2) 協議事項
    - ① 平成26年度支部活動計画について
      - ・ 沖縄県支部研修会について
      - ・ 各学会参加派遣及び助成について
      - ・ その他支部活動について
    - ② 平成26年度支部予算について
      - ・ 支部会費請求書の送付先について(確認)
    - ③ 役員改選について
4. 閉会

部会だより

## 第43回沖縄県病院薬剤師会通常総会報告

日時：平成26年6月7日(土) 17:00～18:30  
会場：ANAクラウンプラザホテル 沖縄ハーバービュー



理事 外間 惟夫

第43回沖縄県病院薬剤師会通常総会は、平成26年6月7日(土)午後5時より、ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューで開催されましたので報告します。

<式次第>

- 1. 開会の辞
- 2. 会長挨拶
- 3. 議長選出
- 4. 議 事

1) 報告事項

- 第一号 平成25年度 会務・事業報告
- 第二号 〃 決算報告
- 第三号 〃 監査報告
- 第四号 分科会活動報告
- 第五号 第48回日病薬臨時総会報告

2) 議案事項

- 第一号 平成26年度 事業計画(案)
- 第二号 〃 予算(案)
- 第三号 役員改正の件
- 第四号 その他

- 5. 閉会の辞

- |         |         |
|---------|---------|
| 司 会     | 石 井 岳 夫 |
| 副会長     | 金 城 清 二 |
| 会 長     | 田 場 英 治 |
| 議 長     | 翁 長 真一郎 |
| 副会長     | 姫 野 耕 一 |
| 会 計     | 外 間 惟 夫 |
| 監 事     | 比 嘉 佳穂子 |
|         | 各分科会責任者 |
| 代議員     | 川 平 浩 子 |
| 副会長     | 姫 野 耕 一 |
| 会 計     | 外 間 惟 夫 |
| 選考実行委員長 | 喜屋武 典   |
| 理 事     | 渡真利 国 浩 |

### ○平成26年度の事業項目

- I. 組織と役員会の強化拡大
- II. 学術・教育研修活動の推進
- III. 認定・専門薬剤師育成
- IV. 薬薬連携の強化・拡大
- V. 学会、学術大会に対する協力
- VI. 病薬会誌発行とホームページの活用と充実
- VII. 新規事業への取り組み

#### I. 組織と役員会の強化拡大

##### 1. 沖縄県病院薬剤師会の会員数について

6年制薬剤師が既に県内各施設で活躍しており、さらに病棟薬剤師業務実施加算、ふるさと実習の拡大などを受け、今後も積極的に病院薬剤師会の会員増大に努める。

## ※ 会員数の年度別推移

	21年度	22年度	23年度	24年4月	25年4月	26年3月現在
正会員	351	362	377	383	391	404
特別会員	10	10	10	6	6	10
賛助会員	39	42	40	48	41	37
名誉会長	2	2	2	2	2	2
計	402	416	429	439	440	453

1) 年会費 10,000円 (半期会員 5,000円)

内 訳 日本病院薬剤師会費 8,000円

沖縄県病院薬剤師会会費 2,000円

\*任意加入として 日本病院薬剤師連盟会費 3,000円

2) 会員のメリット

- ① 日本病院薬剤師会雑誌 (J J S H P) が毎月送付
- ② 病院薬剤師賠償責任保険への加入資格
- ③ 病院薬剤師会主催の研修会への参加、日本病院薬剤師会の生涯教育認定取得が申請できる。
- ④ 日本病院薬剤師会認定 実務実習指導薬剤師が取得可能
- ⑤ 日本病院薬剤師会 認定・専門薬剤師が取得可能
- ⑥ 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師が取得可能

## 2. 沖縄県薬剤師会への入会促進 病院診療部会

1) 年会費

- ① A会員 (薬局等の開設者及び管理薬剤師)

54,000円 但し、一括納入の場合 49,500円

- ② B会員 (上記以外の勤務薬剤師、病院薬剤師)

39,600円 但し、一括納入の場合 36,300円

2) 会員のメリット

- ① 日本薬剤師会雑誌 (J J P A) が毎月送付
- ② 薬剤師賠償責任保険への加入資格
- ③ 薬剤師会主催の研修会への参加
- ④ 薬剤師年金に加入できる
- ⑤ 日本薬剤師研修センター認定薬剤師の申請のサポート
- ⑥ 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師が取得可能

## 3. 日本病院薬剤師連盟への入会促進 (年会費: 3,000円)

薬剤師の社会的 (制度的) 地位向上を促進するために、日本病院薬剤師連盟への入会を促進し体制を強化する。

## 4. 役員会活動の活性化

病院薬剤師会活動の強化拡大を図るため、役員15名体制で取り組んでいる。今後も会員数の増加に伴い、県病薬活動への若手薬剤師の積極的登用や理事枠の増員など、役員会の体制強化と活性化に努めたい。



## II. 学術・教育研修活動の推進

### 1. 学術講演会活動の推進

昨年度は、病薬あるいは分科会主催、各種専門認定、さらに病薬が後援し日病薬生涯研修認定単位が発行された学術講演会・研修会が開催されている。平成26年度も引き続き教育研修推進のために学術講演会等を積極的に開催したい。

### 2. 新任薬剤師研修会の開催（県薬と共催）

病院勤務3年未満の薬剤師を対象に薬剤師としての倫理・役割、病院薬局業務についての基礎的知識・技術の修得を目的として年1回程度開催する。

### 3. その他

次の委員会の県内担当者がいるので、関連活動については会員全員で協力する。

名 称	責任者	責任者所在施設名	連 絡 先
広報委員会	喜屋武 典	琉大附属病院	098-895-3331
中小病院担当者	姫野 耕一	大浜第一病院	098-866-5171
精神病院担当者	比嘉 佳穂子	新垣病院	098-933-2756
介護保険対策担当者	伊藤 昌徳		
プレアボイド担当者	鈴木 毅	琉大附属病院	098-895-3331
療養病床担当者	高田 憲一	平安病院	098-877-7320

## III. 認定・専門薬剤師育成に努める

### 1. 認定・専門薬剤師講演会の開催（県薬と共催）

### 2. 分科会等活動の促進

以下の分科会を設置し、認定・専門薬剤師の育成を目的として活動する。また各分科会は学会発表や論文投稿を目標として、研修会、研究発表会の開催を目指す。

委員会・分科会名	責任者	責任者所在施設名	連 絡 先
がん化学療法分科会	金城 雄一	那覇市立病院	098-886-4553
感染制御分科会	川平 浩子	県立中部病院	098-973-4111
緩和ケア分科会	伊藤 昌徳		
糖尿病分科会	砂川 智子	琉大附属病院	098-895-3331
妊婦・授乳婦分科会	橋本 孝夫	豊見城中央病院	098-850-3811
NST分科会	長田 茂	南部医療センター	098-888-0123
精神科分科会	比嘉 佳穂子	新垣病院	098-933-2756
HIV分科会	諸見 牧子	琉大附属病院	098-895-3331

## IV. 薬薬連携の強化・拡大

薬剤師相互の交流を図り、医療安全に貢献することを目的として薬薬連携の強化・拡大に努める。具体的には、新人薬剤師研修会や学術大会、フィジカルアセスメントWGなどの協同事業の継続、さらに無菌製剤処理加算委員会への協力や、在宅関連の無菌製剤、TPNなどの研修施設としての連携を強化したい。

## V. 学会、学術大会に対する協力

九州山口薬学大会、日本薬学会年会、日本医療薬学会年会、その他薬学関連学会への発表を促進し、県薬剤師会と協力しながら学術活動に力を入れていく。

### 1. 主な県外学会・学術大会

- 1) 第31回日本TDM学会学術大会（平成26年5月31～6月1日：東京）
- 2) 医療薬学フォーラム2014 第22回クリニカルファーマシー・シンポジウム  
（平成26年6月28～29日：東京）
- 3) 第24回日本医療薬学会年会（平成26年9月27～28日：名古屋）
- 4) 第8回日本緩和医療薬学会年会（平成26年10月3～5日：愛媛県）
- 5) 第47回日本薬剤師会学術大会（平成25年10月12～13日：山形市）
- 6) 第76回九州山口薬学大会（平成26年11月23～24日：長崎市）
- 7) 第35回日本臨床薬理学会年会（平成26年12月4～6日：愛媛県）
- 8) 第9回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム（平成26年予定）
- 9) 日本薬学会 第135年会（平成27年3月25～28日：神戸）

## VI. 会誌の発行、ホームページの充実と活用

広報委員会を中心となって病薬会誌「おきなわ」を発行する。また県病薬ホームページの充実に関しては、活動の広報強化の一環として、以下を実施した。①病薬会誌を2010年よりPDF掲載した。②分科会活動を充実させるべく、8分科会の活動報告を年度別に掲載した。

さらに今後は、認定・専門取得薬剤師の掲示など、県病薬の活動をアピールできるよう会誌やホームページのさらなる充実を図りたい。

## VII. 新規事業への取り組み予定

### 1. フィジカルアセスメントWG

県病薬会員のフィジカルアセスメントのスキル向上と普及を図るため、ワーキンググループ（WG）を結成し、平成24年から活動を開始している。平成26年度も引き続き、各病院施設から1～2名の若手薬剤師に開局薬剤師も加えてWGメンバーを募集する。研修施設は琉球大学クリニカルシミュレーションセンターで、講師には東京女子医科大学教授の阿部幸恵先生に依頼し、3回の特別講義を含む合計11回のWGを実施する予定である。

### 2. 実務実習合同発表会

平成24年から「実務実習生交流会」を開催しているが、これは薬学生や受け入れ施設の情報交換や懇親の場として企画したもので、参加は県薬剤師会にも呼びかけて実施している。今年度から「実務実習合同発表会」と名称を改め、各施設の実習生の発表を中心に開催する予定である。また今後も「ふるさと実習」を推進し、調剤薬局薬剤師との連携をはかりつつ、長期実務実習の充実に努めたい。

### 3. 病棟薬剤師業務実施加算WGの結成

平成24年度診療報酬改定で病棟薬剤師業務実施加算が新設されたことを受け、病棟薬剤師業務実施ワーキンググループ（WG）を結成し、昨年1年間を通して積極的に活動した。今年度はその情報をまとめて、本加算における問題点の抽出や効率的な実施方法など情報の共有化を図り、病棟薬剤師業務実施加算の積極的展開を目指していきたい。

#### 4. 新規事業の検討、その他

県外開催の学会における既発表演題を集めて「沖縄県臨床薬学研究報告会（仮称）」を新規事業として、さらに各専門・認定講演会において当該分科会が会員発表等を行うなど検討していきたい。

#### VIII. その他

生涯教育を促進する。主な認定制度は以下の通りである。

- ① 日本医療薬学会 認定薬剤師、指導薬剤師
- ② 日本臨床薬理学会 認定薬剤師
- ③ 日本病院薬剤師会 生涯研修認定（単年度）、生涯研修履修認定（5年連続）
- ④ 日本病院薬剤師会 認定・専門薬剤師\*  
がん、感染制御、精神科、妊婦・授乳婦、H I V感染症  
\*糖尿病療養指導士、N S Tも含む
- ⑤ 日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師
- ⑥ 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師
- ⑦ 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師

#### <平成26年度沖縄県病院薬剤師会役員>

会 長	外 間 惟 夫	(琉球大学附属病院)
副 会 長	金 城 清 二	(那覇市立病院)
	橋 本 孝 夫	(豊見城中央病院)
	姫 野 耕 一	(大浜第一病院)
常任理事	村 田 美智子	(天久台病院)
理 事	大 城 寿 子	(沖縄県立北部病院)
	玉那覇 秀 之	(南部徳洲会病院)
	長 田 茂	(沖縄県立南部・こども医療センター)
	長 浜 照 美	(中頭病院)
	川 平 浩 子	(沖縄県立中部病院)
	渡真利 国 浩	(沖縄県立宮古病院)
	石 井 岳 夫	(琉球大学附属病院)
	翁 長 真一郎	(浦添総合病院)
監 事	比 嘉 佳穂子	(新垣病院)
	入 月 健	(沖縄協同病院)
日病薬代議員	川 平 浩 子	(沖縄県立中部病院)
日病薬予備代議員	姫 野 耕 一	(大浜第一病院)

## 月例相談会

## 第115回健康とおくすり相談会報告

日時：平成26年6月29日(日) 13:00～16:00  
 場所：サンエー那覇メインプレイス  
 担当：那覇地区薬剤師会



ひまわり薬局 天久店 山道 峻也

初夏、梅雨明けのセミの鳴き声響く6月29日、那覇地区薬剤師会主催の「健康とおくすり相談会」が盛大に行われました。日曜日にもかかわらず、忙しい時間の合間に、薬剤師7名、実務実習生7名が参加致しました。

今回の相談場所は、那覇メインプレイスで当初、1階で行われる予定でしたが、今回は4階にて開催される運びとなりました。主に駐車場がある階なので、何名の方がいらっしゃるか心配ではありましたが、13時から16時の4時間で30名の20代から90代の方々が相談にいらっしや、一番の混雑時には並びができるほど活気と熱気のある相談会になりました(相談場所が駐車場入り口でお客さんが通るたび自動ドアが開き熱風が入ってきたせいもありますが笑)。

当日は、実習生に他フロアのお客様に対して「健康とおくすり相談会」のチラシを配布してもらい、また、声をかけることで興味をもってくださる方も多くいらっしやりました。日曜日のショッピングモールでの開催ということもあり、普段病院に通っているが今まで相談出来なかったことがある方、また、健康であまり病院にかからない方など、様々な方から相談を受け、その結果、皆様に満足して帰っていただけました。

相談者の一例として、

○「健康に気を使っているから、食べ過ぎないように1日2食に減らしている」という方：自己流で健康管理をされていたので、食事全般についてアドバイス。

○「前立腺肥大の薬を飲んでいるが、それが緑内障の手術に影響を与えることがあると新聞に掲載されており、どのような薬が相当するか教えてほしい」という方：患者が服用されている薬を覚えておらず、薬剤師が商品名の一例を挙げることでα1遮断薬であることがわかり注意点を説明。

以上のようなものがありました。

相談者の中には白衣を着用している我々薬剤師の職業がどのようなものであるか分からないという方もおり、薬剤師の職業についてもっと広く認知する必要があると感じました。

セルフメディケーションが重要とされる昨今、薬剤師の役割は大きいと考えます。今回の相談者の中には、ご家族や知り合いにも相談にのってもらいたいという方もいらっしや、地域医療の貢献できるこの会の必要性を強く感じました。よりよい「健康とおくすり相談会」にするため、たとえば次回以降は、他職種の看護師や栄養士等と協力開催したり、開催時間を長くしたりするなどして、薬剤師をもっと身近に感じてもらえるこの会を発展させ継続的に活動を行いたいです。



写真提供：那覇地区薬剤師会

## □健康とおくすり相談員

○山道峻也 ○伊是名秀平 ○姫野耕一 ○宮城幸枝 ○渡具知一枝 ○我喜屋美香 ○黒島裕菜



地区だより

一般社団法人 那覇地区薬剤師会 第1回通常総会

日時：平成26年5月18日(日) 14:00～17:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール・研修室

＜式次第＞		司 会	西 川	裕
1. 出席人員確認・宣言				
2. 開会の辞		副会長	川 満	直 紀
3. 会長挨拶		会 長	亀 谷	浩 昌
4. 議長選出				
5. 議事録署名人の選出				
6. 議題				
報告第1号	平成25年度会務・事業経過報告	副会長	伊是名	秀 平
第2号	平成25年度会計監査報告	監 事	具志堅	興 信
議案第1号	平成25年度決算承認について	副会長	渡具知	一 枝
第2号	理事の選任について	副会長	姫 野	耕 一
報告第3号	平成26年度事業計画について	副会長	伊是名	秀 平
第4号	平成26年度予算について	副会長	渡具知	一 枝
7. 閉会の辞		副会長	姫 野	耕 一

平成26年5月18日(日)、沖縄県薬剤師会館に於いて、第1回通常総会が開催されました。

司会の西川裕氏の開会宣言で始まり、冒頭の会長挨拶では亀谷会長より「就任して1年、脆弱な財務体質改善のため経費節減を図り、執行部全員が効率的な会の運営を心がけてきた。また、顔の見える薬剤師を実現するため外交的な活動を展開し、公的機関からの協働の申し入れも積極的に協力してきた。今後も執行部は、地区会員皆様のお役に立てるよう活動していきたい」と述べられました。

議事は、塚本隆之氏を議長として進行され、まず報告第1号、第2号の報告が続いてなされ、次に議案第1号、第2号の審議がそれぞれ行われ原案通り可決されました。引き続き、報告第3号の報告がなされ、会員より「昨年度の事業実績では、那覇市のみの活動が多いように感じた。定款に会員は、那覇市の他に浦添市、久米島町の薬剤師とあり、その辺も

見据えて取り組んでいただきたい」との意見があがりました。これに対し、伊是名副会長より、「一般社団法人設立後、那覇市からの協力依頼が増えたため、那覇市に対する活動が多くなった。今後は那覇市をはじめ、その他の管轄地域で行われる会にも、参加するようにしたい」と回答されました。また、事業計画概要の入会促進について「行政職には非会員薬剤師がたくさんおり、会費の部分を考慮していただきたい」との意見もあがり、これに対し、亀谷会長より、「会費については、沖縄県薬剤師会との三層構造という絡みがあり、那覇地区薬剤師会だけでは難しい問題である。沖縄県薬剤師会の組織強化委員会の中で、会員の増加策や行政職、病院薬剤師の会費等について検討中である」と説明されました。最後に報告第4号の報告がなされ、全ての報告・議案が滞りなく終了し、第1回通常総会が閉会いたしました。

総会終了後は、琉球大学医学部附属病院薬

【特別講演会】「薬剤師ができるフィジカルアセスメント」～基礎から提案まで～

講師：琉球大学医学部附属病院薬剤部 緩和ケアチーム薬剤師 佐久川 卓氏



剤部の佐久川卓氏によるフィジカルアセスメントについての特別講演会が開催されました。医療者である薬剤師のフィジカルアセスメントの必要性、役割について、症例や体験談を交えながらご講演くださいました。

講演会終了後には懇親会が行なわれ、那覇

市保健所所長の東朝幸様より来賓のご挨拶をいただき、沖縄県薬剤師会の神村武之会長の乾杯の音頭で開会しました。終始和やかな雰囲気の中で意見交換や歓談がなされ、無事に全日程を終了いたしました。

(報告・写真提供：那覇地区薬剤師会事務局)

那覇地区学校保健会 表彰



村田 美智子先生 おめでとうございます



地区だより

## 第12回 北部地区薬剤師会定時総会報告

日時：平成26年6月28日(土) 19:30～

会場：ホテルゆがふいんおきなわ

〔式次第〕

1. 出席人数確認・宣言	報告	第1号	平成25年度会務並びに事業経過報告
2. 開会の辞		第2号	平成25年度会計監査報告
3. 会長あいさつ		第3号	役員退職慰労金規定の補足説明
4. 議長選出	議案	第1号	平成25年度決算承認の件
5. 議題		第2号	平成26年度事業計画案の件
6. 閉会の辞		第3号	平成26年度予算案の件
		第4号	顧問承認の件
		第5号	平成26年度借入金最高限度額の件

平成26年6月28日、午後7時30分より、ホテルゆがふいんおきなわに於いて、第12回北部地区薬剤師会定時総会が行われた。

総会では、平成25年度の事業経過報告・決算報告がなされ、更なる地域医療への貢献と会員への支援の実現を目指し、平成26年度事業計画等の報告議案が審議された。

冒頭に、神山会長より「北部地区薬剤師会の運営は大変激務であり、その責任は重大であります。私はここまで守り育ててきた北部地区薬剤師会を存続させるため会長を引き受けさせてもらいました。これは、若手を育て、一緒に成長して行こうという想いであり、もう一度地区の先生一人一人が参加し、協力いただいで作り上げていく会本来の姿に立ち返ろうとする活動でもありました。そして大変ではありましたが、地域医療再生基金事業も

今年3月で無事終了し、当会から出発したサポート薬局制度の為の情報連携システムが北部地区医師会により多職種の在宅における情報連携システムとして協力していく事にもなりました。本年度は会営薬局の運営を安定させることを目標にしております。北部地区薬剤師会を守り、地域で安心して働いていけるように各先生方をサポートしていく会でありたいと思っています。総会、研修会も会の状況や執行部の顔を見に参加していただけるような会であってほしいと願い、そのため執行部として、より一層地区会員の為の事業を計画し実現させて行く所存です。今後とも会事業に先生方のご参加・ご協力をお願いいたします」と挨拶された。

平成25年度事業経過報告では、今後の公益法人化に向け、非営利型一般社団法人とし





での運営整備と薬局在宅業務支援センター事業は、無事に平成25年度で地域医療再生基金事業として終了した。今後とも在宅医療推進の為、他団体、多職種とともに情報連携を深め、北部地区での在宅支援事業を継続していく。また、「在宅医療提供拠点薬局整備事業」として会営薬局に設置された無菌調剤室のために、共同利用に向け研修会を行った、と報告された。

平成26年度事業計画では、一般社団法人北部地区薬剤師会としてこれまで地域医療の中で薬剤師・薬局の職能を通し、会員が貢献

できるよう支援事業を行ってきた。平成24年度に「在宅医療提供拠点薬局整備事業」、平成25年度に「地域医療再生基金事業」が終了し、一定の成果を挙げることが出来たと考える。今年度は在宅分野以外の事業にも力を注ぎ『廃棄医薬品の回収事業』、『処方箋等の古紙回収事業』等を行っていくこととした。

総会終了後には懇親会が行われ、当会初代会長の金城清先生をはじめ多くの会員の先生方が参加されて、和気藹々とした雰囲気ですべての日程を終了した。

(報告・写真提供：北部地区薬剤師会事務局)

## 地区だより

### 南部地区薬剤師会総会報告

日時：平成26年4月27日(日) 10:00～12:00  
会場：沖縄県薬剤師会館 研修室



南部地区薬剤師会  
会長 新垣 秀幸

去る4月27日に南部地区薬剤師会総会が開催されました。

当日は、連休前の日曜日にもかかわらず、多くの先生方にご出席をいただき、報告、提出議題ともに原案通りに了承を頂きました。

今年の南部地区薬剤師会の運営として、在宅研修(実践研修)と他業種との連携を充実させていく予定です。当会の会員の更なるご協力をよろしくお願いいたします。



地区だより

# 平成25年度 中部地区薬剤師会総会報告

日時：平成26年6月8日(日) 14:00～16:30  
会場：沖縄市産業交流センター



<式次第>

- 1. 開会
- 2. 会長あいさつ
- 3. 来賓あいさつ
- 4. 議長選出
- 5. 議題

第一号 平成25年度活動経過報告

第二号 平成25年度会計報告 一般会計・特別会計  
会計監査報告

第三号 ファックス料金値上げについて

第四号 平成26年度事業計画(案)

第五号 平成26年度予算(案) 一般会計・特別会計

- 6. 閉会

特別講演「経験者が語る在宅のノウハウ」

講師：伊敷 松太郎 先生 (南山薬局)

司 会 福地 健治

前原 信照

神村 武之

仲座 方利

筋 初子

石垣 満子

仲座 方利

普久原 隆

筋 初子

福地 健治



中部地区薬剤師会  
理事 福地 健治

平成26年6月8日(日)、沖縄市産業交流センターにおいて、平成25年度中部地区薬剤師会総会が開催されました。爽やかなレジャー日和の中、開局及び病薬も含め多数の先生方に出席いただきました。

当日は、学校薬剤師部会総会及び研修会が重なり、分刻みの多忙なスケジュールの中、来賓挨拶として、神村武之沖縄県薬剤師会会長が出席され、我々薬剤師が生き残るため、「在宅業務及びセルフメディケーション」の重要性について熱いお言葉を頂きました。

引き続き、平成25年度活動経過報告・会計報告・会計監査報告があり承認されました。

第三号議案のファックス料金値上げについて、年々開業医・クリニックへの紹介に伴う処方箋枚数の減少は続いており、FAXコーナー職員の派遣社員への変更・エニファックス2台(ファックス機器本体)の再リース契約及び保守料を見直し、今後の故障によるエニファックス入れ替え等も勘案し、あらゆる可能性を想定し1枚150円への値上げを承認頂きました。

今後のFAXコーナー存続においても、「FAXの分布状況を把握する必要がある」との意見があり、今後の検討課題となりました。

総会終了後、特別講演として「経験者が語る在宅のノウハウ」と題し、経験豊富な南山



会長あいさつ 前原 信昭  
(中部地区薬剤師会会長)



来賓あいさつ 神村 武之  
(沖縄県薬剤師会会長)

薬局の伊敷松太郎先生を講師にお招きし、大変貴重な勉強をさせて頂きました。在宅訪問初めのイロハから講演頂き、症例報告ではALS・多系統委縮症・胃瘻・全身性ジストニアetc...非常に難しい患者様を受け持っており、医療材料の提供及び患者様の看取りまでかわり、患者様の訪問はもちろんです、伊敷先生の顔を見るだけでご家族の支えになっているとのお話に感銘を受けました。伊敷先生ありがとうございます。この場をお借りし

て改めて御礼申し上げます。我々中部地区薬剤師会としても、在宅の更なる充実を推進しており、少しずつではあるが、在宅を手がける薬局が増えつつあります。今回の講演でこれから在宅を検討されている先生方の一助になる事でしょう。

総会終了後は場所を移し、FAXコーナー職員の慰労も兼ね、懇親会が催されました。時間を忘れるくらい熱い議論が交わされ、夜も更けていきました。

## 会報原稿募集のご案内

### 広報委員会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

#### 【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

#### 【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します(薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

#### 【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

#### 【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております(手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。

#### ☆原稿送付先(会報に関する問い合わせ)

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10  
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

地区だより

平成26年度 宮古地区薬剤師会総会報告

日時：平成26年5月31日(土) 18:00～19:00  
 会場：宮古地区薬剤師会事務所（シモジ薬局2階）



宮古地区薬剤師会  
 副会長 下地 睦夫

<式次第>		司会	副会長	下地 睦夫
1. 開会の辞			副会長	下地 睦夫
2. 会長挨拶			会 長	川満 正啓
3. 議長選出				
4. 議長登壇（挨拶・点呼・宣告）			会 長	川満 正啓
5. 議題 報告	第1号 平成25年度事業報告		副会長	下地 睦夫
	第2号 平成25年度会計監査報告		監 事	上里 雅江
	第3号 県薬理事会報告		県薬理事	下地 仁
議案	第1号 平成25年度決算承認の件		会 計	下地 睦夫
	第2号 平成25年度分業部門決算承認の件		会 計	下地 睦夫
	第3号 平成26年度事業計画（案）承認の件		会 長	川満 正啓
	第4号 平成26年度会費額に関する件		会 計	下地 睦夫
	第5号 平成26年度FAX負担金に関する件		会 計	下地 睦夫
	第6号 新宮古病院準備金を会組織強化資金（IT化など）に転用する件		会 長	川満 正啓
	第7号 平成26年度予算（案）承認の件		会 計	下地 睦夫
6. 県薬剤師会会長挨拶			県薬会長	神村 武之
7. 閉会の辞			副会長	下地 睦夫

旧年度の事業報告及び議案と新年度の課題を掲げた平成26年度の総会が、梅雨空のもと行われました。今年も県薬剤師会の神村会長をお招きし、予定開始時間より少し遅れて始まった会は、各報告、議案とも問題なく次々と承認を得て、スムーズな進行となりました。

今年度の議案の中で改正が必要とされた事項は、FAXコーナーに関する問題でした。昨年5月に沖縄県立宮古病院が新築移転し一年が経過しましたが、新病院でのFAXコーナー新設に当たり、備品の購入また旧病院時代に比べ施設使用分担金やFAX送信費の増

加などもあり、今年度はFAX負担金を1枚当たり85円から90円に値上げする事になりました。また、FAX負担金が100円を超えてしまうと会員の薬局経営に重い負担を掛けてしまうので、FAX負担金をこれ以上値上げしない対策として、FAX送信のシステムの改革、IT化に向けて検討する事となりました。

その他、「健康とおくすり相談会」の持ち方について意見があり、例年「みやこの産業祭り」イベント会場内で薬剤師会単独でテントを張り行っているが、同じ会場内で沖縄県



立宮古病院もテントを設けていたので、今年度はお互い隣り合わせでテントを設けた方が住民の関心を引きやすいのではとの意見や、健康測定だけではなく、軟膏のミックスなど体験的な要素を取り入れた「健康とおくすり相談会」を計画しても良いのではという意見もありました。

最後に神村会長より、薬剤師会を取り巻く現状と課題についてお話があり、平成26年度宮古地区総会は無事終了しました。



総会終了後は、場所を居酒屋へ移し懇親会となりました。懇親会へは会の枠を越えて宮古地区の各医療機関で勤務する薬剤師の参加をいただき、情報交換会を兼ねながらお互いの友好を深めました。今年は沖縄県立宮古病院薬局の他、国立療養所宮古南静園薬剤科、宮古島リハビリ温泉病院薬局、そして初めて宮古島徳洲会病院薬局の参加もあり、例年より賑いのある懇親会となりました。

お知らせ

**地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！**

年々、地区（支部）、部会の活動が活発化しております。

是非“おきなわ薬剤師会報”へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

お知らせ

**第76回 九州山口薬学大会**

長崎からの発信 歴史を刻め、薬剤師  
～ チーム医療・在宅医療・多職種連携へ薬剤師力の発揮を～

会期：平成26年11月23日（日・祝）、24日（月・休）

会場：長崎ブリックホール 他



## その他会務報告

### 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊

平成26年6月23日(月) 慰霊の日 [ひめゆりの塔構内]



左より、宮城敦子常務理事、吉田久子氏、長田紀昭氏、久場トヨ氏、長田紀与志氏、神村武之会長、吉田洋史副会長

沖縄戦殉職医療人之碑は、昭和26年10月に沖縄医療団により建立され、去る平成21年の慰霊の日には、ひめゆり平和祈念資料館が開館20周年を迎えたことにより、その記念事業の一環として、ひめゆりの塔および周辺的环境整備が取り組まれ、ひめゆりの塔に隣接の沖縄戦殉職医療人之碑の周囲においても植栽、新しい敷石が整備されています。

参拝当日の沖縄戦殉職医療人之碑には、本会の供花に加え、今年も沖縄県医師会の供花が添えられていました。

本会名誉会員の久場トヨ先生、長田紀昭先生におかれましては、御尊父の長田紀助氏

(当会第2代会長)が合祀されていることから毎年ご参拝されており、今年もご子息である長田紀与志先生とご参拝されました。先生方と共に、神村武之会長、吉田洋史副会長、宮城敦子理事、吉田久子先生が、沖縄県薬剤師会としてご参拝、慰霊されたことをご報告致します。

宮城常務理事は初めての参加とあり、終始緊張した面持ちでいられていました。当日の参拝の印象記が宮城常務理事より寄せられておりますので、お読み下さい。

機会がございましたら、沖縄戦殉職医療人への慰霊、追悼に是非ご参拝下さい。

(報告：事務局 大城喜仁)

#### <沖縄戦殉職医療人之碑>

昭和26年10月に沖縄医療団により建立。沖縄戦の戦死者として合祀されている。

薬剤師は、県内・県外あわせて10人近くになると思われる。その内の1人、県薬第2代会長の長田紀助氏(久場トヨ先生、長田紀昭先生の御尊父)は、厚生大臣任命で、佐官待遇の軍属として南部戦線に向かわれ、玉城村(現南城市)字糸数付近で戦没された。喜瀬乗垣氏(キセ薬局・喜瀬乗惟先生の御令兄)は中国大陸の山野で没された。

## 慰霊の日、晴天なり



広報担当理事  
宮城 敦子

沖縄で「慰霊の日」を知らないひとはいないでしょう。沖縄戦での戦没者を追悼し、恒久平和を願う日として沖縄県の公休日になっています。

6月23日、糸満市摩文仁にある平和祈念公園で沖縄全戦没者追悼式が執り行われました。一昨年からは県薬剤師会が式典に招待されるようになり、今年も神村会長を筆頭に、吉田久子氏、事務局大城係長、筆者が参列しました。例年通り、内閣総理大臣や衆議院議長が参列するなか、はじめて参列するキャロライン・ケネディ駐日米国大使が注目されました。追悼式会場には4,600人が参列し、戦争で命を落とした何十万人もの魂を偲びました。

さて、式典は11時50分に始まり、式辞、黙祷、献花、来賓あいさつと続き、12時40分頃に終了しました。追悼式次第は次の通りです。

### ＝平成26年沖縄全戦没者追悼式次第＝

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 1 開会の辞     | 沖縄県副知事                |
| 2 式辞       | 沖縄県議会議長               |
| 3 黙祷       |                       |
| 4 追悼のことば   | 沖縄県遺族連合会会長            |
| 5 献花       |                       |
| 6 平和宣言     | 沖縄県知事                 |
| 7 「平和の詩」朗読 |                       |
| 8 来賓あいさつ   | 内閣総理大臣<br>衆議院議長、参議院議長 |
| 9 閉会の辞     | 沖縄県副知事                |

印象的だったのは、石垣市真喜良小学校3年生、増田健琉君の「平和の詩～空はつながっている～」の朗読です。「空はつながっているのに、どこまでが平和で、どこからが戦争なんだろう」「笑顔が遠くの空までつながって、やさしい気持ちや平和の心が丸い地球を

ぐるっと一周できるかな」というフレーズが、増田君のさわやかな声にのせて人々の心に強く響いたことでしょう。その日は青空が広がる晴天なり。思わず空を見上げて、遠い国へ思いを馳せました。

式典後、我々は連れ立って平和祈念堂に向かいました。恥ずかしながら筆者はそこを訪れるのは、はじめて。平和祈念像の前に立つと厳かな気持ちになります。「美と平和の殿堂と言われる【平和祈念堂】と【平和の礎】は、一体となって世界に向けて平和の尊さを訴えています」（平和祈念堂パンフレットより）

さて、話は遡り……。その日は9時半に県薬剤師会館に集合しひめゆりの塔へ向かいました。「沖縄戦殉職医療人の碑」に参拝するためです。ひめゆり学徒隊らを祀る慰霊碑の横にあるのを皆様はご存知でしょうか。筆者は数年前に一度行ったきりで今回は二度目になりますが、どっしりと構えた重厚な雰囲気、圧迫されました。医療人の碑には沖縄県医師会長と沖縄県薬剤師会長の献花が並んでいました。そこで、久場トヨ先生、長田紀昭先生と合流しました。父親である長田紀助氏が祀られているため、毎年参拝されているようです。

碑の周りを清掃しきれいになったところで、こころも洗われました。12時前にはじまる追悼式に参列するため我々は平和祈念公園に向かったのです。

薬剤師的慰霊の日。晴天の下で私の願いがひとつ増えました。「薬と健康」を介して「世界平和」に寄与すること。慰霊の日は「薬剤師としての世界平和」を熟考する特別な日になったのです。

薬業連合会

平成26年 第59回沖縄県薬業連合会  
理事会・総会及び懇親会報告

日時：平成26年6月25日(水) 18:00～20:00 会場：沖縄都ホテル 虹雲の間



沖縄県薬業連合会  
事務局 稲福 文隆

沖縄県薬業連合会は、沖縄県薬剤師会、沖縄県医薬品卸業協会、沖縄県医薬品登録販売者協会、沖縄県医薬品配置協議会の4団体で組織され、薬業界の健全な発展、安定を計り、併せて県民の保健衛生の向上を目的としている。

沖縄県薬業連合会理事会・総会及び懇親会が平成26年6月25日(水)に開催された。沖縄県薬剤師会専務理事・薬業連合会の田場英治理事が司会進行をおこなった。

はじめに薬業連合会の神村武之会長があいさつを行った後、引き続き議長として議事を進行した。

司会の田場理事より、報告第1号の事業経過の報告がされた。報告第2号の会計監査報告を沖縄県医薬品登録販売者協会監査役・沖縄県薬業連合会の久保田輝雄監事が報告をされた。報告第3号の役員について田場理事より、報告された。議案についても、平成25年度決算承認、平成26年度事業計画案、平成26年度年会費、平成26年度予算案が審議され、滞りなく進行されて承認を得た。

神村会長より、「薬と健康の週間」くすりと健康フェアでの特別講師を厳選中であるので、決定しだい報告する。また、毎年1月に開催される薬事功労受賞者合同祝賀会に各団体内で表彰された方は積極的に参加させていただきたいと提案された。

最後に沖縄県医薬品配置協議会会長・薬業連合会の長浜眞球理事の閉会の辞で総会(兼理事会)は終了した。

懇親会に移り、長浜眞球理事が司会進行を行い、沖縄県医薬品卸業協会会長・株式会社ダイコー沖縄代表取締役社長・薬業連合会の平野和之副会長の開会の辞で始まり、神村武之会長のあいさつ次に沖縄県医薬品卸業協会理事・株式会社スズケン沖縄薬品代表取締役社長・薬業連合会の竹田憲之理事が乾杯を行い懇談となった。各団体との情報交換の場となり有意義な懇親会となった。

最後に沖縄県医薬品登録販売者協会会長・薬業連合会の米村一成理事の閉会の辞で締めとなった。



平成26年9月1日

会 員 各 位

第28回沖縄県薬剤師会学術大会会長 神村 武之  
第28回沖縄県薬剤師会学術大会実行委員長 外間 惟夫  
(公印省略)

## 第28回沖縄県薬剤師会学術大会の開催について(ご案内)

日本薬剤師研修センター認定研修・日本病院薬剤師会生涯教育認定講座・JPALS 47-2014-0114-101

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業の運営に対し、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第28回沖縄県薬剤師会学術大会を下記のとおり開催いたしますので、多くの会員の皆様にご参加いただき、研鑽を積まれますようご案内申し上げます。

なお、学会終了後には懇親会を開催致します。懇親会の席で、演題発表認定証ならびに奨励賞の授与および薬剤師功労沖縄県薬剤師会長賞表彰式を執り行ないますので是非ご参加下さい。

\*下記の参加申込票にご記入の上、県薬事務局まで FAX又は、郵送にてお申し込み下さい。

記

日 時：平成26年 10月26日(日)

受 付：午前9時30分～ 開 会：午前10時(予定)

(時間については正式に決まりしだい後日お知らせ致します。)

会 場：沖縄県薬剤師会館

大会参加費：県薬会員 1,000円 県病薬会員 2,000円

(懇親会費を含む) 当日受付にてお支払い下さい。

参 加 資 格：沖縄県薬剤師会会員・沖縄県病院薬剤師会会員

(県薬・県病薬のどちらにも所属していない方は、参加費10,000円。但し、学会当日までに入会した場合は、その限りではない。また、実務実習中の薬学生は参加費無料!)

○ 会員発表 18題予定 プログラム・演題等については後日お知らせ致します。

○ ランチョンセミナー 12:00～13:00 【お弁当を準備しております(無料)。但し予約者のみ】  
「C型肝炎治療について(仮題)」 前城 達次 先生(琉球大学医学部附属病院 第一内科)  
共催：ヤンセンファーマ(株)

○ 特別講演 16:00～17:00  
特別講演講師：大橋 靖雄 先生(前 東大教授) 疫学・生物統計学の第一人者です。

○ 懇 親 会 17:30～(会場：沖縄県薬剤師会館 研修室)

### 第28回沖縄県薬剤師会学術大会 参加申込票

・氏名： \_\_\_\_\_ ・勤務先： \_\_\_\_\_

※ ( 1. ランチョンセミナー 2. 学会 3. 懇親会 ) 参加する項目に○印をして下さい。

※ランチョンセミナーのお弁当は本参加申込票にて参加予約した方のみとなります。

※途中参加者も参加費は同額となります。

※遅れての参加は、単位取得ができないことがあります。

返送先：沖縄県薬剤師会 〒901-1105 南風原町字新川218-10

FAX番号 098-963-8932 (平成26年10月10日(金)必着)





# 薬事情報おきなわ No.228

2014年7・8月号 : Vol.29 No.3

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

## 薬価基準追補収載品目

### ●新医薬品 平成26年4月17日付

区分	販売名 ( )内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	トピナ細粒10%	10%1g	191.90	協和発酵キリン	トピラマート:抗てんかん剤《他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法》(新剤型・新用量)
	コンサータ錠36mg (alza36)	36mg1錠	402.60	ヤンセンファーマ	メチルフェニデート塩酸塩:中枢神経刺激剤《注意欠陥/多動性障害(AD/HD)》(新用量)
	アデムバス錠0.5mg (@/R0.5)	0.5mg1錠	673.40	バイエル薬品	リオシグアト:可溶性グアニル酸シクラーゼ(sGC)刺激剤《外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓塞栓性肺高血圧症》(新有効成分)
	アデムバス錠1.0mg (@/R1)	1mg1錠	1,346.80		
	アデムバス錠2.5mg (@/R2.5)	2.5mg1錠	3,366.90		
	リオナ錠250mg (JTP 751)	250mg1錠	99.80	日本たばこ産業	クエン酸第二鉄水和物:高リン血症治療剤《慢性腎臓病患者における高リン血症の改善》(新有効成分)
	ザルティア錠2.5mg (Z)	2.5mg1錠	118.30	日本イーライリリー	タダラフィル:前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤(ホスホジエステラーゼ5阻害剤)《前立腺肥大症に伴う排尿障害》(新効能・新用量)
	ザルティア錠5mg (5Z)	5mg1錠	230.60		
	スーグラ錠25mg (@322)	25mg1錠	136.50	アステラス製	イブラグリフロジン L-プロリン:選択的SGLT2阻害剤(2型糖尿病治療剤)《2型糖尿病》(新有効成分)
	スーグラ錠50mg (@353)	50mg1錠	205.50		
	ジオトリフ錠20mg (@T20)	20mg1錠	5,840.70	日本ベーリンガーインゲルハイム	アフチニブマレイン酸塩:抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤《EGFR遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌》(新有効成分)
	ジオトリフ錠30mg (@T20)	30mg1錠	8,547.40		
	ジオトリフ錠40mg (@T40)	40mg1錠	11,198.50		
	ジオトリフ錠50mg (@T50)	50mg1錠	12,760.00		
テビケイ錠50mg (SV572)	50mg1錠	3,262.60	ヴィーブヘルスケア	ドルテグラビルナトリウム:HIVインテグラーゼ阻害剤《HIV感染症》(新有効成分)	
アレグラドライシロップ5%	5%1g	130.90	サノフィ	フェキソフェナジン塩酸塩:アレルギー性疾患治療剤《アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒》(新剤型・新用量)	
ザイザルシロップ0.05%	0.05%1ml	19.60	グラクソ・スミスクライン	レボセチリジン塩酸塩:持続性選択H1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤《[成人]アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症、[小児]アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒》(新剤型・新用量)	
注 射 薬	サビーン点滴静注用500mg	500mg1瓶	45,593	キッセイ薬品工業	デクスラノキサソ:アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療剤《アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出》(新有効成分)
	アドセトリス点滴静注用50mg	50mg1瓶	465,701	武田薬品工業	ブレンツキシマブバドチン(遺伝子組換え)注:抗悪性腫瘍剤/微小管阻害薬結合抗CD30モノクローナル抗体《再発又は難治性のCD30陽性の下記疾患:ホジキンリンパ腫、未分化大細胞リンパ腫》(新有効成分)

注 射 薬	ノボエト静注用250	250国際単位1瓶 (溶解液付)	23,197	ノボ ノルディス ク ファーマ	ツロクトログ アルファ (遺伝子組換え): 遺伝子 組換え型血液凝固第VIII因子製剤《血液凝 固第VIII因子欠乏患者における出血傾向の抑 制》(新有効成分)
	ノボエト静注用500	500国際単位1瓶 (溶解液付)	43,018		
	ノボエト静注用1000	1000国際単位3 瓶(溶解液付)	79,776		
	ノボエト静注用1500	1500国際単位4 瓶(溶解液付)	114,491		
	ノボエト静注用2000	2000国際単位5 瓶(溶解液付)	147,942		
	ノボエト静注用3000	3000国際単位6 瓶(溶解液付)	212,319		
	カドサイラ点滴静注用100mg	100mg1瓶	235,108	中外製薬	
カドサイラ点滴静注用160mg	160mg1瓶	373,945			

●報告品目 平成26年5月23日付

区 分	販売名 ( )内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名: 適応症・効能効果
内 用 薬	アテディオ配合錠 (ATEDIO)	1錠	134.20	味の素	バルサルタン/シルニジピン: 選択的AT <sub>1</sub> 受容 体ブロッカー/持続性Ca拮抗薬配合剤(高血圧 症)(新医療用配合剤の特例)
	ザクラス配合錠LD (@274)	1錠	140.60	武田薬品工業	アジルサルタン/アムロジピンベシル塩塩: 持 続性AT <sub>1</sub> レセプターブロッカー/持続性Ca拮 抗薬配合剤(高血圧症)(新医療用配合剤の 特例)
	ザクラス配合錠HD (@275)	1錠	140.60		
	サムスカ錠30mg (サムスカ 30)	30mg1錠	3,952.10	大塚製薬	トルバパタン: V <sub>2</sub> 受容体拮抗剤(腎容積が既に 増大しており、かつ、腎容積の増大速度が 速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑 制)(再審査期間中の規格追加)
	エフィエント錠3.75mg (エフィエント 3.75)	3.75mg1錠	282.70	第一三共	プラスグレル塩酸塩: 抗血小板剤(経皮的冠 動脈形成術(PCI)が適用される下記の虚血性 心疾患、急性冠症候群(不安定狭心症、非ST 上昇心筋梗塞、ST上昇、心筋梗塞)安定狭心 症、陳旧性心筋梗塞)(新有効成分含有医薬 品)
	エフィエント錠5mg (エフィエント 5)	5mg1錠	359.80		
	デベルザ錠20mg (@ 122)	20mg1錠	205.50	興和	トホグリフロジン水和物: 選択的SGLT2阻害剤 2型糖尿病治療剤(2型糖尿病)(新有効成分 含有医薬品)
	アブルウェイ錠20mg (saTOF)	20mg1錠	205.50	サノフィ	
	フォシーガ錠5mg (5/1427)	5mg1錠	205.50	ブリistol・マイ ヤーズ	ダバグリフロジンプロピレングリコール水和物: 選択的SGLT2阻害剤-2型糖尿病治療剤- (2型糖尿病)(新有効成分含有医薬品)
	フォシーガ錠10mg (10/1438)	10mg1錠	308.30		
	ルセフィ錠2.5mg (ルセフィ2.5)	2.5mg1錠	205.50	大正製薬	ルセオグリフロジン水和物: 選択的SGLT2阻 害剤-2型糖尿病治療剤-(2型糖尿病)(新 有効成分含有医薬品)
	ルセフィ錠5mg (ルセフィ5)	5mg1錠	308.30		
	サイスタダン原末	1g	448.10	レクメド	ベタイン: ホモシスチン尿症治療剤(ホモシス チン尿症)(新有効成分含有医薬品)
	イクスタンジカプセル40mg (イクスタンジ40)	40mg1カプセル	3,138.80	アステラス製薬	エンザルタミド: 前立腺癌治療剤(去勢抵抗性 前立腺癌)(新有効成分含有医薬品)
	ロンサーフ配合錠T15 (ロンサーフ15)	15mg1錠(トリ ルリジン相当量)	2,489.60	大鵬薬品工業	トリフルリジン/チピラシル塩酸塩: 抗悪性腫 瘍剤(治癒切除不能な進行・再発の結腸・直 腸癌(標準的な治療が困難な場合に限る)) (新有効成分含有医薬品・新医療用配合剤)
	ロンサーフ配合錠T20 (ロンサーフ20)	20mg1錠(トリ ルリジン相当量)	3,340.90		
テノゼット錠300mg (GSK 300)	300mg1錠	996.50	グラクソ・スミス クライン	テノホビル ジソプロキシルフマル酸: 抗ウイル ス化学療法剤(B型肝炎ウイルスの増殖を伴い 肝機能の異常が確認されたB型慢性肝疾患に おけるB型肝炎ウイルスの増殖抑制)(新有効 成分含有医薬品)	

内 用 薬	タベンタ錠25mg (OMJ25)	25mg1錠	108.70	ヤンセンファーマ	タベンタドール塩酸塩:持続性疼痛治療剤 《中等度から高度の疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛》(新有効成分含有医薬品)
	タベンタ錠50mg (OMJ50)	50mg1錠	206.30		
	タベンタ錠100mg (OMJ100)	100mg1錠	391.70		
注射薬	タイサプリ点滴静注300mg	300mg15mL1瓶	228,164.00	バイオジェン・アイデック・ジャパン	ナタリズマブ(遺伝子組換え):ヒト化抗ヒトα4インテグリンモノクローナル抗体製剤《多発性硬化症の再発予防及び身体的障害の進行抑制》(新有効成分含有医薬品)
外用薬	スミスリンローション5%	5%1g	77.30	クラシエ製薬	フェノリン:駆虫剤《疥癬》(新効能・新用量医薬品)

●報告品目・新キット製品 平成26年5月30日付

区分	販売名 ( )内は識別コード	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	ジェインプロフト錠100mg	100mg, 1錠	305.40	ファイザー	塩酸セルトラリン:選択的セロトニン再取り込み阻害薬《うつ病・うつ状態、パニック障害》(再審査期間中の規格追加)
	メモリーOD錠5mg (MMOD 5)	5mg, 1錠	137.70	第一三共	メマンチ塩酸塩:NMDA受容体拮抗 アルツハイマー型認知症治療薬《中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制》(再審査期間中の剤形追加)
	メモリーOD錠10mg (MMOD 10)	10mg, 1錠	246.00		
	メモリーOD錠20mg (MMOD 20)	20mg, 1錠	439.70		
	アジルバ錠10mg (@A1)	10mg1錠	93.60	武田製薬	アジルサルタン:持続性AT1レセプターブロッカー《高血圧症》(再審査期間中の規格追加)
	ラコールNF配合経腸用半固形剤	10g	8.40	イーエヌ大塚	タンパクアミノ酸製剤:経腸栄養剤《一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する》(類似処方医療用配合剤)
	エネーボ配合経腸用液	10mL	7.10	アボット	タンパクアミノ酸製剤:経腸栄養剤(経口・経管両用)《一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する》(類似処方医療用配合剤)
タケルダ配合錠 (タケルダ 100/15)	1錠	89.30	武田製薬	アスピリン/ランソプラゾール配合剤《下記疾患又は術後における血栓・塞栓形成の抑制(胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往がある患者に限る)/狭心症(慢性安定狭心症、不安定狭心症)、心筋梗塞、虚血性脳血管障害(一過性脳虚血発作(TIA)、脳梗塞)、冠動脈バイパス術(CABG)あるいは経皮経管冠動脈形成術(PTCA)施行後》(新医療用配合剤)	
サレドカプセル25 (サリドマイド/サレド25)	25mg1カプセル	4,757.60	藤本製薬	サリドマイド:抗多発性骨髄腫剤、抗らい性結節性紅斑剤《1. 再発又は難治性の多発性骨髄腫 2. らい性結節性紅斑》(再審査期間中の規格追加)	
注射薬	ルセンチス硝子体内注射用キット 10mg/mL	0.5mg0.05mL1筒	181,270.00	ノバルティス	ラニビズマブ(遺伝子組換え):眼科用VEGF阻害剤(ヒト化抗VEGFモノクローナル抗体Fab断片)《1. 中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症 2. 網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫 3. 病的近視における脈絡膜新生血管 4. 糖尿病黄斑浮腫》(再審査期間中の規格追加、新キット製品)
	アボネックス筋注30μgペン	30μg0.5mL1キット	39,266	バイオジェン・アイデック・ジャパン	インターフェロンベータ-1a(遺伝子組換え):遺伝子組換え型インターフェロンβ-1a製剤《多発性硬化症の再発予防》(再審査期間中の規格追加、新キット製品)

\*識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。





## Medical News

### ●ボタン電池の誤飲注意 食道に穴開く恐れ (共同通信 6月19日)

おもちゃや電子機器に使われるボタン電池を誤飲し、医療機関で受診した事故情報が2010年12月から今年3月までに全国で93件報告された。ボタン電池を誤飲すると、1時間ほどの短時間でも食道や胃に穴が開く恐れがあるが、重症化すると知らない親も多い。年齢別では、1歳児が54件で最多。乳幼児の場合、電池は食道にとどまることが多く、周囲に電流が流れてアルカリ性の液体がつくられ食道の壁に潰瘍ができたり、穴が開いたりする。胃に落ちると胃酸で腐食し、内部の物質が流れ出る危険もある。

### ●9病院で禁止鎮静剤 女子医大以外で使用判明 (共同通信 6月20日)

集中治療室(ICU)で人工呼吸器を付けている子どもに使用禁止の鎮静剤プロポフォールについて実施したアンケートで、9病院が「禁止対象の子どもに使用することがある」と回答。アンケートは全国の268病院が対象、使用は回答した70病院の1割以上に当たる。うち4病院は禁忌薬であることを「家族らに説明しない」とした。添付文書の禁忌事項が徹底されておらず、一部の病院では使用に際し保護者の同意を得ていなかった。

### ●美白成分に細胞毒性 カネボウの白斑問題 (共同通信 7月7日)

肌がまだらに白くなる「白斑」を起こし自主回収されたカネボウ化粧品品の製品の美白成分「ロドデノール」には、色素細胞に対する毒性があると同社の研究所などのチームが発表した。しみの元にもなるメラニン色素が細胞の中で作られる際には、チロシナーゼという酵素が働く。ロドデノールは、この酵素と反応して色素ができるのを邪魔する。だが大量に使うと、この酵素との反応を通じて別の物質ができ、それによって色素を作る細胞そのものを死に追いやり、白く色が抜けた状態が生じる可能性が示された。今年5月末までに約1万9千人に症状が出た。

### ●脱法ドラッグ救急搬送10倍 乱用深刻、厚労省研究班 (共同通信 7月14日)

脱法ドラッグ使用後に意識障害などで救急搬送される患者が急増している。全国60医療機関の受け入れ患者数は、2012年は469人、前年の約10倍。厚労省は警察などと連携し、規制対象の指定薬物以外の成分を含む製品も、薬事法に基づき無承認無許可医薬品として摘発を強化する方針。使用した製品の形状では、「お香」などと称して売られるハーブ(植物片)が86%と最も多く、「バスソルト」等入浴剤名目などの粉末が6%、液体が5%と続いた。入手経路が確認できた202人のうち「店舗」が42%で最も多く、「インターネット」は19%だった。

### ●健康維持・増進に関する身体の部位表示が可能に (毎日新聞 7月18日)

消費者庁は7月18日「第8回食品の新たな機能性表示制度に関する検討会」を開催。「トクホ」「栄養機能食品」以外の身体の部位表示の可否に関して、どの表現まで可能にするかなど具体例は示されな

かったが、健康人における健康維持・増進に関する表現であれば、「特定の部位に言及した表現を行うことも可能とすることが適当である」とする見解を報告書(案)で示した。

### ●調剤報酬改定の影響調査 - 内容に8割が不満〜薬事日報社調査 (薬事日報 7月18日)

2014年度の診療報酬・調剤報酬改定から3カ月、約8割の管理薬剤師等が改定内容に、さらに7割近くが消費税率8%への対応について不満を持っている。また、後発医薬品調剤体制加算の算定が改定前の74%から49%へと大きく落ち込み、約6割の薬局が改定以降、減収した。その要因として主に基準調剤加算、薬剤服用歴管理指導料、後発医薬品調剤体制加算の見直し、薬価改定の影響を挙げている。「14年度調剤報酬の改定直後影響調査」で明らかになった。

### ●新たに107疾患助成へ ダウン症や風疹症候群等 (薬事日報 7月31日)

厚生労働省の専門委員会は、医療費助成の対象となる子どもの難病「小児慢性特定疾患」に、107疾患を追加する方針を決めた。現行の514疾患の病名や分類を整理して598疾患にした上で追加することで、計705疾患となる。新たに助成対象となるのは、先天性横隔膜ヘルニアなどの呼吸器疾患、全身性エリテマトーデスなどの膠原病、デュシェンヌ型筋ジストロフィーや先天性風疹症候群などの神経・筋疾患、潰瘍性大腸炎などの消化器疾患、ダウン症などの先天異常症など。

### ●中外製薬、ダウン症候群治療薬、国内で治験開始 (薬事日報 7月31日)

中外製薬は5月に、スイスのロシュから導入したダウン症候群治療薬「RG1662」の国内臨床試験を開始した。「RG1662」が持つGABA $\alpha$ 5レセプターアンタゴニストの新規作用機序により、薬物療法が存在しないダウン症者における知的能力の改善を目指し、国内で開発を進める方針。

### ●ノバ社の未報告問題 「医師に負担」との理由 (毎日新聞 8月1日)

製薬会社ノバルティスファーマが白血病治療薬の重い副作用を隠していた問題で、同社のMR(医薬情報担当者)は副作用情報を把握しながら「医師に負担をかける」との理由で社内の担当部署への報告を怠っていたことが分かった。副作用の報告は医薬品の安全対策上、製薬会社が果たすべき責務だが、患者より薬を処方する医師側を向いた利益優先志向が改めて浮かんできた。

### ●岡山大学病院、院外処方箋、検査値表示を開始 (薬事日報 8月6日)

岡山大学病院は今年5月から院外処方箋への検査値の表示を開始した。13項目の検査値を開示することによって、副作用の早期発見や、肝機能や腎機能に応じた投与量の適正化などの役割を今まで以上に、薬局薬剤師に果たしてもらいたい考え。昨年10月から同様の取り組みを開始した京都大学病院の方式を踏襲した。ほかにも複数の大学病院が開始に向けた準備や検討を進めており、院外処方箋への検査値表示は今後さらに各地に広がる見通し。

【日本薬剤師会より】

平成26年6月23日

『お薬手帳携帯促進ポスター』について

日本薬剤師会では、ホームページにて「お薬手帳携帯促進ポスター」を配布しています。また、お薬手帳携帯促進ポスターをご自身のお写真でお作りいただけます。オリジナルのお薬手帳携帯促進ポスター作成にご利用ください。なお、完成したポスターはA4～A3のお好きなサイズにて出力が可能です。

平成26年7月1日

『薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック 2014年版』について

日本薬剤師会は今般、「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック2014年版」を作成し、日薬ホームページ上で全文を公開しました。本ガイドブックは（公財）日本体育協会（ドーピング防止部会ドーピングデータベース作業班）の協力のもと、日薬ドーピング防止対策委員会並びに今年度国体開催県の長崎県薬剤師会等が協同して編集したものです。本年度版は、毎年改定される世界ドーピング防止機構（WADA）の2014年禁止表国際基準に対応しています。詳細は日薬ホームページで閲覧可能ですので、薬局現場等でご活用ください。

平成26年7月1日

『違法ドラッグ乱用防止のための説明用パンフレット』について

日本薬剤師会公衆衛生委員会では、違法ドラッグの作用や危険性、それによって個人や社会に与える影響等について、薬局・薬剤師が地域の住民に説明できる知識を持つ必要があることから、①違法ドラッグ乱用防止啓発用ポスター、②薬剤師等を対象とした違法ドラッグ乱用防止のための説明用パンフレットを平成26年6月に作成し、ホームページにて提供しています。どうぞご利用ください。

◎平成26年6月 公衆衛生委員会(会員向け情報)[PDF]

◎違法ドラッグ乱用防止啓発用ポスター(会員向け情報)[PDF]

◎薬剤師等を対象とした違法ドラッグ乱用防止のための説明用パンフレット(会員向け情報)[PDF]

※平成26年7月22日より、「違法（脱法）ドラッグ」に代わり「危険ドラッグ」と呼称変更されています。



薬事情報センターに寄せられた質問から

はい、薬事情報センターです。



薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

Q：アモキシシリンで喘息症状の出る患者がいる。ペニシリンアレルギーの患者にピロリ菌の除菌治療をする場合はどうしたら良いか。(薬局)

A：通常、ピロリ菌の一次除菌にはプロトンポンプ阻害薬 (PPI) +アモキシシリン水和物 (AMPC) +クラリスロマイシン (CAM) の三剤併用療法、二次除菌はPPI+AMPC+メトロにダゾール (MNZ) が使用される。現在の所、AMPCの代替薬の投与は適応外使用となる。H.pyloriの最小発育阻止濃度 (MIC) については、AMPC、テトラサイクリン (TC)、ミノマイシン (MINO) が低く、続いてCAMが低いとされている。MNZのMICはあまり低くはないが、これらの薬剤による有効性が認められている。ペニシリンアレルギーの患者への処方例を示す。

・PPI + MNZ (500mg)+ CAM (400mg) 分2/ 日×7日間

・PPI + MNZ (500mg)+ シタフロキサシン (STFX:200mg) 分2/ 日×7日間

・PPI + MNZ (500mg)+ ミノサイクリン (MINO:200mg) 分2/ 日×7日間

参考：ペニシリンに過敏な患者のピロリ菌除菌：依田有紀子 (日本医事新報(4462))、ピロリ菌外来の現状：小野尚子 (CLINICIAN(597))

Q：キネダック (エパルレスタット) を食後に服用することはできないのか。(薬局)

A：エパルレスタットを食前30分に単回経口投与した場合と、食後30分に投与した場合の薬物動態を比較すると、食後30分では、食前投与に比べ最高血漿中濃度到達時間 (Tmax) の遅延、最高血漿中濃度 (Cmax) の約30%低下、薬物血漿中濃度推移曲線下面積 (AUC) の低下が報告されている。また、エパルレスタットは高血糖状態で働くアルドース還元酵素を特異的に阻害し、神経障害を起こすとされるソルビトールの蓄積を抑制することで、疼痛やしびれ等の症状を改善する薬剤である。食後の高血糖時に効果を発現させるためには、食前投与が望ましい。

参考：インタビューフォーム等

Q：蟯虫とプールの指導について。蟯虫症のお子さんはプールに入れないのでしょうか。(学業)

A：蟯虫卵が感染児童のお尻から遊離して、他の児童の口に入る確率は極めて低く、心配であれば保虫児童または学童全員が水泳のある日の朝に、肛門周囲をよく石鹸を用いて洗ってくるように指導するなどの対応を取るのが望ましい。蟯虫卵保有者は遊泳を禁止、駆虫した事の証明書を持参するなどの処置を取るることによる「いじめ」「差別」などの問題のほうが大きいのではないかという指摘もある。現在の所、学校でのプールの入水についての対応は学校によって以下のように異なっており、最終的に校長判断となる。

1. 駆除薬で駆虫すればOK。
2. 駆虫後、駆虫されたか病院で診断した後でないと入水できない。

3. プールの日の朝、お尻を石鹸で洗えばOK。

参考：「学校における水泳プールの保健衛生管理」(日本学校保健会)、日本寄生虫学会 HP、影井昇: 学校保健における寄生虫検査で思う事 (日本医事新報(4238))

Q：デキサートとバファリンのEXはドーピングにかかるか？デキサートは経路で変わるか？(医師)

A：デキサート (デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム) は日本では注射薬のみが認可されている。デキサートの筋肉内注入・経口投与・静脈内注入、吸入・局所・関節内注入も使用は禁止されている。また、OTC薬であるバファリンEX細粒・バファリンEX錠は、メチルエフェドリンを含有するため、競技内での使用は禁止である (ただし尿中濃度 $5\mu\text{g}/\text{ml}$  超える場合)。少なくとも競技の3日前までに服用を止める。

参考：Global DRO JAPAN、ドーピング防止ガイドブック2014 (日本薬剤師会)

Q：熱中症対策の飲み水は、冷たい方がいいか、常温がいいか。(学業)

A：熱中症予防に効果があるとされている水分補給時の「適切な水温」については、 $5\sim 15^{\circ}\text{C}$  が適しているとの報告がある。ただし、冷水で胃が冷えると、温度を戻そうと体内の血液や水分が急速に胃に集中することで脱水症状が進行する事もあるため、高齢者等は常温での摂取を勧める。学校においては、健康な子供であれば冷水で熱くなった体を積極的に冷やす必要がある。ただし、持病等抱えた子供には、体の表面的冷却と胃への配慮は必要と思われる。

参考：環境省HP、サーモス (株) HP

Q：診療所から大きい紙で処方書が書かれたものが来ている。これは処方箋として受け付けられるものか？(薬局)

A：処方せん大きさは、平成24年3月5日に厚生労働省通知で「A列5番を標準とする事」と規定されており、必ずしもA列5番でなければならないということではない。規定されている項目をきちんと満たしておけば、紙面の大きさは問題ない。

Q：ユーパスタ軟膏+アクトシン軟膏の混合は大丈夫か。(薬局)

A：ユーパスタ軟膏の添付文書には「他剤と混合して使用しないこと。」との注意があり、IFには配合変化試験データが掲載されている。それによると、ユーパスタ軟膏とアクトシン軟膏を、室温、湿度 $20\sim 55\% \text{RH}$ の条件下で1:1の比率で2週間保存した所、有効ヨウ素含量は101.4%であった。「軟膏・クリーム配合変化ハンドブック (じほう) においては、これらの配合変化について、室温2週間、冷所4週間保存は配合可としている。





沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

## 「おくすり相談室」の受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

### ●医薬品一般●

【質問】高齢の母がパーキストン配合錠L100を服用しているが、口に入れたら溶けた薬が舌にくっついて飲み込みにくいと言っている。溶けない薬はありませんか？

【回答】パーキストン配合錠L100（レボドパ・カルビドパ水和物）は約55℃の温湯に5分つければ完全に溶けますので、水分が飲み込めるのであれば問題なく服用できます。

参考：経口剤の経管投与に関する資料簡易懸濁試験結果（小林化工HP）

### ●安全性情報●

【質問】40歳になって症候性てんかんと診断され、エクセグラン100を3年服用している。最近、言葉が発しづらく、記憶力や知識力の低下がある。仕事に影響し始めた。副作用と思われるが、薬を止めたらいいのかわかるか。

【回答】てんかんの薬は治療する量と副作用が現れる量の差が狭いのが特徴です。一般的にエクセグランは成人では200-400mg位までを1日1～3回くらいに分けて服用します。副作用が起こった場合には、1. 服薬回数を減らす 2. 1回の量を減らす。3. 薬を変更する等の対応が取られます。てんかんのお薬の場合、勝手に服用を中断すると、かえって症状が悪化する恐れがあります。早めに医師とご相談ください。

【質問】アクトスの件で、アメリカで騒ぎになっているとニュースでやっていた。自分が飲んでる薬なので、心配。

【回答】今年4月に、アクトスの製薬会社である武田製薬は、「アクトスと膀胱癌との間に因果関係があるとの事実認定を支持していないと確信している」と見解を出しました。アクトスについては、厚生労働省が2011年に膀胱癌治療中の患者には使用を控える、患者に対し膀胱癌のリスクについての説明を行う、定期的に検査をする等の対応を取る様、医療機関向けに通知を出しています。現在の所、厚生省からは販売中止等の新たな通達はありません。ただ、アクトスをどうしても変更したいというのであれば、同じ成分のジェネリック医薬品がありますので、主治医または薬局でご相談ください。

### ●妊婦・授乳婦●

【質問】クロミッドと柴苓湯を婦人科からもらっている。漢方薬は何のために出ているのですか？

【回答】柴苓湯は、小柴胡湯と五苓散の合剤で、抗炎症作用、ステロイド様作用、免疫抑制作用を持ち合わせています。これらの作用を利用し、婦人科では不妊症の治療として、着床しやすく流産しにくい身体を作る目的で処方されています。不妊の原因の一つである多嚢胞性卵巣症候群の排卵

障害のある患者では、87.5%の患者に排卵が認められたとの報告もあります。

参考：腎臓疾患における漢方（日本臨床漢方医学会漢方Q&A）

【質問】手首の痛みで治療中。妊娠しているのにセルタッチを処方されたが、大丈夫か。

【回答】セルタッチの妊娠中の使用については、安全性が確認されておりませんが、治療上どうしても必要な場合には使用できる薬剤となっています。ただ、湿布薬の中でも、MS冷湿布等妊婦への投与が問題ないお薬もあります。薬局でも相談できます。

参考：医薬品添付文書

【質問】出血があって、産婦人科でパルタンM 0.125を1週間分処方された。調べたら、妊娠している人には使わない薬だということ。薬局でも何も聞かれなかったが、大丈夫なのか。

【回答】このお薬は分娩後や中絶後に出血が止まらない時に服用します。通常は、妊娠している可能性のある方への使用はしないことになっています。薬をもらった調剤薬局に連絡をし、確認してください。

### ●その他の質問●

【質問】認知症の父のトイレの回数が多い。出ないのに行きたがる。脳からの信号がおかしいかもしれないと言われた。連れて行くのも大変で、トイレの世話だけで毎日が終わってしまう。

【回答】尿の回数が多いのは頻尿といって、膀胱に尿が十分に溜まっていないのに、膀胱が勝手に収縮し、急にトイレに行きたくなるような状態かもしれません。トイレの回数の多い事や失禁等の事で、注意しすぎてはいませんか？お父様はその事を気にして、たまってもいけないのに行かなくてはと思っているのかもしれませんが。認知症の患者さんへの対応については、市町村でも相談窓口を設けています。病院で治療を受け、また介護サービスを利用するなどして、ご家族の息抜きの時間を設けるのもよいかと思われます。

### ●苦情●

・リーゼとホリゾンが処方されているが、どちらも先発医薬品なのに後発医薬品調剤体制加算が1.8点ついている。点数をとるなんて、詐欺じゃないの？薬局からも厚生省がそう決めたのだと説明があった。どうしたことなのか、説明して欲しい。

・薬局の明細書に価格が書かれていない。領収書は別にもらっているが、それには4.1点とかの点数しかない。あなた達専門家は判るだろうけど、一般の人にはさっぱりわからない。どうなっているのか。スーパーの領収書にもそれぞれの値段が書かれている。



【質問】7年前からキサラン点眼（ラタノプロスト）を使っていたが、最近はルミガン、コソプト、アイファガン点眼を使用している。少し前から目の周囲の色が濃くなり、まつげ（睫毛）も黒くのびてきた。治らないのですか？（女性）

【回答】緑内障治療薬の中には、目の周囲が濃くなる、睫毛がのびる等の副作用が報告されているものもあります。キサラン点眼、ルミガン点眼にもその副作用があります。原因と思われる点眼薬の使用を中止したり、シミクリームなどの使用でわずかに薄くなったとする報告はあります。点眼方法としては、入浴前に点眼し、あふれた液はできるだけ目の周囲につかない様ティッシュ等でふきとり、お風呂できれいに洗顔することを勧めます。色素沈着については、医師に相談し点眼薬を変更してもらうなどの対応が必要かもしれません。

\*PG製剤の点眼の代表的な副作用として、虹彩色素沈着と睫毛に対する影響、さらに最近では、眼球陥凹症が注目されている。PGE2がメラノサイトに作用することでメラニンが増加、さらにPGE2は毛根細胞に作用し、多毛が生じる事も推定されている。最近、若い女性達が睫毛美容液として海外で販売されているルミガン点眼薬のジェネリック医薬品をインターネットで入手し、利用しているようだ。2014年3月には、睫毛貧毛症治療薬としてピマトプロスト（商品名：グラッシュビスタ外用液剤0.03%）の製造販売が承認された。緑内障治療薬を処方されている患者さんで、睫毛の長い方を見る事は多い。PG製剤の点眼薬が処方された患者に対しては、副作用の説明はもちろん、点眼方法についてもしっかり指導をする等の対応が求められる。

添付文書にある局所副作用（睫毛異常・眼瞼色素沈着）のある薬剤を下表にまとめた。

局所副作用(睫毛異常・眼瞼色素沈着)のある緑内障治療薬(PGF 2 α誘導体)一覧

成分名	医薬品名	製薬会社	副作用	副作用頻度
イソプロピルウノプロストン	レスキュラ点眼液0.12%	参天製薬	眼瞼色素沈着	0.1%未満
			眼瞼部多毛	頻度不明
	イソプロピルウノプロストンPF点眼液0.12%	日本点眼薬研究所	眼瞼色素沈着、眼瞼部多毛	頻度不明
	イソプロピルウノプロストン点眼液0.12%	沢井 他	眼瞼色素沈着、眼瞼部多毛	頻度不明
ラタノプロスト	キサラン点眼液0.005%	ファイザー	眼瞼色素沈着、眼瞼部多毛、睫毛の異常(睫毛が濃く、太く、長くなる)	5%未満
	ラタノプロストPF点眼液0.005%	日本点眼薬研究所	眼瞼色素沈着、眼瞼部多毛、睫毛の異常(睫毛が濃く、太く、長くなる)	頻度不明
	ラタノプロスト点眼液0.005%	わかもと 他	眼瞼色素沈着、眼瞼部多毛、睫毛の異常(睫毛が濃く、太く、長くなる)	頻度不明
タフルプロスト	タプロス点眼液0.0015%	参天製薬	睫毛の異常	19.3%
			眼瞼色素沈着	5%以上
トラボプロスト	トラバタンズ点眼液0.004%	日本アルコン	眼瞼色素沈着	7.1%
			眼周囲の多毛化	3.9%
ピマトプロスト	ルミガン点眼液0.03%	千寿製薬	睫毛の異常	46.13%
			眼瞼色素沈着	19.2%
トラボプロスト 日局チモロールマレイン酸塩	デュオトラバ配合点眼液	日本アルコン	眼瞼色素沈着	4.1%
			多毛症	2.6%
ラタノプロスト 日局チモロールマレイン酸塩	ザラカム配合点眼液	ファイザー	眼瞼色素沈着、多毛症	5%未満
			睫毛及びうぶ毛の変化(濃く、太く、長くなる)	頻度不明

参考：小林茂樹「緑内障治療薬としてのプロスタグランジンF2α誘導体制剤（プロストン系およびプロスト系）の特性について」：日医大医会誌2012;8（2）、医薬品添付文書、ポケット医薬品集2014

Medical Magazines titles

## 今月の特集・論文

\*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

### ○医薬ジャーナル 50巻 4号

\*特集：がん領域における注意すべき医薬品副作用のメカニズムと対応

・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック  
注目論文を読み解く（25）（p.154）

1. プロトンポンプ阻害薬により腸内細菌異常増殖症のリスクが上昇
2. ポリコナゾールにより重症筋無力症が悪化
3. ランソプラゾール併用によりメトホルミンの血漿中濃度がわずかに上昇
4. オキサリプランによるトルサード・ポアント
5. 経口避妊薬により血栓塞栓症リスクが上昇
6. ダビガトランとクロピドグレルの併用による薬物動態および薬理作用への影響

### ○医薬ジャーナル 50巻 5号

\*特集1：バイオシミラーの今後のあるべき姿～ジェネリック医薬品も視野に～

\*特集2：バイオシミラー・フィルグラスチム

・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック  
注目論文を読み解く（26）（p.158）

1. レナリドミドによる認知機能障害
2. レボチロキシンの吸収がシプロフロキサシン併用減少、リファンピシン併用で増加
3. ボルテソミブによる横隔神経麻痺
4. マクロライド系抗生物質併用でスタチンの重篤な副作用リスクが上昇
5. 異なるクラスの降圧薬併用で糖尿病リスクが上昇
6. イブプロフェンによる多形性紅斑

### ○医薬ジャーナル 50巻 6号

\*特集：睡眠・眠りの基礎と臨床

・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック  
注目論文を読み解く（27）（p.148）

1. トピラマートによる熱中症で死亡
2. ダビガトラン服用患者の心筋梗塞リスクはワルファリン服用患者より高い可能性
3. ニコチン併用によりレボドパの血漿中濃度が低下する可能性
4. オメプラゾールによる低マグネシウム血症
5. キニジンまたはベラパミル併用によりエドキサバ

ンの血漿中濃度が上昇

6. ポリコナゾールとメトトレキサート併用で重篤な光線過敏症

### ○医薬ジャーナル 50巻 7号

\*特集：Drug delivery system (DDS) の最新展望

・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック  
注目論文を読み解く（28）（p.154）

1. スニチニブ併用でコルヒチン毒性が発現
2. 鉄剤併用でアセトアミノフェンの唾液中濃度が低下する可能性
3. フルボキサミンとセレコキシブの併用でせん妄を呈した高齢患者
4. レニン・アンジオテンシン系（RAS）阻害薬は術後の急性腎障害リスクを増加させる
5. バルプロ酸服用で脱毛を認めた若年女性
6. バルプロ酸併用でアミトリプチリンの血中濃度が上昇

### ○エキスパートナース 30巻 5号

\*特集：起こりがちな！急変徴候への対応

### ○エキスパートナース 30巻 8号（臨増）

\*特集：アセスメントに使える！症状病態別検査データの見かた

### ○エキスパートナース 30巻 7号

\*特集：ベッドサイドの「摂食嚥下ケア」

### ○きょうの健康 5月号

\*特集：ひざの痛み

\*特集2：認知症の予防

### ○きょうの健康 6月号

\*特集：めまい対策

\*特集2：五十肩

### ○きょうの健康 7月号

\*特集：糖尿病の合併症

\*特集2：手と指の痛み

### ○月刊薬事 56巻 4号

\*特集：不眠症の薬物療法管理

- ・薬剤師が貢献する不眠症治療～不眠症患者の減薬に向けた介入（p.115）
- ・適応拡大クローズアップ バルプロ酸ナトリウム（p.146）



## 今の特集・論文

### ○月刊薬事 56巻5号

- \*特集：Antimicrobial stewardshipを考え、実践する！
- ・適応拡大クローズアップ アセトアミノフェン注射液 (p.83)
- ・処方せん疑義照会トレーニング(13) 抗凝固薬の切り替え処方 (p.126)
- ・適応外使用の処方せんの読み方(47) レストレスレッグス症候群 (p.143)

### ○月刊薬事 56巻6号

- \*特集：がん診療 One More Step
- ・適応拡大クローズアップ テノスマブ(遺伝子組換え)注 (p.112)
- ・処方せん疑義照会トレーニング(14) がん性疼痛コントロール (p.149)
- ・適応外使用の処方せんの読み方(48) アルツハイマー病 (p.158)

### ○月刊薬事 56巻7号

- \*特集：これからの骨粗鬆症マネジメント
- ・適応拡大クローズアップ プロプラノロール塩酸塩 (p.111)
- ・処方せん疑義照会トレーニング(15) 消化器内科処方を服用中の早期倦怠感 (p.141)
- ・適応外使用の処方せんの読み方(49) 再燃前立腺がん (p.151)

### ○月刊薬事 56巻8号(臨増)

- \*特集：ジェネリック医薬品の評価と選択

### ○産科と婦人科 81巻4号

- \*特集：女性と感染症

### ○産科と婦人科 81巻5号

- \*特集：妊産婦と脳血管疾患

### ○産科と婦人科 81巻6号

- \*特集：オミックスデータからみた婦人科疾患と遺伝情報の解釈

### ○産科と婦人科 81巻7号

- \*特集：多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)

### ○正しい治療と薬の情報 29巻2号

- ・薬剤性角膜損傷

### ○調剤と情報 20巻4号

- \*特集：調剤報酬改定2014

- ・ガイドラインを薬局店頭で活かす(34) B型肝炎治療ガイドライン (p.45)
- ・薬局ヒヤリ・ハットなくし隊がゆく(43) ニトロダームTTS不適正使用で血圧が低下した患者 (p.71)
- ・新薬くろーずあっぷ：ソプリアードカプセル (p.103)

### ○調剤と情報 20巻5号

- \*特集：脂質異常症を理解する

- ・ガイドラインを薬局店頭で活かす(35) 脂質異常症ガイド (p.41)
- ・薬局ヒヤリ・ハットなくし隊がゆく(44) 漢方製剤の麻黄による排尿障害はどの程度危険か? (p.59)
- ・新薬くろーずあっぷ：ピソノテープ (p.91)

### ○調剤と情報 20巻6号

- \*特集：足白癬を根治する

- ・ガイドラインを薬局店頭で活かす(36) 小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン (p.37)
- ・薬局ヒヤリ・ハットなくし隊がゆく(45) プログラフとスローケーの併用は問題ないか? (p.59)
- ・新薬くろーずあっぷ：リクスミア皮下注 (p.97)

### ○調剤と情報 20巻7号

- \*特集：更年期障害と薬剤師の役割

- ・ガイドラインを薬局店頭で活かす(37) ホルモン補充療法ガイドライン (p.39)
- ・薬局ヒヤリ・ハットなくし隊がゆく(46) うなずいていても実際は聞こえていなかった高齢者 (p.67)
- ・新薬くろーずあっぷ：スーグラ錠 (p.107)

### ○治療 96巻4号

- \*特集：咳のはなし

### ○治療 96巻5号

- \*特集：JSH2014を読み解く

### ○治療 96巻6号

- \*特集：糖尿病治療薬Q&A

### ○治療 96巻7号

- \*特集：どこまで対応する? 救急疾患

Medical Magazines titles

## 今月の特集・論文

### ○日経ドラッグインフォメーション 198号

\*特集：聞く力&伝えるココロ

- ・服薬指導：ホルモン補充療法と血栓リスク (p. PE001)
- ・服薬指導：スピラマイシンが処方された妊婦 (p. PE003)
- ・服薬指導：胃切除した患者に出された抗アレルギー薬 (p. PE005)
- ・医師が語る処方箋の裏側～小青竜湯を服用中の患者に家庭血圧の測定を勧める理由 (p. PE016)

### ○日経ドラッグインフォメーション 199号

\*特集：発表！薬局ツールグランプリ

- ・服薬指導：タケプロンOD錠の経管投与方法 (p. PE003)
- ・服薬指導：とびひに抗菌薬が3日分しか出ない理由 (p. PE005)
- ・医師が語る処方箋の裏側～配合剤の切り替えて夏場の血圧の下がり過ぎを防止 (p. PE016)

### ○日経メディカル 557号

\*特集：必修化から10年 臨床研修制度で医療は前進したか

- ・私の処方：透析患者の頑固な痒みにプレガバリン (p. 95)

### ○日経メディカル 558号

\*特集：地域を支える主治医の条件

- ・私の処方：関節リウマチ治療に漢方薬を追加 (p. 91)

### ○日経メディカル 559号

\*特集：困った患者2014

- ・私の処方：「時間治療」で過剰降圧を防ぐ (p. 95)

### ○日本医事新報 4692号(3月特集号)

\*特集：臨床検査血の落とし穴

### ○日本医事新報 4697号

- ・質疑応答～内科：降圧薬の減量および中止 (P. 62)

### ○日本医事新報 4702号

- ・論文：小児マイコプラズマ感染症治療における注意点 (P. 19)

### ○日本医事新報 4703号

- ・ドクターのための薬物相互作用とマネジメント

- (6) レボチロキシシン+鉄剤、アルミニウム含有製剤、カルシウム製剤等 (P. 45)

### ○日本医事新報 4704号

- ・論文：新規経口抗凝固薬の選択と減量基準 (P. 35)
- ・質疑応答～小児科：患者が持参したエピペンの投与可否と小児対応時の注意点 (P. 66)

### ○日本医事新報 4706号

- ・質疑応答～基礎・研究：整腸剤の使い分け (P. 67)

### ○薬局 65巻4号

\*特集：徹底理解！点眼剤

- ・徹底理解！添付文書にある情報・ない情報 (p. 154)

※ある情報：アスピリンによる喘息発作

※ない情報：プラバスタチンとパロキセチンの併用による血糖値上昇

### ○薬局 65巻5号

\*特集：新しい酸塩基平衡の考え方

- ・徹底理解！添付文書にある情報・ない情報 (p. 88)
- ※ある情報：フルチカゾン配合吸入剤とイトラコナゾールとの相互作用

※ない情報：ガバペンチンがアルコール依存症治療に有効

### ○薬局 65巻6号

\*特集：MRSA肺炎

- ・徹底理解！添付文書にある情報・ない情報 (p. 107)

※ある情報：高度腎障害患者へのダビカトラン投与による重篤な出血などの副作用

※ない情報：高齢者におけるニフェジピンによる急性腎障害はクラリスロマイシン併用により悪化する可能性

### ○JIM 24巻4号

\*特集：帰してはいけない「こども」を見逃さないために

### ○JIM 24巻5号

\*特集：見える！わかる！できる！プライマリ・ケア手技/処置

### ○JIM 24巻6号

\*特集：「それは古い！」と言われたい 診療スタンダードUp to date



## 医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

### 複数の点眼剤投与時の注意点

薬局 4月号

緑内障の治療を受けている患者では、単剤で有効な眼圧下降が得られない場合、2種類以上の点眼剤を併用しなくてはならないが、その投与間隔や順番によって眼圧下降の結果に差が生じる。薬剤師は薬の性質と必要性を理解した上で、その効果が十分に期待できるよう点眼指導を行う事が求められる。添付文書に特別な記載がない場合は、先に使用した薬剤の洗い流し効果が生じない様、少なくとも5分間の間隔をあけるよう指導する。この5分間と言う数字は過去の報告に基づくものである。

複数の点眼剤を使用する順番であるが、全て水溶性の場合はさす順番に決まりはないとされている。点眼剤の性状によっては、順番を指導する必要がある、具体的には水溶性製剤、懸濁剤、ゲル化製剤、眼軟膏の順が推奨されている。特に、緑内障治療薬のゲル化製剤や粘性を高めて滞留性を向上させた緑内障治療薬の点眼剤(チモプトールXE、リズモンTG、ミケランLA等)においては投与間隔を10分以上あける必要がある。

京都府立医科大学視覚機能再生外科学  
成瀬 繁太

### 尿路結石予防のための適切な飲水量

日本医事新報 5月24日号

尿路結石の危険因子として尿量の低下が関与していることは明らかであり、尿量を増加させることは再発予防となる事が示されている。予防に有効な1日の尿量は2000mL以上、シスチン尿症では2500mL以上とされる。尿路結石の再発予防に有効な尿量と夜間多尿の原因となる尿量の間には重複がみられるため、予防のための水分摂取によって引き起こされる夜間頻尿は避けられない場合がある。水分摂取による夜間頻尿が考えられる場合は、目標尿量を2000mLにとどめ、就寝の2時間前からは水分摂取を控える様指導する。尿路結石に対して食事指導、治療、溶解療法が適切になされ、現時点で尿路結石を有していなければ、目標尿量を1500mL程度にしてもよい。ただし、結石形成の危険度が増加するため、1000mL以下にしてはならない。コーヒー、緑茶、紅茶はシュウ酸、炭酸飲料やソフトドリンクは高濃度のリン酸、アルコール類全般は利尿後の尿濃縮やリン酸、とくにビールはプリン体、シュウ酸といった結石形成因子を含んでいるため推奨されない。

亀田総合病院泌尿器科  
志賀 直樹

### 補中益気湯と漢方系サプリメント併用により早期に妊娠に至った精子無力症の2症例

産科と婦人科 5月号

男性不妊症にはこれまで様々な治療が試みられており、そのうちの約30%は漢方薬を中心とした補完代替療法であることが知られている。漢方薬としては、補中益気湯、牛車腎気丸、柴胡加竜牡蛎等が使われており、臨床成績として概括的には精子運動率の20~45%程度の増加が観察されている。

今回の2症例では、8週間の補中益気湯単独投与では精子プロフィールには大きな改善はみられなかったが、その後市販品の漢方サプリメントである牡蠣肉の酵素処理産物と高麗人参サポニンの複合製剤を併用したところ、8週後には運動精子数は3.3~13.7倍、直進精子数は4.0~15.6倍に増加し、併用投与の8~17週目に妊娠が成立した。これまで様々な方法により治療効果がなかった男性不妊症、特に精子無力症に対して、補中益気湯と漢方系サプリメントの併用治療は、精子プロフィールの向上に働き、妊娠率の向上が期待できると思われる。

大阪医科大学健康科学クリニック  
後山 尚久

### フルボキサミンマレイン酸塩の後発医薬品の簡易懸濁適正評価

治療 5月号

これまで簡易懸濁法の適否が不明であった6品目のフルボキサミンマレイン酸塩について検討した結果、フルボキサミンマレイン酸塩錠75mg「TVK」およびフルボキサミンマレイン酸塩錠75mg「A社」を除く4品目は、温湯中で10分以内に崩壊懸濁し、経管チューブを通過した。フルボキサミンマレイン酸塩錠75mg「TCK」およびフルボキサミンマレイン酸塩錠75mg「A社」については、錠剤のコーティングを破壊すれば、10分以内に崩壊懸濁し、経管チューブを通過した。規格違いではフルボキサミンマレイン酸塩錠25mgおよび50mg「TCK」には、崩壊剤カルメロースが含まれているものの、同75mg「TCK」には含まれていないため、崩壊性に差が生じたと思われる。また、フルボキサミンマレイン酸塩錠75mg「A社」は、他の規格に比べて粒子径が大きい為に、蒸留水の浸透が遅く、崩壊に時間を要したものと推察される。経管投与患者において処方変更により簡易懸濁法不適の医薬品に切り替わった場合には、先発および後発医薬品の簡易懸濁適応性の相違や留意点を念頭に置く必要がある。

横浜薬科大学  
比知屋 寛之



# 話題のビタミン・サプリメント(44)

## マテ茶



Key Word : マテ茶・カフェイン・飲むサラダ

世界の三大飲料一つに数えられるマテ茶。テレビCMや雑誌などで『飲むサラダ』として注目を集め、近年広がっています。今回はマテ茶を取り上げてみました！

マテ茶はモチノキ科のイレクス・パラグアイエシンス(通称マテの木)という常緑小高木の葉や茎を収穫して、乾燥したものです。原産地は南米アルゼンチン、パラグアイ、ブラジルの三国が接する国境付近のイグアス滝を中心とした周辺地域で、火山溶岩流が風化してできた赤土(テラロッサ)の土壌で、鉄分やカルシウムなどのミネラルを豊富に含み、湿潤な気候がマテの育成や栽培に適している。パラグアイのグアラニ族が活力を与える不思議な木として飲用を始めたことが起源とされ、ミネラル、特に鉄分とカルシウムが豊富で、ビタミンAとB多く含んでいる。また、葉緑素も豊富に含むことから通称南米の「飲むサラダ」と言われている。マテ茶には、マテ茶特有の成分「マテイン」(テオフィリンとテオブロミンの混合物)というアルカロイドが多く含まれており、利尿効果、血行促進に長けている。

アメリカの農水省が出したデータによると、アルゼンチン人の人の牛肉の年間消費量は65kgもあり、アメリカ人を遥かに上回っている。しかし、肥満率のデータを見るBMI指標は、アメリカは65%であるのに対してアルゼンチンは36%となっており、とても低い。これはアルゼンチン人は日常からマテ茶を飲んでいいるからではないかと言われている。

現在飲まれているマテ茶は、収穫後乾燥・粉砕し熟成させたタイプの『グリーン・マテ茶』とグリーン・マテ茶をさらに焙煎したもの『ロースト・マテ茶』がある。飲み方としては、ポットに入れて飲むコシード式と、ひょうたん状の容器にポンベージャと呼ばれるストローを使用するユニークで伝統的なシマロン式がある。

……参考文献……

1. 「マテ」: 機能性食品素材便覧, 薬事日報社
2. 「マテ」: 健康食品・サプリメントのすべて
3. 日本マテ茶協会: <http://www.matecha-kyokai.jp/>

### 【相互作用】

- カフェインを含むため、抗凝血薬、抗痛風薬、抗生物質、交感神経刺激薬、抗不安薬、アスピリンなどの医薬品との併用は避けたほうがよい。
- グレープフルーツジュースとの同時摂取は、カフェイン濃度を上げることがある。
- アルコールとともに摂取すると、イライラ感や頭痛、心拍数の増加など、カフェインの副作用が強く現れる恐れがある。

### 【安全性】

適切に短期間の使用なら、ほとんどの人に安全が示唆されている。カフェインが含まれており、過量摂取また長期使用で好ましくない作用が予想される。妊婦、授乳婦、小児の摂取は避けたほうがよい。

### 【成分比較】

	マテ茶	ウーロン茶	杜仲茶
カルシウム	17.1mg	0.6mg	2.2mg
マグネシウム	13.0mg	1.09mg	0.59mg
亜鉛	0.82ppm	0.26ppm	0
鉄分	0.59mg	0.03mg	0.02mg
食物繊維	0.90%	0	0

# Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

## 【日薬幹旋図書】薬事衛生六法 2014

【発行】薬事日報 【発行日】2014年4月

【版型/頁】B5判変形/1300頁 【定価】5,076円(税込) 【会員価格】4,600円(税込)  
薬局、店舗販売業、卸売販売業、医薬品・医療機器メーカー等の従事者が理解しておかなければならない薬事法及び関係政省令、告示を中心に劇薬・麻薬・医療保険・保健医療などの関係法令を幅広く収録【内容は平成26年2月21日現在】

## 【日薬幹旋図書】やさしい臨床医学テキスト 第3版

【編集】星 恵子 【発行】薬事日報社 【発行日】2014年4月

【版型/頁】B5判/500頁 【定価】4,860円(税込) 【会員価格】4,350円(税込)

- 疾患別に概念、病院・病態、主な症状、所見、臨床検査、治療についての基礎知識や役立つ情報を最新の医療に沿って臨床現場で活躍中の専門医師がわかりやすく解説。
- 薬物治療には、最新治療薬の薬理作用や機序、副作用の情報を盛り込み内容を充実。
- 新たに「緩和ケアと長期医療」の章を追加。
- 薬学教育モデルコアカリキュラムに対応し、薬科大学のテキストに多数採用。

## 【日薬幹旋図書】平成26年度 保険調剤 Q&A

【発行】じほう 【発行日】2014年6月

【版型/頁】A5判/300頁 【定価】2,592円(税込) 【会員価格】2,210円(税込)

平成26年度調剤報酬改定に対応し、薬剤服用管理指導料や分割調剤、在宅での薬剤管理指導業務、無菌製剤処理加算などのテーマを取り上げている。気を付けなければならないポイントがひと目で確認できる。

## 【日薬幹旋図書】平成26年度 保険薬局 Q&A

【発行】じほう 【発行日】2014年6月

【版型/頁】A5判/180頁 【定価】2,268円(税込) 【会員価格】1,900円(税込)

処方箋受付、疑義照会、麻薬の取扱い、後発医薬品や訪問薬剤管理指導など、薬局業務を行う上で、知っておかなければならない100を超えるポイントをQ&A形式にまとめた。注意すべき点がひと目で確認できる。

## 第十六改正 日本薬局方 第二追補

【発行】じほう 【発行日】2014年4月

【版型/頁】B5判/420頁 【定価】9,180円(税込)

「第十六改正日本薬局方」(厚生労働省告示第65号、平成23年3月24日)、「第十六改正日本薬局方 第一追補」(厚生労働省告示第519号、平成24年9月27日)の一部改正として、平成26年2月28日に告示された「第十六改正日本薬局方 第二追補」を反映し、オリジナルの資料や索引など掲載。



# Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

三輪弁護士がわかりやすく教える

## これからの薬剤師行と法律

【著者】三輪 亮寿 【発行】じほう 【発行日】2014年3月

【版型/頁】A5判/123頁 【定価】1,944円(税込)

過去の薬害事件やフィジカルアセスメントをめぐる経緯などを振り返り、関係する法律の条文や解釈、過去の判例など法的な留意点を交えながら、対話形式で「新時代を迎える薬剤師」が持つべき心構えについてわかりやすく解説。

## 薬局・薬剤師のためのトラブル相談 Q&A47

【編著】赤羽根 秀宜 【発行】じほう 【発行日】2014年4月

【版型/頁】A5判/184頁 【定価】2,592円(税込)

調剤過誤発生時に薬剤師が負うべき責任から、「医師が疑義照会に応じてくれなかった」、「患者が情報収集に応じてくれなかった」といったケースでの責任の所在、OTC医薬品販売を巡るトラブル、患者との金銭トラブルや悪質なクレームへの対処法など、薬局に勤務するうえで気になるQ&Aも満載。

## 実践 処方例とその解説 第2版

【監修】林哲也/荒川行生/田中一彦 【発行】じほう 【発行日】2014年4月

【版型/頁】B5判/412頁 【定価】5,400円(税込)

「薬理学」、「薬剤学」、「生物薬剤学」などで学んだ基礎知識を駆使して、処方意図・患者の病態を理解するための処方例集。第2版では処方例を見直し、診療科ごとに全59処方例の読み方・考え方を解説。

## わかりやすいCKD・透析テキスト

【監修】藤田 芳郎 【発行】じほう 【発行日】2014年4月

【版型/頁】B5判/106頁 【定価】1,944円(税込)

腎臓の働きや検査値、合併症など病態と診断への理解、血液透析など腎代替療法や薬物療法、食事療法といった治療法への理解が深められるよう、多数のイラストを用いて読みやすく・わかりやすく解説。

## つまずくポイントと対策がわかる 病棟薬剤業務ハンドブック

【発行】じほう 【発行日】2014年6月

【版型/頁】A5判/150頁 【定価】2,592円(税込)

病棟薬剤業務の改善点を洗い出し、業務の質と効率を上げるために必要な対策について、具体的な事例・文書を多数紹介しながらわかりやすく解説。

## 最新 毒物 劇物 取扱の手引

【発行】時事通信社 【版型/頁】A5判/1440頁 【定価】6,264円(税込)

毒物劇物取扱の基礎知識から中毒時の治療法、廃棄法、個々の毒物劇物についての説明などを丁寧に解説。平成22・23年度各都道府県の毒物劇物取扱者試験&解答を満載。



## 薬事情報センターの利用のしかた

### ○業務内容

(1) 医薬品情報の提供 (2) 「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3) 医薬品に関するお問い合わせ (4) 県薬ホームページの制作・管理 (5) 消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6) 医薬品 PL センター窓口業務 (7) ドーピング防止ホットライン業務

### ○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

**※おくすり相談室・ドーピング防止ホットラインの電話は 098-963-8935 になります。  
お気軽にご利用ください。**

### ○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の間覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

\* \* 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) \* \*

#### ●適応外使用のバクロフェン (HDB) によって誘発された重度の耳鳴 (Ann. Pharmacother. 48(5)656- (2014.5))

アルコール使用障害の治療に対する 400mg/日までの高用量暴露 FEN (HDB) (GABA-B 受容体アゴニスト)の適応外使用が増加しているが、高用量 HDB の有効性と安全性は知られていない。AUD に対し HDB で治療した患者における耳鳴の 2 症例を報告する。【症例 1】患者(男,60 歳)は、15 年間にわたるアルコール依存症で受診。HDB を導入し、1 週間ごとに 15mg/日ずつ漸増して、3 ヶ月後に 150mg/日となり、飲酒量は有意に減少した。180mg/日になった時、患者は持続性の耳鳴(Visual Analog Scale [VAS] で 6/10)を訴えた。患者の希望で、250mg/日に達し、禁酒を続けていた。耳鳴は 7/10。その後 baclofen 用量を漸減し、90mg/日 10 ヶ月時点で耳鳴は完全に消失。【症例 2】患者(女,45 歳)は、6 年間にわたるアルコール依存症で受診した。baclofen を導入し、4 ヶ月後に 210mg/日に達した時点で、患者はわずかな耳鳴(VAS で 2/10)を訴えた。5 ヶ月時点で 240mg/日時、耳鳴は 8/10 となり、不眠症も訴えた。baclofen を減量し、6 ヶ月時点の 170mg/日、耳鳴は依然としてみとめられ、飲酒量は再び増えた。10 ヶ月時点の 240mg/日、耳鳴は 9/10 となり、頭痛および重度の悪心を生じた。同用量を 2 ヶ月間継続して同様な有害反応の訴えがあり、その後 baclofen を 60mg/日まで漸減して、耳鳴は次第に消失した。

#### ●母親および乳児におけるマクロライド系抗生物質の使用と乳児の肥厚性幽門狭窄 (IHPS) リスク:デンマークにおける全国規模のコホート研究 (BMJ (7950)14/(2014.3.22))

1996 年-2011 年にデンマークにおいて全国規模のコホート研究を行った。出生後 120 日までの単胎生産児 999378 例を対象に、マクロライド系抗生物質処方(母親の妊娠中の使用 30091 例、母親の出産後の使用 21557 例、乳児の使用 6591 例)、IHPS の外科手術および潜在的交絡因子に関する個体レベルの情報を調べた。その結果、乳児 880 例が IHPS を発症した(出生 1000 例あたり 0.9 例)。出生後 0-13 日にマクロライド系抗生物質を使用した乳児の IHPS 発症率は 29.8 例、14-120 日に使用した乳児では 3.24 例、それぞれの絶対リスク差は、マクロライド系抗生物質に曝露した乳児 1000 例あたり 24.4,0.65 であった。出産後 0-13 日にマクロライド系抗生物質を母親が使用した場合の率比は 3.49、14-120 日の使用では 0.70、絶対リスク差はそれぞれ 2.15、-0.11 であった。妊娠中に母親がマクロライド系抗生物質を使用した場合の率比は、0-27 週では 1.02、28 週-出産では 1.77、絶対リスク差はそれぞれ 0.01,0.67 であった。マクロライド系抗生物質による出生後間もない乳児の治療は、治療によるベネフィットがリスクを上回る可能性がある場合のみ投与されるべきである。出産後 2 週間以内の母親、妊娠後期の母親における使用も関連する可能性が認められた。

#### ●小児患者における片頭痛予防に対するトピラマート:文献検索に基づくレビュー (Ann. Pharmacother. 48(5)638- (2014.5))

小児における片頭痛(前兆あり/なし)のトピラマートによる予防治療の有効性と安全性を検討した。PubMed および Iowa Drug Information System を用いて文献検索を行った。8 文献(無作為化比較試験 3 件、サブグループ解析 1 件、観察研究 4 件)がレビュー対象となった。これらの文献では、トピラマートの投与により、頭痛の発生が 100mg/日で 63-100%、200mg/日で 65%減少し、治療に対する反応(頭痛発生の 50%以上の減少)も 83-95%の患者に認められた。トピラマートの忍容性は一般的に良好であり、有害作用は用量依存的で、錯覚、体重減少、認知機能に対する有害作用などが認められた。今後は QOL への影響や、片頭痛の重症度および持続期間に対する効果を検討する試験が必要である。

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ  
薬達ちゃーより

## あまくま<sup>やくだ</sup>薬立つ情報

### 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つよう取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電話 098-963-8930

### おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電話 098-963-8935

### 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934

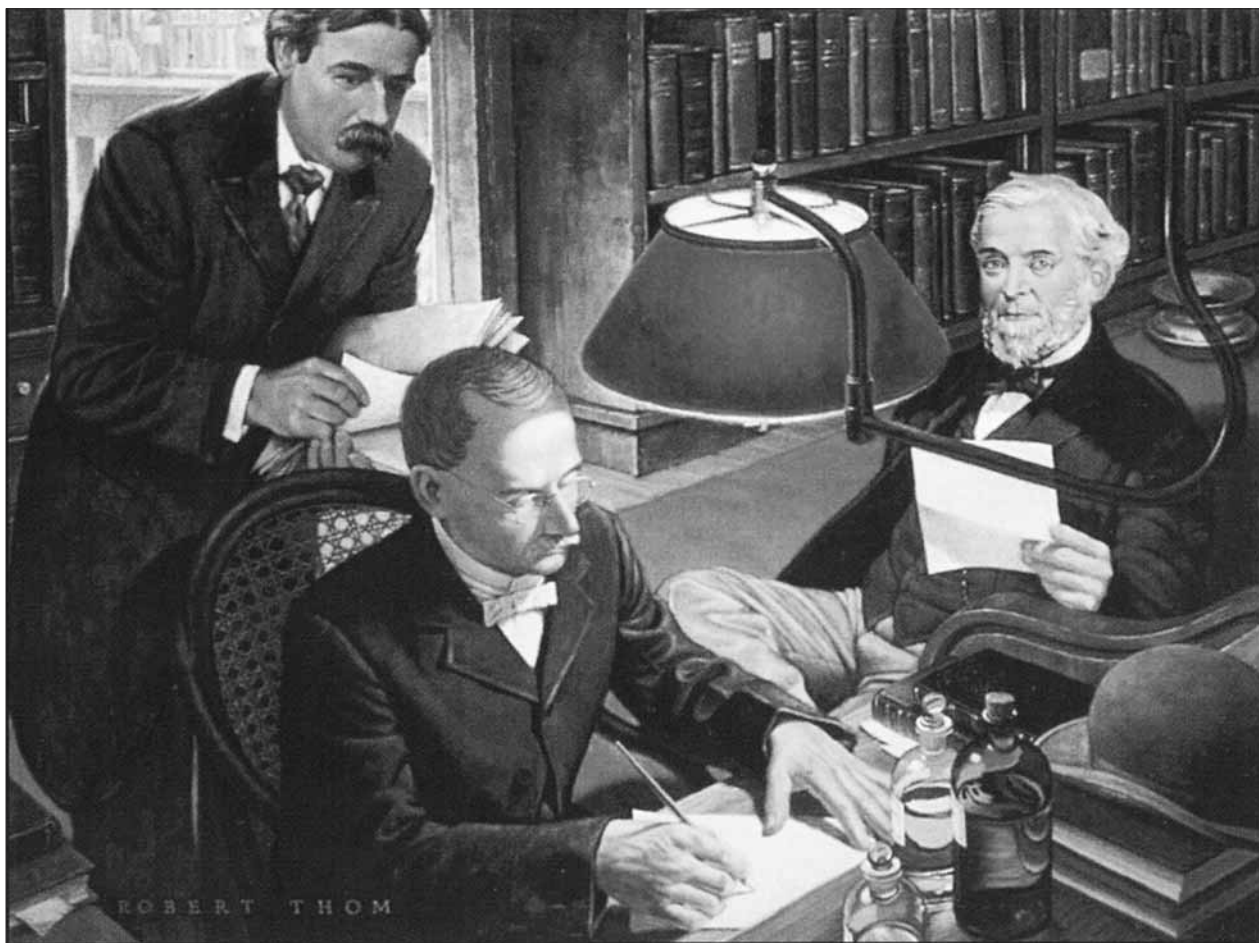
e-mail [siken@okiyaku.or.jp](mailto:siken@okiyaku.or.jp)

### 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ  
＜ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>＞





## GREAT MOMENTS IN PHARMACY

### 薬学の歴史

#### 31. 薬局方の成熟

最初の「米国薬局方」(1820年)は、医療専門家たちの労により制定されました。専門知識に基づく初めての薬剤規格の本であり、アメリカで受け入れられていきました。しかし、1877年、米国薬局方は医療専門家の関心が低かったため廃刊の危機に直面しました。薬剤製造業者であり医師でもあったエドワード R. スクイブ博士は、この問題を米国薬剤師会の会議で提起しました。薬剤師たちは、薬剤師兼教育者だったジョセフ P. レミントンと同委員会の無敵の協力者であったスクイブ博士の支援を得て、病院薬剤師のチャールズ・ライスを議長とする改正委員会を組織しました。そして米国薬局方の新たな重要性が増していったのです。

#### 31. THE PHARMACOPOEIA COMES OF AGE

The first "United States Pharmacopoeia" (1820) was the work of the medical profession. It was the first book of drug standards from a professional source to have achieved a nation's acceptance. In 1877, the "U.S.P." was in danger of dissolution due to the lack of interest of the medical profession. Dr. Edward R. Squibb, manufacturing pharmacist as well as physician, took the problem to The American Pharmaceutical Association convention. Pharmacists formed a "Committee on Revision" chaired by hospital pharmacist Charles Rice, assisted by pharmacist-educator Joseph P. Remington, and by Dr. Squibb, their indefatigable collaborator. The "U. S. Pharmacopoeia" surged to new importance.



## GREAT MOMENTS IN PHARMACY

### 薬学の歴史

#### 32. 医薬品の規格化

19世紀における薬剤師の専門性と高潔さにもかかわらず、同じ工程で調合された2つの植物薬が同一の効果を示すことはめったにありませんでした。植物薬は、活性アルカロイドやグルコシドの含有量に大きなばらつきがあったのです。パーク・デイビス社が1879年に規格化された「Liquor Ergotae Pulificatus」を導入したことで、初めてこの問題の答えが出されました。アルバート・ブラウン・ライアンズ博士は、同社の化学責任者としてアルカロイドの分析評価法をさらに開発しました。パークとデイビスは彼の研究成果を認め、1883年に20種類の規格化された「正常液体」リストを発表しました。また、パークとデイビスは、医薬品の薬理学的および生理学的基準の策定においても先駆的な役割を果たしました。

#### 32. THE STANDARDIZATION OF PHARMACEUTICALS

Despite the professional skill and integrity of 19th-century pharmacists, seldom did two preparations of vegetable drugs have the same strength, even though prepared by identical processes. Plant drugs varied widely in active alkaloidal and glucosidal content. The first answer to this problem came when Parke, Davis & Company introduced standardized "Liquor Ergotae Purificatus" in 1879. DL. Albert Brown Lyons, as the firm's Chief Chemist, further developed methods of alkaloidal assay. Messrs. Parke and Davis recognized the value of his work, and in 1883, announced a list of twenty standardized "normal liquids." Parke-Davis also pioneered in developing pharmacologic and physiologic standards for pharmaceuticals.



第15回 暮らしの中の薬草学  
身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

ぼたんぼうふう：長命草：サクナ

学名 Peucedanum japonicum  
科名 セリ科  
属名 カワラボウフウ属  
使用部位 葉、根  
有効成分 ビタミンA、C、カルシウム  
ルチン、クロロゲン酸  
イソサミジン、プテリキシン



ぼたんぼうふう（長命草・サクナ）の特徴

中国が原産地。沖縄では与那国に多く自生、栽培されている。海岸の断崖や珊瑚石灰岩の岩場など、厳しい自然条件の中で自生するセリ科カワラボウフウ属の常緑多年草。草丈は100cm程度で、牡丹のような形をした肉厚の葉をしており、7～9月に白の集合花を咲かせる。沖縄では「1株食べると1日長生きする」として「チョーミーグサ」とも呼ばれている。ほうれん草などの緑黄色野菜を上回る栄養素、ビタミンA・B<sub>2</sub>・B<sub>6</sub>・C・Eを含み、食物繊維、鉄、カルシウム、マグネシウムも含まれている。総ポリフェノール（ルチン・クロロゲン酸）含量が多く、動脈硬化の防止、ガンの発症、血中コレステロール、

血圧、血糖値の上昇抑制などの効用がよく知られ、抗菌、抗ウィルス、抗アレルギーなどの効果も認められている。また過活動膀胱改善作用のあるイソサミゾンや、抗肥満効果があるプテリキシンなどを含有する。

ぼたんぼうふう（長命草・サクナ）の歴史

江戸時代には根を薬用人参代わりに「御赦免人参」（ごしゃめんじんじん）として煎じて利用されていた。500年以上前から五穀豊穰や海上保安などの祭りで神様のお供え物として献上されたり、出産後10日の命名日にも長命草が振舞われたと言う。また、民間療法では、内臓器官に良い効果があるとされ、セキや喘息、肝臓病、腎臓病、神経痛などに利用されてきた。最近では粉末にして菓子や飲料として幅広い加工品になって製品化されている。

ぼたんぼうふう（長命草・サクナ）の食べ方

独特のほろ苦さと香りがあり、山羊汁や魚汁に入れると臭み消しになる。細かく刻んで刺身のつまにすると、サクナのさっぱりした味が良い薬味となり、毒消しの作用もある。千切りにしてジュージーにしたり、肉と一緒に煮込んだり、葉や茎を細かく刻んで白和えにしたり、柔らかい若芽をてんぷらにしたりする。

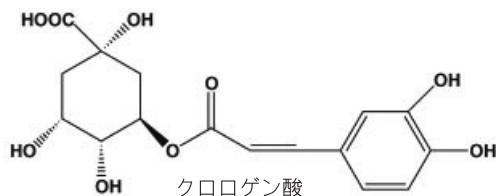
参考 沖縄食材図鑑、大学ベンチャー企業の健康食品 沖縄野菜の本、わかさの秘密、Wikipedia

栄養成分(アセロラ生100g当たり) 五訂日本食品標準成分表より

エネルギー	蛋白質	炭水化物	脂質	カリウム	マグネシウム	リン
58 kcal	1.7 g	10.5 g	1.0 g	624 mg	24.7 mg	85.7 mg
葉酸	カロテン	カルシウム	ビタミンB <sub>1</sub>	ビタミンB <sub>2</sub>	ビタミンC	食物繊維
14 μg	2530 μg	341 mg	0.07 mg	0.13 mg	47 mg	7.1 g

### ぼたんぼうふうの強い抗酸化作用

酸化抑制活性が期待されるいろいろな沖縄産香辛植物（8種）の葉を採取し、溶媒による抽出・分配を行い、低極性区分と極性区分を得た。これらの区分についてリノール酸の自動酸化抑制活性及びフリーラジカル捕捉活性を測定した結果、ボタンボウフウの極性区分に強い活性が認められ、酸化抑制成分32種の化合物を単離した。単離化合物についてカイネティック分析によるDPPH捕捉活性及びリポソーム膜酸化誘導抑制活性を測定した結果、フラボノイドやクロロゲン酸関連化合物に強い活性が認められ、これらの化合物がボタンボウフウの強い酸化抑制活性に関与していることが示唆された。

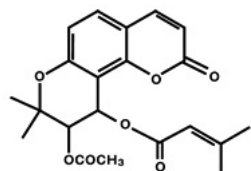


クロロゲン酸類は、 $\alpha$ グルコシターゼ阻害薬と同様の作用機序で、糖質分解酵素であるマルターゼ、スクラーゼおよび $\alpha$ -アミラーゼに対して濃度依存的に酵素活性を阻害する効果を示し、動物実験でも炭水化物の投与に対し、血糖値の上昇を有意に抑制した。またクロロゲン酸類は、膵リパーゼ活性を阻害する作用によって脂肪分解・吸収抑制効果を発揮することが示唆された。

参考 久本雅嗣 学位(博士)論文、栄養・生化学辞典、UCC上島珈琲 R&Dセンター

### 血管拡張作用：イソサミジン

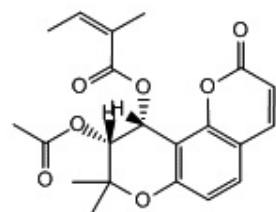
あらかじめ収縮させたラットの動脈標本に、屋久島原産ボタンボウフウの抽出物を作用させたときの血管弛緩率を測定した。その結果、ボタンボウフウのエタノール抽出物が強い血管拡張作用を示すことが明らかになった。活性成分を単離して構造を解析したところ、ボタンボウフウに豊富に含まれるクマリン化合物



のイソサミジンであることがわかった。また血管内皮細胞を除去した動脈標本を用いた実験、一酸化窒素合成酵素阻害剤であるN-ニトロアルギニンメチルエステル(L-NAME)を作用させた実験などから、イソサミジンは内皮細胞から放出される一酸化窒素(NO)を介して血管を拡張させると考えられた。さらにイソサミジンが過剰に収縮した膀胱や前立腺の平滑筋を弛緩させることが明らかになった。ボタンボウフウ由来イソサミジンの排尿障害改善作用を、静岡県立大学との共同研究により評価したところ、排尿量が増え、排尿回数が減少し、排尿間隔が延長することが分かった。 参考 TAKARAバイオ株式会社

### 抗肥満作用：プテリキシン

ラットの餌にボタンボウフウを混ぜると体重が減ることを確認。その後ボタンボウフウの抽出物を分離・精製



し取り出した成分が、生物の脂肪細胞や肝臓細胞、筋肉細胞にどう反応するか調べた。さらに抗肥満効果が高い成分を選んで分離・精製し、細胞への反応を調べ、最終的に化合物の一種プテリキシンが、中性脂肪の合成を抑制する原因物質であることを突き止めた。プテリキシンは脂肪細胞や肝臓細胞での中性脂肪の合成を抑制する一方、筋肉細胞においては脂肪の燃焼を促進して、体脂肪の蓄積を抑制する。ボタンボウフウには抗肥満成分として喧伝されているクロロゲン酸も含まれているが、プテリキシンの抗肥満作用はクロロゲン酸よりも強いことも明らかになった。また、ボタンボウフウに含まれるこれらの成分濃度には地域差が認められ、緯度が低いほど、南の地域で生産されるものほど、その濃度が高いことも示唆されている。従って、沖縄は肥満効果をもつボタンボウフウを栽培するのに国内では最も適しているとも考えられる。

参考 琉球大学熱帯生物圏研究センター屋宏典教授らのグループ、日本化学物質辞書

三郎 & いさ吉 の弥次喜多道中！(医療機関・施設訪問)

医療法人  
卯の会 **新垣病院**



沖縄県沖縄市に位置する新垣病院（総病床数273床）は、最良の医療と療養環境の提供、および早期の社会参加を目指した4つのテーマ（医療、リハビリテーション、地域移行、および地域支援）を柱とした医療ネットワークを構築し、日々の治療活動を行っています。昭和45年の開設以来、精神科の専門病院として、救急から療養病棟、デイ・ナイトケア、訪問看護、就労支援事業、自立支援事業などを行い、また地域との連携を強化する取り組みも行われています。その他にも治験審査委員会の設置と治験の実施、経済連携協定（EPA）による県内初のフィリピン人看護師を誕生させるなど幅広い活動を展開しています。

薬局の入口は大きな木の扉できており、どことなく温かなやさしい雰囲気を出迎えてくれます。15坪ほどの小さな薬局では、比嘉佳穂子薬局長を含め薬剤師2名、助手3名（すべて女性スタッフ）で多くの薬局業務をこなしています。薬局内は、明るく清潔感があり、細かいところまで整理・整頓が行き届いています。外来患者さんはすべて院外処方箋になっているものの、入院処方箋（定期薬・臨時頓服薬）約1400枚／月、注射処方箋約200枚／月を応需しています。調剤業務以外では、入院持参薬管理、薬剤管理指導業務（服薬指導）、病棟回診への参加、薬事委員会をはじめとした各種委員会への参加、および入院患者さん（及びその家族）を対象とした服薬教室（毎週開催）、などの業務を行っています。また助手さんが中心となり、医薬品集や添付文書などを参考にしながら院内医薬品集を作成し、医師、研修医、各部署へ配布しています。院内医薬品集はA4サイズとポケット版との2パターンを作成しています。医薬品集の作成にはかなりの時間がかかるそうです。しかし、女性らしい可愛いデザインもあいまって、大好評であることから毎年作成せざるを得ない、とのことでした。



壁の一部を有効活用した、病棟ごとに処方箋をわけると手作りフォルダー



大好評の院内採用薬品集は、毎年改定されています！  
左が比嘉佳穂子薬局長。比嘉薬局長は、病棟の精神科分科会で世話役としても活動されており、精神科医療に携わる薬剤師のレベルアップのために活動されています。



現在、心療内科や精神科の領域では、「単剤化」という言葉がキーワードになっています。比嘉佳穂子先生は、沖縄県内では唯一の精神科薬物療法認定薬剤師の資格を持つ薬剤師です（平成26年8月現在）。このため新垣病院では、薬局が中心となり、数年前より「単剤化」に向けた取り組みを進めてきました。現在では約70%の「単剤化」を維持しています。2013年度の「精神科臨床薬学研究会による全国処方調査」によると、抗精神病薬の単剤化率は37%であり、新垣病院の単剤化達成率は非常に高い数字であることがわかります。また精神科領域で汎用される薬剤には、薬物血中濃度モニタリング（therapeutic drug monitoring、以下、TDM）が必要な薬剤も多くありますが、院内ではTDMの解析を行っていないのが現状です。ただし回診に参加する際には全ての患者カルテの確認を行い、必要に応じて主治医へ外注での血中濃度測定を依頼することで、処方の再検討を促しています。平成20年に電子カルテが導入されたので、薬局に居ながらカルテ確認ができるので楽になったそうです。

精神科病院に特徴的だと感じたことの1つに服薬指導がありました。私がこれまで行ってきた服薬指導とは異なり、はじめに指導を行う自分（薬剤師）に関心や興味を持ってもらうことが重要になるようです。その関係ができなければ、お薬の話は聞いてもらえないとのことでした。また病棟で患者さんと話すときには、「苦しい気持ちは楽になりましたか？」など声をかけ、精神症状についても聞きます。そうすることで患者さんの心の変化を一緒に感じ、治療の過程を実感することができるそうです。自分の思いを口にできない患者さんの場合では、妄想に深入りさせないように注意しながら、ゆっくり傾聴し、主治医には相談できないことを薬剤師として聞き出したい、と考えているそうです。

今回の取材中、比嘉佳穂子先生のお人柄の良さを強く感じました。これだけの薬局業務



薬局スタッフと記念撮影（薬局窓口にて）



病棟での配薬ミスを無くすために、患者さんの用法ごとに全ての薬剤をホッチギスでまとめてから病棟へ交付している



薬品棚もD I 室の書籍も全てきれいに普段から整理されているを少ないスタッフでこなしているにも関わらず、全く忙しさを感じさせないのです。その様子から、比嘉佳穂子先生は、懐が深く、かつ仕事へのやりがいを持っているなど思いました。また、比嘉佳穂子先生は、苗字は沖縄圏ですが、いわゆるナイチャー嫁です。お肌がすごく綺麗で見とれてしまいました♪先生、お忙しいところ快く取材を引き受けてくださりましてありがとうございました。

（聞き手：広報委員会 砂川智子（三郎））



# はいさい! はい

薬局訪問

VOL. 42

沖縄県薬剤師会

会営薬局医療センター前

～様々な薬剤師が集う交友の場～

## 薬剤師会館にある薬局

2009年3月にオープンし、沖縄県薬剤師会会営薬局としては3番目にあたる薬局で、最も新しい薬局である。今年の4月で5周年を迎え、夜間休日に対応した薬局として会員にも慣れ親しんでいることと思う。

立ち上げ当初の薬局長であった新城光枝氏から、二代目として城間盛光氏が現在の薬局長として現場を見ており、常勤の事務職員1名、非常勤で1名、他に輪番薬剤師という体制になっている。開局時間は、平日が19時～24時、土日・祝祭日が9時～24時の勤務体制だが、実際は平日の午後から発注などの業務は行われている。現在は、目の前にある沖縄県立南部医療センターこども医療センターからの救急の処方箋を筆頭に、他に10施設ほどから処方せんを受けており、常時約700品目、OTCとして26品目ほどの在庫を常備している。

開局に携わった新城氏と現在薬局を取り仕切っている城間薬局長にお話を伺った。

会営薬局として3番目となる薬局だが、その開局は決して楽なものではなかったという。実際の開局の2年前から準備を始め、薬剤師会でも委員会を立ち上げ、複数回の議論を重ねてきた。夜間救急を主として受け入れるため、開局時間の選定を行い、病院の外来の集中時間を精査。また、宮崎県など他県の夜間救急対応薬局の視察も行い、本薬局を立ち上げるに至った。設置機材の選定についてもアフターサービスを最優先としメーカーを選定。県内で初となる全自動水剤分注機の設置も行った。これは輪番制を取っているため、どの薬剤師が調剤をしても同様の結果が得られるよ

うにと考えたもので、夜間救急では薬剤師人数が少ないこともあり、どうしても監査等での心配を無くすため、機械化を進め、安全管理を図ったものである。

このようにして、二重三重の安全策をとった上でのオープンとなったが、開局時は4月のばたつく時期で、更に5月のゴールデンウィークも重なり、200人近い患者さんの来局で大変であった。また、2年目には、インフルエンザのパンデミックが起こる事態も発生。その際は、応援に来ていた病院薬剤師の先生方の協力により、無事に乗り切ることができた。(病院薬剤師ならドクターの処方箋の癖などもわかっているため、疑義照会の手間もだいぶ減り、助かったとのこと。)

医療事務の當山直樹氏にも話を伺った。

「最も大変なことは、新しい人に機材操作を教えること。教えるより、慣れている自分が行った方が早いため、つい手が出てしまうが、新城薬局長のもとでは、そこをこらえて人を育てることを学んだ。」そんな當山氏も今はすっかりベテランの域に達しており、彼を目当てにやってくる患者さんもいたとのこと。



終始賑やかな取材でした!

左より、新城光枝氏、城間盛光氏、當山直樹氏

## 研修、実践、交流の場

薬局の立地が県立病院の門前である特性上、流行がわかる薬局でもあり、今年の流行であった腸炎もいち早く察知していたようだ。また、県立病院の門前の特色として、色々な人がやってくる事が挙げられる。昨年の「世界のうちな一んちゅ大会」では、急病となった海外の患者さんが来局したが、日本語はもちろん英語も通じず、全身のジェスチャーで服薬指導を行うようなこともあったとのこと。(新城氏も城間氏も英会話ができる。羨ましい…)

夜間救急の対応を主とし無休の薬局であるため、薬局長以外を輪番対応とし、色々な薬剤師が登録されているが、他薬局の管理薬剤師が勤務することができるという特性を持つ。管理薬剤師は基本的に他薬局の業務に就けないが、地域医療への貢献という観点により県が認め、夜間救急における輪番調剤業務に従事する特別の許可がおりたのである。そのため、一人薬剤師で日々一人での調剤業務に不安を感じている管理薬剤師も、他の薬剤師との関わりを持つことが可能となっている。この輪番体制は、多い時には80人余りの薬剤師の登録がされていたこともあったが、研修などが主だった場合もあり、現在は約20～40人前後の薬剤師が登録されている。老若男女を問わずといった状態で、色々な薬剤師が新しい人脈や経験を積むためを目的としてやってくるので情報交換の場にもなっている。実際に勤務するのは、数回の研修の後となるが、目の前にある県立病院は研修医も多く、力価計算、用量計算などが、しばしば間違えてくることもあり、薬剤師としての腕が試される場でもある。こういった際の疑義照会は、「ドクターから感謝されることもあり、やりがいがあります」とのこと。他に、簡易的な解熱剤などの処方が多く、素早く調剤ができることが多いため、受け取りに来た患者さんからも喜ばれることが多いようだ。



平日も夜間営業をしている会営薬局医療センター前



医療事務もフレッシュなメンバーで頑張っています！  
左より、長嶺勇作さん、玉城恵美子さん、稲嶺有紀さん

## 薬局のこれから

主に夜間救急の処方せんを取り扱っている性質上、どうしても採算が取れていないことが難点となっている。夜間の点数は高いとはいえ、外来人数に対しての経費高は補いきれない。しかし、地域への貢献という意味でも、医療の担い手としての立場からも、本薬局の必要性は明らかではないだろうか。薬局の性質上、処方箋を増やすことが難しいが、そんな中でも面での処方を持ってくる方もいる。「在庫の無い薬剤を処方されることも多いが、そのような場合でも郵送ではなく、直接に患者さんへ手渡すことまでしている」と、城間薬局長。取材中も、方言の混じったジョークで場を和ませてくれる。城間薬局長の性格が、患者さんだけでなく若手薬剤師や事務職員を惹きつけていると感じた。

(聞き手：広報委員会 伊敷 松太郎)





## 地ビール(クラフトビール)を飲んでみませんか？



すこやか薬局 北谷店 田崎 仁

「キリンビール大学」レポートによると2012年の世界のビールの消費量は約1億8,737万k1(東京ドームをジョッキに見立てると、約151杯分)。世界最大の消費国は24.1%を占める中国が10年連続1位だったのに対し、日本は世界7位(消費量3.0%)、一人あたりのビール消費量は世界40位であった<sup>1)</sup>。近年、宴会の席ではビールで乾杯という習慣から考えると消費量が少なく感じる。しかし、その宴会の席では「とりあえずビール派」が存在し2~3杯目から他のお酒を飲むことが多いことから考えると40位も納得できる。

さて、お酒を飲みに行く機会などに「ビールは好きですか？」と問うと好きか嫌いの返答で、ビール好きであったとしても「仕事の後の1杯」や「常夏のビーチで」など飲むロケーションの話にはなるが、味わいや銘柄の方向では会話が広がらない。しかし、同じお酒でも「ワイン」の場合は赤・白、甘口・辛口どちらが好きや、フランス、イタリア、チリなど生産地、さらにはカベルネ・ソービニオン、メルロー、シャブリなどブドウの原種までも話が進むことも少なくない。

日本では5大ビールメーカー(キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン)が「ラガータイプ」のビールを中心に造っており、「のどごし論」を展開し日本において「ごくごく飲むお酒」として大きな評価をうけている。しかし、そのビールが嫌いな人の理由の大半は「苦い」からであり<sup>2)</sup>、そこへ「爽快なのどごし」と言ったところで、苦いものを美味いと感じるようになるとは考え難い。

ビールの主原料は麦芽、ポップ、酵母、水であり、世界にはその種類や製法の違いにより100種類以上のビールがあるとされている。代表的なものを表1に示す。

製法は大きく2つに分類され上面発酵(エール):約20℃、下面発酵(ラガー):約5℃と発酵させる温度に違いがある。ドイツではぬるいビールを飲むので不味いと言われることがあるが、一般的にエールは冷やしすぎない(12℃前後)方が味に深みが出て美味しい。つまり、日本のラガーを冷さずに飲むと不味いことと混同し話されていると考えられる。

表1

上面発酵 (エール)	下面発酵 (ラガー)
ペールエール (ペールは淡いの意)	ヨーロピアンライトラガー (日本のビールはホボこれ)
ポーター (ロースト麦芽を使った黒)	ピルスナー (チェコのピルゼン発祥のスッキリ苦いビア)
スタウト (有名なのはギネス)	メルツェン (ドイツのビアフェスビア)
ヴァイツェン (小麦ビール)	シュヴァルツ (ドイツ語で黒の意)
アルト (黒褐色をしたエール)	ボック (重厚な麦芽風味ラガー)
ケルシュ (金色をしたエール)	ラオホ (ドイツ語で煙の意)



## ＜ドイツのエール：アルトとケルシュ＞

アルト：正式には「デュッセルドルファー・アルトビア」という。見た目の色合いに相応しく麦芽からもたらせるトースト香（軽く焦がした香り）が特徴<sup>3)</sup>

ケルシュ：「ケルンのビール」を意味する。色はゴールド。ポップ香もモルト香も弱く、白ワインを彷彿させるフルーツ香を持つ<sup>3)</sup>

デュッセルドルフとケルンは車で約40分の隣接した都市であるが、お互い激しい対抗心があり、ケルンで「アルト」をデュッセルドルフで「ケルシュ」を頼むことはタブーとされている。デュッセルドルフに住む知人は「デュッセルドルフには道路標識にもケルンと書いた看板はない」とシュールなジョークを常にいっている。この対抗心が故に地元ではライバル関係にある「アルト」と「ケルシュ」だが製

法が似ているので、日本の地ビールの造り手が2種類を同じ酒造所で造ることが多いのは面白い。

日本では、5大ビールメーカーとは別に全国各地で地ビールの造り手が増えてきている。最近、長野県にあるエールビールの醸造所「よなよなの里」がテレビでCMを流し、イチ押し銘柄である「よなよなエール」が沖縄のコンビニエンスストアに並んでいることもあり、エールビールを気楽に楽しめる環境が整いつつあると感じる。沖縄でも南城市にある南都酒造所がニヘデビール<sup>\*</sup>として上述した「アルト」と「ケルシュ」を造っている。もちろん、ボトルで販売されているが沖縄県ではドラフト（生）で飲めるお店も多くある。機会があればビールが苦手と思っている方も「アルト」や「ケルシュ」をオーダーしドイツ気分を味わってみるのは如何でしょうか？最後に、私はアルト派です。



銘柄によって黄～金色、赤～濃褐色、黒色と違いがある 画像提供：craft beer pub Beer Rize



※沖縄の言葉で「にふえ〜で〜びる＝ありがとうございます」に由来する

## 引用

- 1) KIRINホームページ <http://www.kirin.co.jp/>
- 2) M1・F1総研 Topic Vol.22 July/2009
- 3) 角謙二：ビールの基本. 榎出版社：22-23

**次号には、福島裕貴 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！**

## 卒煙物語 その47

### 「旧盆の後に」

文：卒煙へようこそ担当  
えんこ

時代はどんどん進んでいます。  
どうしてこんな時代になったのか、  
それなりの理由があります。  
「卒煙」を知らないではすみません。  
さあ、一緒に取り組みましょう！



私の周りには、兄弟親戚友人知人含め何人かの喫煙者がいます。彼らは、私が禁煙に関わっていることを恐らく知っています。私から言わせれば喫煙の行為を除いて、彼らはいたって普通です。むしろいわゆる良い人に分類される人たちのような気がしています。

学校で防煙授業をする際、子供たちの親である喫煙者への思いを考慮して、「喫煙者は悪者ではありません、タバコが悪いのです。依存という病気になっていることが多いので、病院・薬局に行って相談をすることができます」と聞いたと、子供たちから愛のアクションをかけることを勧めています。

今さらですが、当の大人が周りの喫煙者に禁煙の話を持ち出すのはなかなかできません。相手が、いわゆる良い人だからでしょうか。タバコの悪さは、数年、数十年とたたないと実感できないものです。すぐわかる臭い汚いは、無視できる範囲なのが厄介です。

ばったり会った親戚の兄さんは、すぐ目の前の自動販売機で「悪いね」と言ってタバコを買います。「お客さんが来たらまず、灰皿を準備するのが、常識でしょ」といってしまう同級生である友人は「酒癖悪いようだけど、あの子はどうしているかね」と同級生を心配する心優し

い一面を持っています。

ある日、ある親戚のお兄さんが、「僕も禁煙したいさ」と言ってきました。最近、急によぼよぼとして杖なしでは歩けない状態になっていました。親戚が家に集まっているところで、口を窄めて、震える手で火をつけて、口元にタバコをもっていくまでの時間が長くスムーズでなくなっていました。そんな兄さんが自ら私の携帯に電話をしてきたのです。私の禁煙活動が喫煙者に届くのは遅いけれど、確実に届くのだなと思いました。成果に長い年月がかかるにしても、無駄でなかったのでしょうか。実際に禁煙治療に入るのは、まだまだ時間がかかりそうですが、一段階進んだ手応えはします。電話をもらってもう半年になりましたが、今月やっと薬局に来てくれるようです。まずは、どんな話をしよう。ずっと喫煙してきている姿は見てきましたから、今更依存度を確認する必要はないでしょう。定期薬を飲んでしていると聞いています。相互作用の面からチャンピックスの処方をしてもらった方がいいかニコチンパッチの適応か、話を進めていきましょう。

旧盆が過ぎて禁煙に踏み切る機会になったのは、ウヤファーフジ（祖先）たちも禁煙を進めているかもしれません。時代は進んでいますね。

卒煙者の経験談を募集しています。皆様の声が大きな励みとなることでしょう。  
下記までお寄せ下さい。

e-mail [kouhou@okiyaku.or.jp](mailto:kouhou@okiyaku.or.jp)

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10

TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932

薬事情報センター内 卒煙へようこそ担当 えんこ 行き



## 日薬通達

厚生労働省医薬食品局総務課及び監視指導・麻薬対策課から日本薬剤師会へ、「医薬品の販売業等に関するQ&Aについて（その3）」の通知があり、当会へは日本薬剤師会より、同タイトルにて（平成26年7月16日付け日薬業発第115号）下記のとおり連絡がありましたのでお知らせいたします。薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律等の施行等について、追加のQ&Aが示されました。なお、同資料につきましては、厚生労働省のホームページからも入手ができることを申し添えます。

### 厚生労働省ホームページ

厚生労働省トップページ>政策について>分野別の政策一覧>健康・医療>医薬品・医療機器>一般用医薬品販売制度>薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/ippanyou/131218-1.html>

### 医薬品の販売業等に関するQ&Aについて（その3）

（問）インターネットを利用して特定販売を行うことについて広告を行う場合は、ホームページに薬事法施行規則別表第1の2及び第1の3に掲げる情報を見やすく表示しなければならないとされているが、例えば、表示すべき事項をまとめたホームページ（B）を別に設け、特定販売を行うことについて広告しているホームページ（A）から、Bにリンクを張ることでよいか。

（答）①Aの上部や店舗の名称を表示している場所の付近など、購入者が見つけやすい場所にBへのリンク（例えば、「薬事法上記載すべき事項」）が分かりやすく張られており、②表示すべき事項がBに見やすく表示されているのであれば、そうした方法でも差し支えない。

（問）インターネットを利用して特定販売を行うことについて広告を行う場合は、ホームページに「薬局又は店舗の主要な外観の写真」を表示することとされているが、どのような写真が適当なのか。

（答）「外観の写真」の表示は、購入者に対して、容易に出入りできる店舗が実際にあることを分かりやすく示すために求めているものである。このため、具体的には、公道から、看板も入れて店舗を撮影した写真など、不特定多数の一般人が容易に通行できる場所からその店舗であることが分かるように撮影した写真を表示する必要がある。

建造物（ショッピングモール、テナントビル等）内の店舗については、建造物内で、不特定多数の一般人が容易に通行できる通路からその店舗であることが分かるように撮影した写真を表示する必要がある。その際、建造物を公道から撮影した写真も併せて表示することが望ましい。

（問）要指導医薬品の特定販売はできないが、特定販売を行う旨の広告（ホームページなど）に、要指導医薬品の定義や解説など、要指導医薬品に関する表示は必要か。

（答）医薬品の販売制度の全体像を購入者に理解していただくため、特定販売を行う旨の広告においても、要指導医薬品に関する表示が必要である。同様に、要指導医薬品を販売しない店舗についても、要指導医薬品に関する掲示が必要である。

## 日薬通達

厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課長から日本薬剤師会へ、「発がん性等を有する化学物質を含有する抗がん剤等に対するばく露防止対策について」の通知があり、当会へは日本薬剤師会より、同タイトルにて（平成26年6月3日付け日薬情発第16号）下記のとおり連絡があり、会員への周知をお願いする旨の通達となっております。

### 発がん性等を有する化学物質を含有する 抗がん剤等に対するばく露防止対策について

医療現場で取り扱われる抗がん剤等においては、発がん性等を有する化学物質が含有されている場合があるため、必要なばく露防止対策を実施する必要がありますが、今般、抗がん剤等を取り扱う薬剤師等のばく露防止対策の留意事項が下記のとおり取りまとめられました。

1. 調製時の吸入ばく露防止対策のために、安全キャビネットを設置
2. 取扱い時のばく露防止のために、閉鎖式接続器具等（抗がん剤の漏出及び気化並びに針刺しの防止を目的とした器具）を活用
3. 取扱い時におけるガウンテクニック（呼吸用保護具、保護衣、保護キャップ、保護メガネ、保護手袋等の着用）を徹底
4. 取扱いに係る作業手順（調剤、投与、廃棄等におけるばく露防止対策を考慮した具体的な作業方法）を策定し、関係者へ周知徹底
5. 取扱い時に吸入ばく露、針刺し、経皮ばく露した際の対処方法を策定し、関係者へ周知徹底

## 日薬通達

厚生労働省医薬食品局総務課及び同保険局医療課よりから日本薬剤師会へ、「処方箋への記名の取扱いについて」及び「処方せんへの保険薬剤師の記名の取扱いについて」の通知があり、当会へは日本薬剤師会より、「処方箋への記名の取扱いについて」（平成26年7月18日付け日薬業発第17号）として、下記のとおり連絡があり、会員への周知をお願いする旨の通達となっております。

### 処方箋への記名の取扱いについて

薬剤師法第26条及び診療報酬請求等の記載要領について（昭和51年8月7日付け保険発第82号）に係る処方箋への記名押印の取扱いに関するものです。

記名押印における「記名」については、調剤済みである旨及び調剤した（保険）薬剤師の氏名が入ったスタンプを押した場合は「記名」とみなして差し支えないとされています（ただし、従来通り「押印」を省略することはできません）。

1. 処方箋への記名の取扱いについて  
（平成26年7月10日付け厚生労働省医薬食品局総務課事務連絡）
2. 処方せんへの保険薬剤師の記名の取扱いについて  
（平成26年7月17日付け厚生労働省保険局医療課事務連絡）

## 1. 処方箋への記名の取扱いについて

処方箋への記入等については、薬剤師法（昭和35年法律第146号）第26条により、薬剤師は、調剤したときは、その処方箋に、調剤済みの旨、調剤年月日等を記入し、かつ、記名と押印し、又は署名しなければならないと規定されています。これは、以下の理由によるものです。

- 薬剤師は、医師と独立した立場で、薬学的観点から患者の状態を対面で確認し、処方内容を適切にチェックした上で調剤を行うことで、患者が複数の医療機関を受診した時でも「重複投薬の防止」や、「相互作用の確認」など適切な服薬管理と説明を行う役割と責任を負っている。
- 特に、処方箋により調剤される薬剤は、その効能・効果等において人体に対する作用が著しく、重篤な副作用が生じるおそれがあるため、こうした薬剤師の役割と責任の下で、それぞれの調剤に最終的な責任を有する薬剤師が誰であるかを明確にする必要がある（健康被害が生じた際には、これを処方した医師や調剤した薬剤師の刑事的な責任等が問われる場合もある）。

今般、この薬局における調剤済み処方箋への記名の取扱いについて、これまで自治体から質問が寄せられていること等を受けて、下記のとおり取扱いを整理しました。

### 記

薬局において調剤した薬剤師は、調剤済みである旨及び調剤した薬剤師の氏名が入ったスタンプを処方箋に押した場合は、調剤した薬剤師の氏名の記名を行ったものとして取扱い、この記名を別途しなくても差し支えない。ただし、処方箋中に薬剤師氏名の記入欄があり、この記入欄への記名に代えて上記のスタンプを利用する場合は、この記入欄の近くにスタンプを押すなど、調剤した薬剤師が容易に分かるようにすること。

また、薬剤師の氏名の記名に代えて上記のスタンプを利用する場合であっても、調剤した薬剤師による押印は省略できない。

## 2. 処方せんへの保険薬剤師の記名の取扱いについて

保険薬剤師については、「診療報酬請求書等の記載要領等について」（昭和51年8月7日付け保険発第82号）の別紙2の第5の9の(3)により、調剤したときは、その処方せんに「調剤を行った保険薬剤師が署名するか又は保険薬剤師の姓名を記載し、押印すること」とされているところであるが、下記のとおり、薬剤師法と同様の取扱いとします。

### 記

保険薬局において調剤した保険薬剤師は、調剤済みである旨及び調剤した保険薬剤師の氏名が入ったスタンプを処方せんに押した場合は、調剤した保険薬剤師の氏名の記名を行ったものとして取扱い、この記名を別途しなくても差し支えない。ただし、処方せん中に保険薬剤師氏名の記入欄があり、この記入欄への記名に代えて上記のスタンプを利用する場合は、この記入欄の近くにスタンプを押すなど、調剤した保険薬剤師が容易に分かるようにすること。

また、保険薬剤師の氏名の記名に代えて上記のスタンプを利用する場合であっても、調剤した保険薬剤師による押印は省略できない。



## 日薬通達

平成26年度診療報酬改定に関する疑義解釈について、下記のとおり、追加の疑義解釈（その8）が示されました。会員への周知をお願いする旨の通達となっております。

なお、同資料につきましては、厚生労働省のホームページからも入手できることを申し添えます。

平成26年度診療報酬改定等について（厚生労働省ホームページ）

厚生労働省トップページ > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 医療保険 >

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000032996.html>

### 疑義解釈（その8）

#### 調剤報酬点数表関係

#### 【衛生材料等の支給】

（問）在宅訪問薬剤管理指導を行っている患者については、医療機関からの指示に基づき、薬局から当該患者に衛生材料を供給した場合、指示があった医療機関に当該材料に係る費用を請求でき、その価格については、薬局における購入価格を踏まえ、保険医療機関と保険薬局との相互の合議に委ねているところであるが、特定保険医療材料となっていない保険医療材料（例えば注射針）についても衛生材料と同様の取扱いと考えてよいか。

（答）貴見のとおり。

（問）外来患者については、疑義解釈資料の送付について（その1）（平成24年3月30日事務連絡）において、自己注射に用いる針が特定保険医療材料として設定されていない場合には、医療機関において針を支給することとされており、衛生材料や特定保険医療材料以外の保険医療材料を用いる場合も、原則として医療機関から必要な量の当該材料が提供されるものと考えられるが、自己注射に用いる針等を在宅自己注射に用いる薬剤と一緒に交付するよう処方せんに記載されていた場合においては、自己注射に用いる針等の費用の取扱いについては、在宅患者における取扱いと同様と考えてよいか。

（答）貴見のとおり。

### 第47回 日本薬剤師会学術大会

The 47th JPA Congress of Pharmacy & Pharmaceutical Science in Yamagata

### オール薬剤師の新たなあゆみ

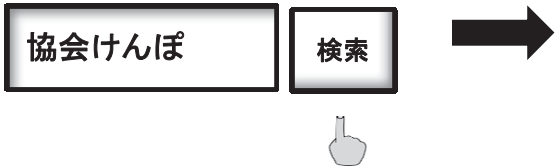
－出羽の国 やまがたから発信－

会期 2014年10月12日(日)・13日(月・祝)

会場 山形市民会館、山形ビッグウイング、山形テルサ、山形国際ホテル、他

# 協会けんぽの申請書等の様式が新しくなりました ぜひ、ご利用ください

●新様式は、ホームページからダウンロードできます。（印刷の際は注意事項も併せてご確認ください）




●新様式は、協会けんぽ窓口や県内の年金事務所（那覇を除く）設置の用紙トレイにも備え付けております。（従来の様式も使用いただけますが、年内中の切り替えにご協力いただきますようお願いいたします。）

●年金事務所窓口では書類の受付・相談は、行っておりません。

●各種申請書等は郵送にて提出をお願いいたします。

《新様式についてのお問い合わせ先は、業務グループ ☎098-951-2282 保健グループ ☎098-951-2011》



## 全国健康保険協会 沖縄支部

協会けんぽ

〒900-8512 那覇市旭町114-4 おきでん那覇ビル8階 代表 098-951-2211

### 転載記事

**「お薬手帳」で  
薬の相性確認**

知念 敏子 64歳  
 闘病中の私は毎日薬で生かされていると言っても過言ではありません。年を重ねていくたび薬の数は増え痛みも他の場所だったりして病院・クリニックと行きま。診察を終わりに処方箋を薬局に取りに行くとお薬手帳を請求されますが持参したことがなかった。

私は今度こそはとクリニックに行った時、手帳を持参した。幸い持参した手帳で処方箋の中に今服用している薬と相性が良くないのを発見。お薬手帳には「自分が服用している薬について記録を残す。記録を残しておけば薬の重複投与の確認や相互作用を防ぐことができる」とある。

私は、お薬手帳の意義を知り、今まで甘く見ていたことを反省し、その時以来持参して行くようにしている。

薬は症状によって違い、薬と薬の相性が合わないものもあることを身をもって感じました。私もこのことを肝に銘じお薬手帳は、健康のバロメーターを知る指針として重要だと思えました。  
 （南城市）

平成26年8月12日(火)  
 沖縄タイムス

薬連だより

## 平成26年度 沖縄県薬剤師連盟評議員会報告

日時：平成26年6月15日(日) 13:00～13:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



沖縄県薬剤師連盟  
担当事務

山城 英人

今年度より、これまでの会員全体を対象とした総会から評議員による評議員会と名称を変えて（平成25年度沖縄県薬剤師連盟総会にて承認済み）、開催された。

司会進行は姫野耕一副幹事長が務めた。

始めに神村武之会長より挨拶があり、マスコミ等による医薬分業バッシングや調剤報酬改定の結果等については、あらためて各々の薬剤師が足下を見つめ直さなくてはならない意味が含まれていることを理解しなくてはいけないこと等が強く述べられた。

続いて、吉田久子幹事長から平成25年度会務報告され、その中で、インターネット医薬品販売の問題について沖縄県選出国會議員に対して陳情を行ったことや全国若手薬剤師

フォーラムや熊本県若手薬剤師フォーラムには、県内の若手薬剤師が積極的に参加したことなどが述べられた。

次に次第に沿って平成25年度会務並びに会計監査報告に伊敷幸太郎監事、平成25年度決算報告に山里勇会計担当、平成26年度活動計画案を吉田久子幹事長、平成26年度予算案を山里勇会計担当より述べられ、各議題とも無事承認され、終了した。



司会  
姫野 耕一 副幹事長



吉田 久子  
幹事長



伊敷 幸太郎  
監事



山里 勇  
会計担当

### POWER(日薬連盟機関紙)に関するアンケートページ設置について

日本薬剤師連盟では、同連盟が行っている政治活動や藤井基之参議院議員をはじめとする薬剤師議員等の活動を広報する機関紙「Power」を定期発行しております。

同紙7月号(7月20日発行)より、会員・読者の皆様に、紙面内容や日本薬剤師連盟・日本薬剤師会の活動に対するご意見・ご要望

を伺うことを目的として、日本薬剤師連盟ホームページ(<http://www.yakuren.jp/>)の中に、「Power」へのアンケートページを継続的に設置することといたしました。

アンケートへのご理解ご協力をいただきますようお願い致します。



薬連だより

## 国会レポート

### 骨太の方針2014と薬剤師



参議院議員・薬学博士 藤井 もとゆき

サッカーW杯ブラジル大会は、日本のグループリーグ突破がならず、大変寂しい思いをしています。決勝トーナメントはいずれもすばらしい試合となっており、寝不足の状態が続いております。

さて、先月の国会レポートでは「骨太の方針」の策定に向けて、経済財政諮問会議の民間議員から、医薬分業における技術料の妥当性の検証、薬価の毎年改定等が提案されていることをお知らせしました。その後、薬価の毎年改定については、製薬業界、卸業界のみならず、日本薬剤師会等の医療関係団体も反対の声を挙げられ、自民党議員に対しても激しい陳情活動が展開されました。

そして6月24日、経済財政運営と改革の基本方針2014（いわゆる骨太の方針2014）が「デフレから好循環拡大へ」とのサブタイトル付きで閣議決定されました。その中で、薬剤師、医薬品に関する部分を解説します。

#### <医薬分業>

医薬分業については「調剤技術料・薬学管理料の妥当性・適正性について検証するとともに、診療報酬上の評価において、調剤重視から服薬管理・指導重視への転換を検討する。その際、薬剤師が処方変更の必要がないかを直接確認した上で一定期間内の処方箋を繰返し利用する制度（リフィル制度）等について医師法との関係に留意しつつ、検討する。」と記載されました。これを受けて、政府は、技術料の妥当性等の検証とともに、リフィル

制度の導入についても検討しなければならないこととなります。また、来年度予算への反映についても検討されるのではないかと考えられます。リフィル制度が実現すれば、薬物療法における薬剤師の役割が益々大きなものとなります。6年制薬剤師の誕生という流れの中で、薬剤師にとってリフィル制度の実現は、次の現実的な大きな目標となるのではないのでしょうか。

#### <薬価の毎年改定>

経済財政諮問会議等から、薬価の毎年改定と引き下げ財源の一般財源化が強く求められ、どのような閣議決定がなされるのか心配していましたが、骨太の方針では「調査・改定に係るコストにも適切に配慮しつつ、他の統計に与えている影響や市場価格形成の状況を勘案して、市場実勢価格を適正に反映できるよう、薬価調査・薬価改定の在り方について、診療報酬本体への影響にも留意しつつ、その頻度を含めて検討する。」とされました。毎年改定は検討にとどまり、当面の実施は回避されましたが、今後の動きが気になるところです。

#### <その他>

その他、スイッチOTCを加速するための取組を推進すること、後発医薬品の普及を進めることなども記載されています。

これからは、来年度予算案の動向等に注目して行きましょう。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

平成26年6月

- 1日○平成26年度薬局実務実習担当者全国会議 日本薬剤師会 我喜屋理事、佐藤雅美氏（薬学生実務実習受入委員会）
- 2月○九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会館 吉田副会長  
 ○沖縄県子ども生活福祉部福祉政策課及び那覇市福祉部保護管理課より来訪 県薬会議室 山城課長  
 ○社会保険診療報酬支払基金審査委員会 社会保険診療報酬支払基金 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 3火○国保連合会より来訪 県薬会議室 田場専務理事、山城課長
- 4水○平成26年度第3回定例幹事会 県薬研修室
- 5木○個別指導（2薬局） 那覇第一地方合同庁舎 吉田副会長  
 ○パーキンソン病患者のケア（講演会） 石垣市保健福祉センター
- 6金○日本薬剤師会国際委員会 日本薬剤師会 宮城常務理事  
 ○日本スポーツ振興センターより来訪 県薬会議室 前濱常務理事、笠原理事、大城恭子氏  
 ○沖縄県病院薬剤師会精神分科会 県薬研修室 共催：ヤンセンファーマ（株）
- 8日○**薬事法改正に伴う新たな医薬品販売制度等に関する研修会** 県薬ホール  
 ○学校薬剤師部会総会・講演会 県薬ホール  
 ○全国災害対策担当者会議（第2回） 日本薬剤師会 吉田副会長、山城課長  
 ○中部地区薬剤師会総会・特別講演会 沖縄市産業交流センター 神村会長、大城係長
- 9月○第1回沖縄県在宅医療連携体制推進委員会 沖縄県医師会館 笠原理事  
 ○臨床薬剤師育成研修会（株）ダイコー沖縄
- 10火○平成26年度おきなわアジェンダ21通常総会 県庁 田場専務理事  
 ○環境月間記念講演会 県庁 田場専務理事
- 11水○沖縄県薬業連合会代表者会議 沖縄都ホテル  
 ○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 神村会長  
 ○フィジカルアセスメントの打合せ 県薬会議室  
 ○平成26年度第4回臨時幹事会 県薬ホール
- 12木○個別指導（2薬局） 那覇第一地方合同庁舎 吉田副会長  
 ○平成26年度試験検査センター連絡協議会（13日迄） ホテル東日本盛岡・岩手県薬剤師会検査センター 田場専務理事  
 ○北部地区薬剤師会学術研修会（2型糖尿病治療の展望） ホテルゆがふいんおきなわ
- 13金○八重山地区学術講演会 沖縄県立八重山病院  
 ○第41回沖縄うふいち会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 共催：グラクソ・スミスクライン（株）
- 14土○第3回うちなあがん薬-薬連携講演会（株）ダイコー沖縄 共催：特定非営利活動法人よりよい地域医療を応援する会  
 ○第2回琉球整形外科フォーラム 沖縄県医師会館 共催：中外製薬（株）  
 ○平成26年度第3回定例理事会 県薬研修室
- 15日○**沖縄県薬剤師会第70回通常総会** 県薬ホール
- 17火○地元紙取材（沖縄タイムス） 県薬会議室 田場専務理事、大城係長
- 18水○第3回なごみ会実行委員会 笠原理事、稲福係長

- 18水○平成26年度第1回医薬分業対策委員会 県薬研修室
- 19木○個別指導（2薬局） 那覇第一地方合同庁舎
- 平成26年度第1回地域医療支援病院運営委員会 豊見城中央病院 神村会長
  - 第29回薬タッチャーの会 ちばなクリニック 共催：ファイザー(株)
  - 那覇地区臨床講座 県薬研修室
- 20金○グッジョブおきなわ推進事業「未来の産業人材育成職業人講話」打ち合わせ 県薬会議室
- 大城恭子（講師）、前濱常務理事、大城係長
  - 宮古地区SGLT2阻害剤適正使用講演会 ホテルアトールエメラルド宮古島
- 21土○熱中症フォーラム2014 沖縄県市町村自治会館 共催：(株)大塚製薬工場
- 平成26年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン パレットくもじ前広場、他計6か所
  - 沖縄認知症ネットワーク研究会第4回学術集会 沖縄県医師会館 共催：エーザイ(株)
- 22日○認定実務実習指導薬剤師養成講習会（ア） 県薬研修室
- 薬事法改正に伴う新たな医薬品販売制度等に関する研修会 大濱信泉記念館 講師：新垣理事
- 23月○沖縄戦殉職医療人の碑へ慰霊 ひめゆりの塔構内 神村会長、吉田副会長、宮城常務理事、久場トヨ氏、長田紀昭氏、吉田久子氏、大城係長
- 平成26年度沖縄全戦没者追悼式 平和祈念公園 神村会長、宮城常務理事、吉田久子氏、大城係長
  - 保険薬局部会役員会 県薬部会室
- 24火○県民健康フェアについての打合せ 県庁 田場専務理事、稲福・大城両係長
- 25水○沖縄県薬業連合会理事会・総会・懇親会 沖縄都ホテル
- 保険薬局部会主催研修会 県薬研修室
- 26木○糖尿病治療の新たな幕開け ロワジュールホテル&スパタワー那覇 共催：ノバルティスファーマ(株)
- 沖縄の長寿復活を考える ザ・ナハテラス 共催：(株)大塚製薬工場
- 27金○青年部会総会 ビストロ厨
- 28土○第83回日本薬剤師会定時総会（29日迄） ホテルイースト21東京 神村会長・吉田副会長
- 北部地区薬剤師会総会 ホテルゆがふいんおきなわ
- 29日○第115回健康とお薬相談会 サンエーメインプレイス 担当：那覇地区薬剤師会
- 30月○会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局宮城

## 平成26年7月

- 1火○沖縄タイムス取材 新垣薬局（糸満） 新垣理事
- 沖縄精神科治療学術講演会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 共催：日本イーライリリー(株)
- 2水○社会保険診療報酬支払基金審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏
- 3木○共同指導 該当薬局・県庁 吉田副会長
- 「がん疼痛治療・医療用麻薬」関連研修会 沖縄県立八重山病院
- 4金○共同指導 該当薬局・県庁 吉田副会長



- 4金○なごみ会主催県民健康フェア「ゆうりきやー」との打合せ 県薬研修室 田場専務理事、笠原理事、稲福係長
- パーキンソン病講演会 ロワジールホテル&スパタワー那覇 共催：大塚製薬(株)
- 5土○第21回認定禁煙指導薬剤師育成研修会 熊本県薬剤師会館 我喜屋理事(講師)
- 夜間頻尿セミナー 沖縄県医師会館 共催：キッセイ薬品工業(株)
- 6日○平成26年度新任・新人薬剤師研修会(施設見学) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 平成26年度新任・新人薬剤師研修会 県薬ホール
- 9水○保険薬局部会役員会 県薬部会室
- 10木○平成26年度後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合 江夏常務理事
- 沖縄県警察官友の会役員会(総会) サザンプラザ海邦 大城監事
  - お薬手帳啓発番組制作に関する打合会議・しごとミュージアム事前打合会議 県薬研修室 前原・宮城各常務理事、我喜屋理事、(広報委員会) 砂川智子・伊差川サヤカ、大城係長
  - 第4回なごみ会実行委員会 沖縄県医師会 笠原理事、稲福係長
  - 平成26年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会 第1回講義 中部地区医師会館
- 11金○会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局宮城
- トルバプタン学術講演会 那覇市立病院 共催：大塚製薬(株)
  - 宮古地区薬剤師会認知症研修会 宮古地区薬剤師会事務所
  - 平成26年度第4回定例幹事会 県薬研修室
- 12土○会報取材 新垣病院 (広報委員会) 亀谷常務理事、砂川智子、池間記世、大城係長
- 平成26年度第4回定例理事会 県薬研修室
- 13日○平成26年度沖縄県女性薬剤師部会総会・講演会 県薬ホール
- 14月○生涯学習フェスタ「しごとミュージアム2014」 沖縄コンベンションセンター展示棟 宮城・前濱両常務理事、玉村澄恵氏、桑江常康氏、(広報委員会) 砂川智子・伊差川サヤカ、実務実習薬学生、大城係長
- 九州厚生局沖縄事務所より来訪 県薬会議室 稲福係長
  - 臨床薬剤師育成研修会 (株)ダイコー沖縄 共催：(株)薬正堂
- 15火○災害対策マニュアルについての打合せ 県薬会議室 吉田副会長、田場専務理事、山城課長
- 16水○沖縄県体育協会より来訪 県薬会議室 笠原理事、吉田典子(薬事情報センター)、大城係長
- 平成26年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会推奨講演会 中部地区医師会館
  - 在宅輸液勉強会 (株)アトル沖縄営業部
  - 薬学生実務実習受入委員会 県薬会議室
- 17木○個別指導(2薬局) 九州厚生局沖縄事務所会議室 吉田副会長・川満直紀(医療保険委員会)
- グッジョブおきなわ推進事業「未来の産業人材育成職業人講話」 豊見城中学校 大城恭子(講師)、大城係長
  - 第2回関節リウマチ治療薬適正使用セミナー ロワジールホテル&スパタワー那覇 共催：アステラス製薬(株)
  - 第10回沖縄上部消化管の炎症を考える会 ザ・ナハテラス 共催：大塚製薬(株)

- 18金○調剤薬局における結核患者への服薬支援研修会 沖縄県医師会館 主催：沖縄県保健医療部 健康長寿課
- 19土○那覇市在宅医科歯科連携学術講演会 ホテルロイヤルオリオン 共催：昭和薬品化工(株)
- 20日○第48回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 九州・福岡(21日迄) 第一薬科大学 福永順一氏、古堅直也氏、菊池怜奈氏、鈴木直志氏、照屋林一郎氏
- (株)薬正堂・すこやか薬局グループ創立三十周年記念祝賀会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 吉田副会長
- 21月○那覇地区薬剤師会研修会 県薬ホール
- 22火○学術講演会～透析と栄養～ ホテル日航那覇グランドキャッスル 共催：大塚製薬(株)
- 23水○石垣市長との話し合い 石垣市役所 神村会長、山城専(八重山地区薬剤師会会長)、大浜貴子(学校薬剤師部会八重山支部長)
- 保険薬局部会総会** 県薬研修室
- 24木○社会保険診療報酬支払基金審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 県民健康フェア地元紙訪問 沖縄タイムス社・琉球新報社 田場専務理事、稲福係長
- 平成26年度中部地区在宅医療連携ネットワーク第2回研修会 フェストーネ
- 第4回沖縄糖尿病最新治療コンGRESS ロワジールホテル&スパタワー那覇 共催：ノバルティスファーマ(株)
- 25金○沖縄県薬務疾病対策課訪問 県庁 田場専務理事、山城課長
- 沖縄呼吸器フォーラム2014 ザ・ナハテラス 共催：アストラゼネカ(株)
- フィジカルアセスメントに関する地区単位伝達講習会** 大濱信泉記念館 講師：笠原理事
- 社会保険診療報酬支払基金審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 26土○沖縄県インфекションコントロール研修会 沖縄コンベンションセンター 共催：沖縄県インフェクションコントロール研修会
- 27日○**認定実務実習指導薬剤師養成講習会(イ・ウ・オ)** 県薬研修室
- 28月○在宅医療マニュアル検討会議 県薬研修室
- 社会保険診療報酬支払基金審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 29火○会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局金城・玉城・前原
- 長田茂薬局長(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)来訪 県薬会議室 神村会長、吉田副会長、田場専務理事、城間薬局長
- 管理者会議 県薬研修室
- 30水○宮古地区学術講演会 沖縄県立宮古病院
- 第五回沖縄動脈硬化予防研究会 ザ・ナハテラス 共催：バイエル薬品(株)
- 沖縄県精神疾患学術講演会 ラグナガーデンホテル 共催：持田製薬(株)
- 北部地区薬剤師会学術研修会(2型糖尿病治療の夜明け) 北部地区薬剤師会館
- 平成26年度第2回広報委員会 県薬研修室
- 31木○平成26年度沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議総会・施設見学 沖縄科学技術大学院大学 吉田副会長
- 個別指導(2薬局) 那覇第一地方合同庁舎 川満直紀(医療保険委員会)
- 第2回九州山口各県代表者会議 福岡県薬剤師会館 田場専務理事

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 屋嘉 勇 先生 (享年91歳) 平成26年 6月29日ご逝去
- 山田 貞子 先生 (享年73歳) 平成26年 7月11日ご逝去
- 新垣 栄三 先生 (享年76歳) 平成26年 7月26日ご逝去
- 具志堅 秀子 先生 (享年77歳) 平成26年 8月17日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。  
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】 県薬事務局 (前原・大城) : 098-963-8930

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成26年6月

- 6金○ 沖縄県薬剤師連盟総務会 県薬会議室
- 15日○ 沖縄県薬剤師連盟評議員会 県薬ホール

平成26年7月

- 7月○ 衆議院議員 コクバ幸之助激励の集い ホテル日航那覇グランドキャッスル 神村会長・城間副幹事長
- 17木○ 衆議院議員 比嘉なつみを囲む会 モーリアクラシック沖縄迎賓館 神村会長、吉田久子幹事長、江夏京子副幹事長、太田節子氏、事務局

お知らせ

<県薬が会員に販売している印刷物等>

- |               |      |    |      |          |     |     |
|---------------|------|----|------|----------|-----|-----|
| ○国保総括票        | 25枚  | 1冊 | 100円 | ○お薬手帳カバー | 1枚  | 22円 |
| ○市町村別請求書(その1) | 50枚  | 1冊 | 160円 | ○薬歴カード   | 各1枚 | 5円  |
| ○市町村別請求書(その2) | 1枚   |    | 10円  |          |     |     |
| ○調剤報酬明細書      | 50枚  | 1冊 | 160円 |          |     |     |
| ○管理薬剤師業務日報    | 1年分  | 1冊 | 600円 |          |     |     |
| ○処方せん         | 100枚 | 1冊 | 160円 |          |     |     |

( 国保 (本人・家族) 青色 )  
 ( 社保 (本人) 白色 )  
 ( 社保 (家族) 桃色 )

【改訂版薄手お薬手帳】表紙色(薄青色) 14ページ 価格 税抜き12円

【現行リニューアル版】表紙色(薄黄色) 34ページ 価格 税抜き22円



薬と健康の週間 10/17(金)▶23(木)

くすりと健康フェア《心身ともに健康》

入場  
無料

# 県民公開講演会

平成26年 10月23日(木)  
パレット市民劇場

那覇市久茂地1-1-1(パレットくもじ9F)

午後6時30分～8時

※ご来場の際は、バス、タクシー、モノレール等をご利用下さい。

※会場の都合により、定員を超えた場合はご入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

演題

## 生きてるだけで 価値がある

手話通訳  
あります。

～子宮頸がん・うつ病を体験して～

子宮頸がんを患い、その後に離婚、うつ病に。人生に何の価値を見出すことができず、自ら命を絶とうとした日々。そんな彼女の生きる原動力となったのは、たくさんの人々の暖かい励ましの言葉だった。自らの講演会では、「この世に無駄な生命は一つもなく、それぞれが必ず使命を持って生きていけるはず。」と、今、人生に行き詰まっている人に少しでも自分の言葉が届き、人生の分岐点になればとの思いで生命力溢れるメッセージを届け続けている。

講師

松田 陽子(まつだ ようこ)

シンガーソングライターとして、メッセージ性の強い曲を発表し、ライブやイベントで歌う一方、イベントの司会やセミナー講師としても活躍。ニューヨークにて歌手活動をしていた経験や、30カ国以上の海外体験、人生での出来事によって、独特の感性を持つ。オリジナル曲にはメッセージ性があり、熱烈なファンも多い。これらの活動に加え、国連UNHCR協会・協力委員、ボランティアグループ「self」の代表としてチャリティーライブや支援イベントを定期的に開催し、難民支援活動、児童養護施設の子供たちとの交流・支援を積極的に行う。また、一般社団法人Stand for mothers理事として子宮頸がん検診啓発活動や若いママのための防災活動など展開。

## お薬と健康相談会

日時 平成26年10月23日(木) 午後4時30分～6時30分

場所 パレット市民劇場ロビー

講演会前に薬剤師が  
お薬と健康の相談を致します。

病院薬、ジェネリック医薬品、大衆薬、漢方薬、健康食品、  
禁煙、メタボリックシンドローム、薬物乱用など

相談無料

お気軽に  
ご相談ください

主催：薬剤師会

## お薬手帳

お薬手帳は  
どの薬局でも  
もらえます。

## 5つのいいこと

- ① 医療機関にかかる時は必ず持っていきましょう
- ② 言いたい事や伝えたい事を書いておきましょう
- ③ 一般用医薬品(OTC医薬品・大衆薬)・健康食品も記録して
- ④ いつも携帯・いつも同じ場所に保管して
- ⑤ 一冊にまとめましょう

主催：沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会

お問い合わせ：沖縄県福祉保健部薬務疾病対策課 ☎098-866-2215 / 那覇市健康部生活衛生課 ☎098-853-7963 / 沖縄県薬剤師会事務局 ☎098-963-8930

## 公園の一日

8月に入って暑さが益々厳しくなって全国各地で35度を超える日々である。小生の所、屋上の草木達も一日に2回くらいの水やりをしなければ、しなだれてしまうから大変だ。6時に起床すると、すぐに屋上に登る。ホースから出る水は水圧が低いので、勢いがなく時間がかかる。この時間はまだ太陽が顔を見せてないが、屋上から一望できる与儀公園は明るい。緑の海のような。空気も美味しい。クマゼミが鳴き始めた。ピィピィと数羽のひよ鳥と思われる小鳥が緑の上を横切ってどこかへ飛んで行った。10分くらいすると繁多川方向にたなびいている雲の間からオレンジ色の太陽が昇ってきた。久しぶりに見る日の出は大いに気分が良い。今日一日は何か良い事がありそうだ。この辺りは60年くらい前は農業試験場であった。品種改良、収穫向上の研究と様々な野菜類の栽培畑だった。周りには双思樹が防風林として取り囲んでいた。真中と周辺には小さな川が流れていた。夏の夜には蛍が飛び交っていたものである。やがて試験場はどこかに移転し、神原小学校、神原中学校が開校し、公園の整備が進められた。話はジャンプする。

鳩が飛び立つ公園のイチョウは手品師、老いたピエロ、ラララン、ラララン・・・東京辺りの公園にはイチョウやけやきなどの老木、大木が多い。公園で練り広げられる人間模様を見ている手品師。老いたピエロは一部始終を知っていながら知らんぷりをして見守っているのである。秋から冬への季節の変わり目には慣れた手つきでカードを切る。この黄色いカードはヒラヒラと風に舞う。公園の主であろう。ここ与儀公園にもそんな存在があるだろうか。たまたま午前中に時間がとれたので散策して見ることにした。出勤や登校の学生達が急ぎ足で公園を通り抜けて行く。それを横目で見ながら、あちこちに設置されているベンチでエブリデイサンデーの人達が談笑している。歩いているといくつもの一抱えくら

いのガジュマルに出会うが、いやいやこれらはまだ若く貫禄がない。屋外ステージの側に松林をイメージした場所がある。まだ幹も小さく、素晴らしい松林になるには100年かかるだろうなあ！D51がある。日本復帰の時、旧国鉄から記念に贈られたものであるが、野ざらし状態であるのが残念である。たまには石炭を炊いてシュッシュポップとやって見たら楽しいなあと考えるのである。その隣には「ふくぎの木」が十数本集まっている場所がある。防風林の代表である「ふくぎの木」は季節になると黄色い熟した実を落とす。好ましからざる臭いを振りまくのである。広いグラウンドは土曜、日曜、祝日には子供達が思い思いのスポーツを楽しんでいるが、今はガランとしている。ああ！見つけた。これだ、これだ。この手品師はほぼ公園のど真ん中に位置し3人くらいで手を広げ抱えるくらいの幹回りで、その幹は凹凸で重ねた年齢を感じさせる。無数の気根が垂れ下がっている。太い枝が四方八方に広く大きく伸びて手を広げ、公園を包み込んでいるように思われる。いつだったか、夜のこの木の側を通りかかった時、木の高い所で「キッキッキ」と言う鳴き声に見上げると、枝にフルーツこうもりが数匹ぶら下がっていたものだ。もしかしたら、このガジュマルにはキジムナーが住んでいるかも知れない。これからはここを通る時、このガジュマルにタッチして、気力、エネルギーをもらいたいものだ。公園での人間模様、出来事を一部始終見て、聞いて、知っていながら知らんぷりしているに違いない。老いたピエロなのだろう。公園の真ん中を流れるガープ川の両岸とその回りで、桜祭や植木市などのイベント類、時にはひとつの命を救うために飛来するドクターヘリの活躍は公園の昼間の姿である。

夜の公園も歩いて見る。アコークローの頃になると、茂みの中から猫達が出てくる。猫の中にはふわふわとした毛並のきれいな猫も



いて気品にあふれているのもいる。しかし、飼い主に捨てられたのだろうと思うと悲しくなる。やがて、ビニール袋を持ったエサやりの人が見える。猫達があちらこちらから集まってきた、足にまとわりつく。しゃがみ込んで話かけながらエサを与える。エサをもらう仕草が可愛くて仕方が無いのだろう。時にはドジな奴もいてもらい損ねて、その人達が過ぎた後に小生たちに駆け寄ってくるのがある。エサをやる人を「けしからん」と言う人もいるが、非難されるべきは捨てた人であろう。エサをやる人は目の前の気の毒な猫を見捨てるのは出来ないのだろう。環境を汚さないような「猫のいる風景」を実現できないだろうか。

隣接するスーパー側の広場から調子はずれの小太鼓の音が聞こえてくる。音に誘われて移動する。数名の若者が勝手に太鼓をたたきチンダミしているようである。時間が経つとだんだんと若者の数が増え30～40名くらいのところでサンシンが鳴り、地唄の発声とドーンと大太鼓の合図で隊列が整いエイサー

がスタートする。歌に合わせて、高く足を挙げ回転し跳びはねる。大太鼓、小太鼓、パーランクーの音が一糸乱れず見事である。「海やからー」「いちゅび小節」「唐船ドーイ」地唄の美声がひびく。ついつい、いつまでもみとれてしまった。おもしろいことには、エイサーの側に自動販売機があり、自販機の照明と外灯のあかりの下、数台のテーブルが置かれ囲碁を楽しんでいるようである。一つのテーブルには対局者と順番待ちなのか2～3人の岡目八目さん達がついている。皆無口である。こんな大音響の中、囲碁が打てるその真剣さと夢中度がどんなに深いことだろう。この動と静の光景は一見に値すると思う。

やがて、夜もふけて静かになる。真夜中になるとガジュマルの上をこうもり達が飛び、キジムナーも起きだして来る。もう、彼らの時間である。ガジュマルはあくまでもドーンとしている。

この公園は小生の庭であると公言してはばからない・・・ことにしようかな！

橋の下





## 誌上ギャラリー(裏表紙)について

左上:「星生山から久住山を一望する」

photo by 具志堅 興信 (ひまわり薬局)

撮影地: 大分県玖珠郡九重町

右上:「月齢26.4日」

photo by 外間 惟夫 (琉球大学医学部附属病院)

中央:「紅色のバラ一輪」 photo by 吉田 久子

左下:「くらげの侵入」 撮影地: すみだ水族館

photo by 村上 市子

(さくら薬局 ICHI)

右下:「海の中の甘えん坊」 photo by 吉富 弓江 ((株)琉薬)

撮影地: チービシ ナガンヌ島北

ととてもフレンドリーな子。機嫌がいい時はすり寄ってきます。

## 編 集 後 記

旧友の教授就任祝いがあった。栃木から帰省中の旧友のスケジュールに合わせたもので急な招集にもかかわらず、数名の恩師と20数名の友人がかけつけた。30年ぶりに再会した同輩のその変貌ぶりに驚いたり、当時の面影を残しながらも素敵に年を重ねている同輩もいた。この齢になると恩師なのか同期の友人なのか、わからなくなるという珍事が発生する。恩師との年齢差は永遠に変わらないが、その差が縮まってきた感がある。歳を重ねることは素敵なことであって嘆くものではない。そんな中、県薬の熟年の集いで「アンチエイジングではなく、ポジティブエイジングでいきたい」という大先輩の言葉を思い出した。まだまだ若いつもりだが、ゆっくり楽しく年を重ねていきたいと思うこの頃です。(クララ)

しごとミュージアム2014に参加してきました(イベントの詳細は本会報誌の「研修レポート」をご覧ください)。私たち県薬広報委員と実務実習中の薬学部生がスタンバイしていた薬剤師ブースには、多くの高校生(なかには中学生や小学生も♪)が訪ねてくれました。私たち現役の薬剤師より、薬学部生がより高校生と年齢に近いこともあり、彼らが中心となり高校生の質問に答えていました。一番感心したことは、はじめは緊張し、なかなか上手く話せていない様子だった彼らが「質問にはオープンクエスチョンが効果的!」などと工夫し、次第に話がはずむようになり、さらには笑い声まで聞こえてくるようになっていたことです。最後にとったアンケートには「薬剤師のイメージがわいた」、「詳しく聞けた」、「わかりやすかった」、など高評価をいただきました。彼らはもうすぐ薬剤師の資格を取得し、私たちと一緒に働くこととなります。たった短い時間の中でも成長していく後輩を頼もしく思いました。(さぶろう)

病院薬局の取材に同行することがある。よその薬局を観ることで多くの示唆を得ることが多いので、喜んで付いて行く。最近取材した病院内薬局は、室内が整然としていて、例えて言えば時間が止まっているかのような感じを受けた。休日だったせいもあるだろうがそれだけではない。今までにも休日の薬局を取材したことは何度もある。各種文書資料は背表紙が付けられて書類棚にきちんと置かれている。薬品類、調剤器具等、全ての物品があるべきところに収まっている感じ。聞けば、薬剤師だけでなく補助員の力も合わせて頑張った成果だそう。自分の薬局もこうありたいと思った。できるかどうかは分からないが大いに感じ入った次第である。(亀)

毎年恒例となった「熟年の集い」も今年で7回を数える。第1回は「ナハテラス」であったが、その後は「薬剤師会館」で行われた。第1回を行った後、2年に1回開催の予定であったが、2年後に2回目を開催した際、「2年に1回は待てない!楽しいことは毎年して欲しい!」という意見があり、「至極もつともな意見」なので毎年開催することとなったのである。ところで、会場が「薬剤師会館」の時にはどんなに世話役の人たちが頑張っても「何か足りない!何か寂しい!」感は拭えなかった。そこで今年は奮発して「都ホテル」で開催された。場所が変わったせい、とは思いたくないが参加人数もグーンと増えて事務局の大城君もうれしい悲鳴。都ホテルでの第7回熟年の集いが終わってみると、会場が会館ホールの時に感じていた「何か足りない!何か寂しい!」という気持ちは、熟年者の気持ちに寄り添った「おもてなしの心!」が足りなかったのかもしれないと思えてきた。今後は、ますます熟年者が増えていくので、皆様にご満足いただけるような「熟年の集い」にしていきたいと、思っています。(とはいっても、私も招待される側になるのも、そう遠い先ではないのだが・・・)(ピアナ)



今年のお盆も盛大に終わり、毎年恒例の残ったくわっち一後処理がやってきた…。食べなければとは思わんだが、なかなか胃が受けつけてくれない。なんとかバレずにチビ達に食べてもらおうようにと、細かく切り刻んでチャーハンにする等で嫁は工夫しているが、やっぱりバレて指摘される始末。子供でも同じなんだなあ。どうにかうまく処理できる方法は無いのかと、毎年同じ悩みの繰り返しだ～！あー……。さっぱりした冷麺食べたいよお（笑）（ごり）

私の薬局にも電子薬歴が入りました。便利な機能が色々あって業務もはかどりますよ～とメーカーさんから猛プッシュされ、かくいう私もメカ好きなものあって新しい“モノ”を使える喜びにワクワクしてました。とうとう私も時代の波にのれる！きっとデキる薬剤師に見えるぞ！などと訳分からん妄想しながら、メーカーさんから使い方のレクチャーを受けていざ実践、どんな処方箋でもかかってこいっ！っが！っががが！見たことないメッセージが出てきたっ？入力を確定したけど本当にあれでいいのか？あれっ、便利な機能はどこをクリックしたらいいんだ？っていうか便利なのかこの道具は？などと「電子薬歴様」にしばらく振り回されました。正直今のところ電子薬歴に変えて一番よかったのは、今まで私の汚い字で書いた薬歴を次回投薬時に「解説」する作業がなくなったことです。今ではこの「お方」の恐らく70%は性能を引き出して使いこなせるようになってきて、メーカーさんの言っていた「便利な機能」もかなり業務に生かせるようになってきてじわじわ電子薬歴いいねと思えてきました。とりあえず入力スピードを速くするぞ！ってことでブラインドタッチの練習です。なるべく指10本全部使って手元を見ないでタイピングするように心がけてます。そういえば昔タイピングソフトで北斗の拳が流行ってたな。アータタタって…。まだ家にあるかな？（みつなり）

九州地区の学校薬剤師の方たちと意見交換の機会を得た。在宅と学薬が、薬剤師として地域に貢献し、顔の見える薬剤師の実現には、なくてはならない業務となるであろうという意見が多く聞かれた。その一方、学校薬剤のなり手不足などなど問題も山積である。幸い、沖縄県では会報を通して、学校薬剤師活動を理解していただき、学薬の活動を始められた先生方も多い。知らなかった薬剤師の活動を、薬剤師自身に伝える役目も担う会報。さまざまな情報発信源として、これからも会員の手に届くように頑張りたい。（TOMO）

夏本番、すっかり暑くなりました。前回の編集後記で台風が多くなりそう、などと話としていましたが本当に多い！デイゴの花の予言もばかにできません。台風が一番心配なのは薬局の停電です。PC自体はバックアップ機能などもあるためデータがとぶことはないのですが分包機、薬袋印字機、その他諸々、電力を必要とする器材が今の業務には必要不可欠となっています。薬袋などは手書きで十分対応可能なのに停電で使えないと面倒に感じたり…。昔はそれこそ分包も手動の器材で、散薬は薬包紙に、などすべてが手動でした。しばらく前に薬局が停電したときにベテラン薬剤師の先生が素早く薬包紙に散薬を分けていくのを見て年期の違いを感じました…。自分も分包紙の包み方から修行し直します。（松）

スタッフをさせて頂いたしごとミュージアムの質問で、「やりがいは？」と高校生に聞かれ、「医師が治すために処方した薬も、飲み方を間違えれば水の泡。薬を生かすも殺すも薬剤師の説明しだい☆すごくやりがいあるよ！」そう伝えた後の彼らの目がキラリと光るのが嬉しかったです。返答に窮した質問、「年収は？」それは…「頑張り次第です（M先生）」（いさ吉）

## 沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

## おきなわ薬剤師会報 第271号 平成26年8月28日発行

◇次号は、平成26年10月中旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 神村武之

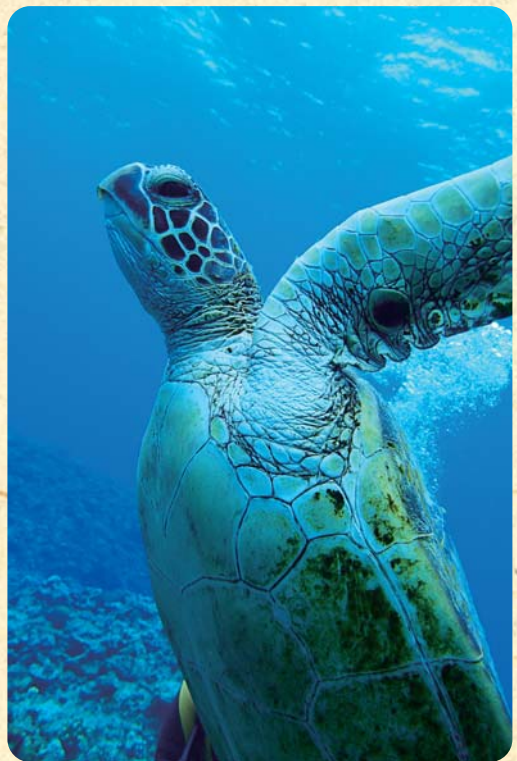
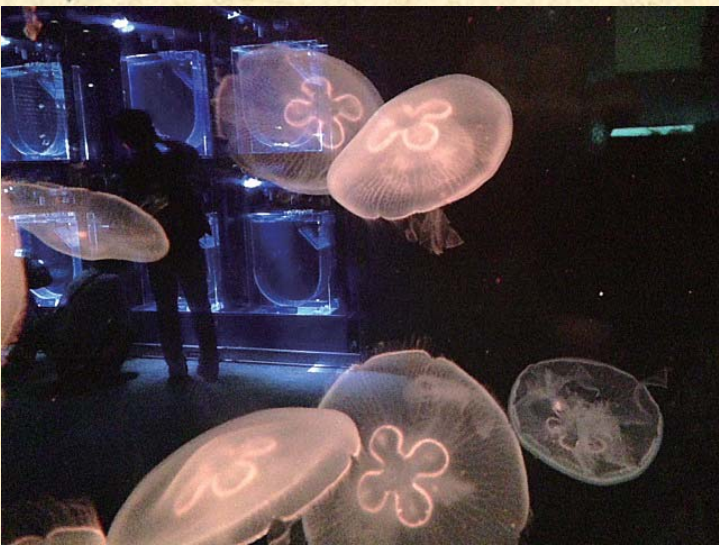
編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／亀谷浩昌・池間記世・前濱朋子・砂川智子・鈴木一徳

石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子

八重山地区通信員／宮良善朗 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 金城印刷





誌上ギャラリー(会員作品)  
お気軽にご投稿下さい。